

昭和大学大学院医学研究科医学専攻設置届出書

04昭大発第954号

令和4年12月26日

文 部 科 学 大 臣 殿

学校法人 昭和大学
理事長 小口 勝司

このたび、昭和大学大学院医学研究科医学専攻を設置することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

(注)

- 「〇〇大学〇〇学部設置」及び「〇〇大学〇〇学部を設置」の部分については、届出の内容に応じ、適切に表記を変更すること。
- 「学校教育法第4条第2項」の部分については、届出の内容に応じ、「学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項」とすること。

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	ガッコウセイショウ ショウワダイク								
フリガナ大学の名称	ショウワダイクダクイン 昭和大学大学院 (Showa University Graduate School)								
大学本部の位置	東京都品川区旗の台1丁目5番8号								
大学の目的	昭和大学大学院は、学校教育法に基づき、医学、歯学、薬学及び保健医療学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設研究科等の目的	多様で高度な研究を実施できるように、医学研究科内の領域間の融通性を重視し、これまで設置していた5つの系を統合し、広く医学全般を包括する「医学専攻」を設置するため。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	医学研究科 医学専攻（博士課程） Graduate School of Medicine 計	4 4	60 60	- -	240 240	博士（医学） Doctor of Philosophy in Medicine	医学	令和5年4月 第1年次	東京都品川区旗の 台一丁目5番8号
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	医学部 医学科〔定員増〕（10）（令和5年4月） 保健医療学部 リハビリテーション学科〔設置〕理学療法専攻（35）作業療法専攻（25）（令和5年4月） 保健医療学部 理学療法学科廃止（△30）、保健医療学部作業療法学科（廃止）（△30）※令和5年4月学生募集停止 歯学研究科 歯学専攻〔定員増〕（4）（令和4年12月届出予定） 薬学研究科 薬学専攻〔定員増〕（3）（令和4年12月届出予定） 保健医療学研究科 保健医療学専攻〔定員増〕（2）（令和4年12月届出予定） 医学研究科 生理系（廃止）（△10）、病理系（廃止）（△12）、社会医学系（廃止）（△4）、内科系（廃止）（△16）、外科系（廃止）（△18）（令和4年12月届出予定）※令和5年4月学生募集停止								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	単位			
		科目	科目	科目	科目				
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設	医学研究科 医学専攻（博士課程）	58 (92)	110 (123)	267 (272)	553 (554)	988 (1041)	0 (0)	45 (45)	
	歯学研究科 歯学専攻（博士課程）	13 (17)	10 (13)	37 (41)	62 (62)	122 (133)	0人 (0)	43 (43)	
	薬学研究科 薬学専攻（博士課程）	16 (21)	22 (23)	39 (43)	82 (82)	159 (169)	0 (0)	102 (102)	
	保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士後期課程）	26 (26)	24 (24)	104 (104)	0 (0)	154 (154)	0 (0)	29 (29)	
	計	113 (156)	166 (183)	447 (460)	697 (698)	1423 (1497)	0 (0)	- (-)	
既設	保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士前期課程）	26 (26)	24 (24)	0 (0)	0 (0)	50 (50)	0 (0)	21 (21)	
	計	26 (26)	24 (24)	0 (0)	0 (0)	50 (50)	0 (0)	- (-)	
合計		139 (182)	190 (207)	447 (460)	697 (698)	1473 (1547)	0 (0)	- (-)	
職種		専属			その他		計		
事務職員		505 (505)			135 (135)		640 (640)		
技術職員		4115 (4115)			228 (228)		4343 (4343)		
図書館職員		11 (11)			45 (45)		56 (56)		
その他の職員		5 (5)			60 (60)		65 (65)		
指導補助者		0 (0)			0 (0)		0 (0)		
計		4636 (4636)			468 (468)		5104 (5104)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	131,572㎡	0㎡	1,796㎡	133,368㎡				
	そ の 他	130,368㎡	0㎡	459㎡	130,827㎡				
	合 計	261,940㎡	0㎡	2,255㎡	264,195㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		93,261㎡ (93,261㎡)	0㎡ (0㎡)	4,777㎡ (4,777㎡)	98,038㎡ (98,038㎡)				
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等 の専任教員研究室	大学全体			
		63室	47室	284室	31室				
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定 不能のため、大学 全体の数	
	医学研究科医学専攻	112,197 [23,631] (112,197 [23,631])	218 [217] (218 [217])	110,735 [67,299] (110,735 [67,299])	4,624 [2,325] (4,624 [2,325])	0 (0)	0 (0)		
	計	112,197 [23,631] (112,197 [23,631])	218 [217] (218 [217])	110,735 [67,299] (110,735 [67,299])	4,624 [2,325] (4,624 [2,325])	0 (0)	0 (0)		
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	大学全体	
		教員1人当り研究費等		900千円	900千円	900千円	900千円		900千円
		共同研究費等		1,110千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円		1,110千円
		図書購入費	34,000千円	34,000千円	34,000千円	34,000千円	34,000千円		34,000千円
		設備購入費	1,700,000千円	1,700,000千円	1,700,000千円	1,700,000千円	1,700,000千円		1,700,000千円
	学生1人当り納付金 歯学研究科歯学専攻	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次			
		900千円	500千円	500千円	500千円	—			
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次			
	学生1人当り納付金 薬学研究科薬学専攻	700千円	500千円	500千円	500千円	—			
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次			
学生1人当り納付金 保健医療学研究科保健医療学専攻 (博士後期課程)	700千円	500千円	500千円	—	—				
	700千円	500千円	500千円	—	—				
学生納付金以外の維持方法の概要		学校法人昭和大学からの交付金等							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称	昭和大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開 設 年 度	所 在 地
		年	人	年次 人	人		倍		
	医学部医学科	6	119	—	719	学士 (医学)	1.18	昭和27年度	東京都品川区旗の台 1-5-8
	歯学部歯学科	6	105	2年次 若干名	630	学士 (歯学)	1.11	昭和52年度	同上
	薬学部薬学科	6	200	—	1200	学士 (薬学)	1.22	昭和39年度	同上
	保健医療学部								
	看護学科	4	95	3年次 10	400	学士 (看護学)	1.09	平成14年度	神奈川県横浜市緑区 十日市場町1865
	理学療法学科	4	30	—	120	学士 (理学療法)	1.22	平成15年度	同上
	作業療法学科	4	30	—	120	学士 (作業療法)	0.61	平成16年度	同上
	医学研究科								
	生理系博士課程	4	10	—	40	博士 (医学)	2.18	昭和34年度	東京都品川区旗の台 1-5-8
	病理系博士課程	4	12	—	48	博士 (医学)	1.98	昭和34年度	同上
	社会医学系博士課程	4	4	—	16	博士 (医学)	3.43	昭和34年度	同上
	内科系博士課程	4	16	—	64	博士 (医学)	0.28	昭和34年度	同上
	外科系博士課程	4	18	—	72	博士 (医学)	0.43	昭和34年度	同上
歯学研究科									
歯学専攻	4	18	—	72	博士 (歯学)	1.46	昭和58年度	同上	

薬学研究科								
薬学専攻	4	12		48	博士（薬学）	1.81	平成24年度	同上
保健医療学研究科								
保健医療学専攻博士前期課程	2	20	—	40	修士（保健医療学）	0.98	平成24年度	神奈川県横浜市緑区十日市場町1865
保健医療学専攻博士後期課程	3	4	—	12	博士（保健医療学）	2.08	平成24年度	同上
医学部附属看護専門学校	3	150	—	450	専門士（医療専門課程）	0.99	昭和3年度	東京都品川区旗の台1-2-26
附属施設の概要	<p>【①名称 ②目的 ③所在地 ④設置年月 ⑤規模等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①昭和大学病院 ②教育・研究・診療 ③東京都品川区旗の台1-5-8 ④昭和3年5月 ⑤病床数815床 ①昭和大学病院附属東病院 ②教育・研究・診療 ③東京都品川区西中延2-14-19 ④平成11年4月 ⑤病床数199床 ①昭和大学藤が丘病院 ②教育・研究・診療 ③神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30 ④昭和50年7月 ⑤病床数584床 ①昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 ②教育・研究・診療 ③神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1 ④平成2年6月 ⑤病床数197床 ①昭和大学横浜市北部病院 ②教育・研究・診療 ③神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1 ④平成13年4月 ⑤病床数689床 ①昭和大学江東豊洲病院 ②教育・研究・診療 ③東京都江東区豊洲5-1-38 ④平成26年3月 ⑤病床数400床 ①昭和大学豊洲クリニック ②診療 ③東京都江東区豊洲4-1-18 ④平成18年11月 ⑤外来診療専用施設 ①昭和大学附属鳥山病院 ②教育・研究・診療 ③東京都世田谷区北鳥山6-11-11 ④昭和26年7月 ⑤病床数340床 ①昭和大学歯科病院 ②教育・研究・診療 ③東京都大田区北千束2-1-1 ④昭和52年6月 ⑤病床数22床 							

(注)

- 共同教育課程の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設研究科等の目的」、「新設研究科等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「既設分」については、共同教育課程に係る数を除いたものとする。
- 私立の大学院の研究科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、及び「図書・設備」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、「図書・設備」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人昭和大学 設置認可等に関わる組織の移行表

1. 令和4年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	
昭和大学					
医学部	医学科	119	-	717	
歯学部	歯学科	105	-	630	
薬学部	薬学科	200	-	1,200	
		3年次			
保健医療学部	看護学科	95	10	400	
	理学療法学科	30	-	120	
	作業療法学科	30	-	120	
		3年次			
	計	579	10	3,187	
昭和大学大学院					
医学研究科	生理系(博士)	10	-	40	
	病理系(博士)	12	-	48	
	社会医学系(博士)	4	-	16	
	内科系(博士)	16	-	64	
	外科系(博士)	18	-	72	
歯学研究科	歯学専攻(博士)	18	-	72	
薬学研究科	薬学専攻(博士)	12	-	48	
保健医療学研究科	保健医療学専攻(博士前期)	20	-	40	
	保健医療学専攻(博士後期)	4	-	12	
	計	114	-	412	
昭和大学医学部附属看護専門学校		150	-	450	
	計	150	-	450	

2. 令和5年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
昭和大学					
医学部	医学科	129	-	735	収容定員変更(10)
歯学部	歯学科	105	-	630	
薬学部	薬学科	200	-	1,200	
		3年次			
保健医療学部	看護学科	95	10	400	
	理学療法学科	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	作業療法学科	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	リハビリテーション学科				学科の設置(届出)
	理学療法専攻	35		140	
	作業療法専攻	25		100	
		3年次			
	計	589	10	3,205	
昭和大学大学院					
医学研究科	生理系(博士)	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	病理系(博士)	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	社会医学系(博士)	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	内科系(博士)	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	外科系(博士)	0	-	0	令和5年4月学生募集停止
	医学専攻	60		240	専攻の設置(届出)
歯学研究科	歯学専攻(博士)	22	-	88	定員変更(4)
薬学研究科	薬学専攻(博士)	15	-	60	定員変更(3)
保健医療学研究科	保健医療学専攻(博士前期)	20	-	40	
	保健医療学専攻(博士後期)	6	-	18	定員変更(2)
	計	123	-	446	
昭和大学医学部附属看護専門学校		150	-	450	
	計	150	-	450	

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況					新設了学部等の学年進行状況							
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員		
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授	
医学研究科 生理系 (廃止)	博士(医学)	医学	医学専攻	22	5	医学研究科 医学専攻	博士(医学)	医学	生理系	19	3	
									病理系	28	4	
									社会医学系	17	4	
									内科系	476	22	
			計					外科系	448	25		
								計				
医学研究科 病理系 (廃止)	博士(医学)	医学	医学専攻	30	5							
						計					計	
医学研究科 社会医学系 (廃止)	博士(医学)	医学	医学専攻	18	4							
						計					計	
医学研究科 内科系 (廃止)	博士(医学)	医学	医学専攻	502	40							
			計									
医学研究科 外科系 (廃止)	博士(医学)	医学	医学専攻	469	38							
			計									

基礎となる学部等の改編状況

開設又は改編時期	改編内容等	学位又は学科の分野	手続きの区分
昭和34年4月	医学研究科生理系、病理系、社会学系、内科系、外科系設置	医学	設置許可(届出)

教育課程等 の 概要														
(医学研究科医学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	顕微解剖学	1・2通		1		○		※	1		2			【オムニバス】 ※実験 兼2
	肉眼解剖学	1・2通		1		○		※	1	1	1		【オムニバス】 ※実験	
	小計(2科目)	—		2		—		—	2	1	3			
	臨床病理診断学	1・2通	1			○		※	2	2	4	8	【オムニバス】 ※実験 兼2	
	小計(1科目)	—	1			—		—	2	2	4	8		
	生体制御学 ※2023年4月1日名称変更予定	1・2通		1		○		※	1		3	1	【オムニバス】 【共同】 ※実験 兼4	
	生体調節機能学 ※2023年4月1日名称変更予定	1・2通		1		○		※	1	2	1	1	【オムニバス】 【共同】 ※実験 兼4	
	医科薬理学	1・2通		1		○		※	1		4	1	【オムニバス】 【共同】 ※実験 兼13	
	臨床薬理学	1・2通		1		○		※	1	1	1		【オムニバス】 ※実験 兼4	
	小計(4科目)	—		4		—		—	4	3	9	3		
	生化学	1・2通 【オムニバス】		1		○		※	1	2	2	1	【オムニバス】 ※実験	
	法医学	1・2通 【オムニバス】		1		○		※	1		2	1	【オムニバス】 【共同】 ※実験 兼2	
	小計(2科目)	—		2		—		—	2	2	4	2		
	微生物学免疫学	1・2通		1		○		※	1	2	1	1	【オムニバス】 【共同】 ※実験	
	先端がん治療研究所	1・2通		1		○		※			1		【オムニバス】 ※実験 兼8	
	小計(2科目)	—		2		—		—	1	2	2	1		
	衛生学公衆衛生学	1・2通	1			○		※	1	2	2	2	【オムニバス】 ※実験 兼2	
	小計(1科目)	—	1			—		—	1	2	2	2		
	研究倫理・教育・AI	1・2通	1			○	※		3	2	1		【オムニバス】 ※演習 兼6	
	小計(1科目)	—	1			—		—	3	2	1			
4大学院がんチーム医療	1・2通		1		○	※		2	1			【オムニバス】 【共同】 ※演習		
小計(1科目)	—		1		—		—	2	1					

教育課程等の概要															
(医学研究科医学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	顕微解剖学	1~4通		23			※	○	1		2			※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1		2				
	内眼解剖学	1~4通		23			※	○	1	1	1			※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1	1	1				
	生体制御学	1~4通		23			※	○	1		3	1		※演習	
	※2023年4月1日名称変更予定														
	小計(1科目)	—		23			—		1		3	1			
	生体調節機能学	1~4通		23		※	※	○	1	2	1	1		※講義・演習	
	※2023年4月1日名称変更予定														
	小計(1科目)	—		23			—		1	2	1	1			
	生化学	1~4通		23			※	○	1	2	2	1		※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1	2	2	1			
	臨床病理診断学	1~4通		23		※	※	○	2	2	4	8		※講義・演習	
	小計(1科目)	—		23			—		2	2	4	8			
	医科薬理学	1~4通		23			※	○	1		5	1		※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1		5	1			
	臨床薬理学	1~4通		23			※	○	1	1	1			※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1	1	1				
	微生物学免疫学	1~4通		23		※	※	○	1	2	1	1		※講義・演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1	2	1	1			
	衛生学公衆衛生学	1~4通		23		※	※	○	1	2	2	2		※講義・演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1	2	2	2			
	法医学	1~4通		23		※	※	○	1		2	1		※講義・演習	
	小計(1科目)	—		23			—		1		2	1			
	呼吸器・アレルギー内科学	1~4通		23			※	○	2	4	9	33		※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		2	4	9	33			
	リウマチ・膠原病内科学	1~4通		23			※	○		3	4	11		※演習	
	小計(1科目)	—		23			—			3	4	11			
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通		23			※	○	2	4	8	18		※演習	
	小計(1科目)	—		23			—		2	4	8	18			
消化器内科学	1~4通		23			※	○	4	7	23	53		※演習		
小計(1科目)	—		23			—		4	7	23	53				
循環器内科学	1~4通		23			※	○	4	5	20	35		※演習		
小計(1科目)	—		23			—		4	5	20	35				
腎臓内科学	1~4通		23			※	○	2	3	7	21		※演習		
小計(1科目)	—		23			—		2	3	7	21				
血液内科学	1~4通		23			※	○	2	1	1	7		※演習		
小計(1科目)	—		23			—		2	1	1	7				

教育課程等の概要														
(医学研究科医学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	脳神経内科学	1~4通		23			※	○	2	5	4	19		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		2	5	4	19		
	腫瘍内科学	1~4通		23			※	○	3	3	6	2		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		3	3	6	2		
	緩和医療学	1~4通		23			※	○		2	2			※演習
	小計(1科目)	—		23			—			2	2			
	臨床感染症学	1~4通		23			※	○	1		1	1		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		1		1	1		
	リハビリテーション医学	1~4通		23			※	○	3	3	2	3		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		3	3	2	3		
	皮膚科学	1~4通		23			※	○	4	1	2	15		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		4	1	2	15		
	小児内科学・小児循環器内科学	1~4通		23			※	○	5	4	10	51		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		5	4	10	51		
	精神医学	1~4通		23			※	○	2	6	6	10		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		2	6	6	10		
	放射線科学・放射線治療学	1~4通		23			※	○	4	6	4	17		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		4	6	4	17		
	総合診療医学	1~4通		23			※	○	0	0	0	0	0	※演習 募集停止中
	小計(1科目)	—		23			—		0	0	0	0	0	
	心臓血管外科学	1~4通		23			※	○	3	2	1	8		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		3	2	1	8	0	
	小児心臓血管外科学	1~4通		23			※	○	1			3		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		1			3		
	呼吸器外科学	1~4通		23			※	○	2	2	4	4		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		2	2	4	4		
	消化器一般外科学	1~4通		23			※	○	5	9	25	37		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		5	9	25	37		
	小児外科学	1~4通		23			※	○	2	3	4	4		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		2	3	4	4		
	乳腺外科学	1~4通		23			※	○	1	2	4	10		※演習
	小計(1科目)	—		23			—		1	2	4	10		
脳神経外科学	1~4通		23			※	○	3	4	6	17		※演習	
小計(1科目)	—		23			—		3	4	6	17			
整形外科	1~4通		23			※	○	2	5	33	22		※演習	
小計(1科目)	—		23			—		2	5	33	22			
形成外科学	1~4通		23			※	○	1	1	5	13		※演習	
小計(1科目)	—		23			—		1	1	5	13			
産婦人科学	1~4通		23			※	○	5	5	21	51		※演習	
小計(1科目)	—		23			—		5	5	21	51			

教育課程等の概要														
(医学研究科医学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	眼科学	1~4通		23			※	○	4	5	3	15		※演習
	小計（1科目）	—		23			—		4	5	3	15		
	泌尿器科学	1~4通		23			※	○	3	3	8	9		※演習
	小計（1科目）	—		23			—		3	3	8	9		
	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通		23			※	○		1	13	14		※演習
	小計（1科目）	—		23			—			1	13	14		
	麻酔科学	1~4通		23			※	○	3	3	9	24		※演習
	小計（1科目）	—		23			—		3	3	9	24		
	集中治療医学	1~4通		23			※	○	1	1	1	7		※演習
	小計（1科目）	—		23			—		1	1	1	7		
	救急・災害医学	1~4通		23			※	○	2	6		4		※演習
	小計（1科目）	—		23			—		2	6		4		
	医学教育学	1~4通		23			※	○	2	2	3			※演習
小計（1科目）	—		23			—		2	2	3				
合計（59科目）		—	3	1045	1		—		92	123	272	554	0	
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野			医学						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
共通科目7単位、専攻科目23単位以上、合計30単位以上の履修。 APRIN e-learningの受講および昭和大学学生会での演題発表 学位論文の審査および最終試験の合格							1 学年の学期区分				2期			
							1 学期の授業期間				26週			
							1 時限の授業時間				90分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目 生体の組織構造解析法	顕微解剖学	<p>【概要】 (講義) 形態学的研究の仮説や問題を解決するために、動物実験手技、免疫組織学やISH法の原理と手法、レーザーマイクロダイセクションと質量分析による組織切片からの蛋白分析法、電子顕微鏡による超微細構造の解析法、分子生物学的解析法の原理と手法を講義する。</p> <p>(実習) 以下の解析法や実験法について技術指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫組織化学 2. 化学染色法 3. 電子顕微鏡 4. 遺伝子組織化学 5. モデル動物作製法 6. 遺伝子改変動物作製法 7. レーザーマイクロダイセクション法 8. 質量分析法 <p>オムニバス形式/ 10回×8クール=80回</p> <p>3 本田 一穂 16回 ・免疫染色法(酵素抗体法)と光学顕微鏡観察 ・免疫染色法(蛍光抗体法)と蛍光顕微鏡観察</p> <p>1065 大滝 博和 16回 ・ラット・マウスの化学固定法(固定液の作製法) ・動物モデル作製法と組織切片作製法</p> <p>216 澤田 智華 16回 ・in situ hybridization法の原理と方法 ・遺伝子改変動物(TGマウス・KOマウス)</p> <p>217 康 徳東 16回 ・レーザーマイクロダイセクション法の原理と方法 ・質量分析法の原理と方法</p> <p>1059 高木 孝士 16回 ・電子顕微鏡試料作製法 ・電子顕微鏡の使い方と写真撮影法</p>	<p>・オムニバス方式 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>
共通科目 生体の組織構造解析法	肉眼解剖学	<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の様々な部位の肉眼構造および組織学的構造を理解し、肉眼および組織標本を作製する。 2. 人体の様々な肉眼部位および組織学的標本の読解を行う。 3. 人体の様々な部位の組織学的標本をポリクローナル抗体あるいはモノクローナル抗体を用いて免疫染色し、標的としている物質の動態を観察する。必要に応じて新しい抗体の作製も行う。 4. 生体を構成する細胞を培養し、遺伝子導入をすることによって細胞の構造・機能を解析する。 <p>オムニバス形式/ 10回×8クール=80回</p> <p>4 大塚成人 全32回 ・神経系の肉眼・組織構造理解のための標本の作製 ・神経系の肉眼・組織構造理解のための標本の読解 ・免疫組織化学のための組織学的標本の作製 ・各種抗体を用いた組織学的標本の免疫組織化学</p> <p>93 江連博光 全32回 ・人体の肉眼・組織構造理解のための標本の作製Ⅰ ・人体の肉眼・組織構造理解のための標本の作製Ⅱ ・人体の肉眼・組織構造理解のための標本の作製Ⅲ ・人体の肉眼・組織構造理解のための標本の作製Ⅳ</p> <p>218 井上 由理子 全16回 ・蛍光タンパク質遺伝子を導入した初代培養神経細胞の作製 ・初代培養神経への遺伝子導入による構造・機能解析</p>	<p>・オムニバス方式 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>
共通科目 生体の病理病態学的解析法	臨床病理診断学	<p>【概要】 正常の組織、細胞の構築を理解したうえで、疾病の一般的な形態学的機能解析法から分子生物学的な手法を用いた解析法を講義する。形態観察(酵素抗体法を含む)による実際の病理診断学の指導を行う。また、分子生物学的な手法についても技術指導を行う。疾病の形態学的解析のための実習を通して、病態を把握し、病理診断を確立するアプローチを学ぶ。臨床検査においては、対象の臨床化学・血液・免疫・微生物などの基礎を理解するための講義・実習を行う。</p> <p>オムニバス形式/ 10回×6クール=60回</p> <p>7 矢持 淑子 14回 ・皮膚疾患・軟部腫瘍の見方 ・皮膚疾患・軟部腫瘍の解析 ・病理解剖症例の解析・CPC</p> <p>1063 瀧本 雅文 8回 ・循環器疾患・消化器疾患の見方 ・循環器疾患・消化器疾患の解析 ・病理解剖症例の解析・CPC</p> <p>98 塩沢 英輔 14回 ・造血管疾患の見方 ・造血管疾患の解析 ・病理解剖症例の解析・CPC</p> <p>225 本間 まゆみ 14回 ・病理解剖症例標本の見方 ・病理解剖症例標本の解析 ・病理解剖症例の解析・CPC</p> <p>228 矢持 忠徳 8回 ・臨床病理学概論 ・分子診断のトピック</p> <p>1051 安原 努 8回 ・臨床病理学概論</p> <p>496 大平 泰之 6回 ・造血管疾患の解析・カリキュラム</p> <p>494 村井 聡 4回 ・病理解剖症例の解析・CPC</p> <p>495 小原 淳 4回 ・病理解剖症例の解析・CPC</p>	<p>・オムニバス方式 ・講義、実験、実習=120時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日3クール、土曜日4クール行っている</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目 生体の機能解析法	生体制御学 ※2023年4月1日名称変更予定	<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラットを脳定位装置に固定し、脳図譜にしたがって脳の特定部位の破壊・薬物投与・局所刺激などを行い、脳の特定部位の機能を考察する（講義／実習）。 2. イオンチャネルを介した疼痛惹起の分子メカニズムについて学び、レセプター型イオンチャネル機能を測定する（講義／実習）。 3. 精神疾患の基礎研究について学ぶ（講義）。 4. 酸化ストレスならびに測定法について学ぶ（講義／実習） 5. 運動器疾患（変形性関節症・関節リウマチ）の基礎研究について学ぶ（講義／実習）。 6. 漢方薬治療の基礎研究と漢方医学の特徴について学ぶ（講義／煎じ薬の試飲）。 7. 鍼灸治療の基礎研究と鍼灸医学の特徴について学ぶ（講義／実習）。 8. 統合医学の基礎研究と特徴について学ぶ（講義；オンライン対応）。 <p>オムニバス形式/一部共同 10回×8クール＝80回</p> <p>5 砂川正隆 全10回 ・鍼灸医学概論 ・鍼灸医学研究 ・漢方医学概論 ・漢方医学研究</p> <p>1055 塚田 愛 10回 ・酸化ストレス研究（概論） ・酸化ストレス研究（測定法） ・統合医学概論 ・統合医学研究</p> <p>221 高山 靖規 14回 ・疼痛惹起の分子メカニズム ・ホールセルパッチクランプ法による皮膚感覚に関連するイオンチャネル電流の解析</p> <p>219 安達 直樹 14回 ・動物を用いた精神疾患の研究（うつ病） ・動物を用いた精神疾患の研究（統合失調症）</p> <p>220 奥茂 敬恭 14回 ・動物を用いた運動器疾患の研究（概説） ・動物を用いた運動器疾患の研究（モデル作成法）</p> <p>488 池本 英志 14回 ・ラット脳定位固定法 ・ラット脳特定部位の刺激・薬物投与</p> <p>1067 山口 孝二郎 10回 ・鍼灸医学概論 ・鍼灸医学研究 ・漢方医学概論 ・漢方医学研究</p> <p>1066 山本 竜隆 5回 ・統合医学概論 ・統合医学研究</p> <p>1079 丸山 健太 6回 ・疼痛惹起の分子メカニズム ・ホールセルパッチクランプ法による皮膚感覚に関連するイオンチャネル電流の解析</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同 ・講義、実験、実習＝160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せず複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>
共通科目 生体の機能解析法	生体調節機能学 ※2023年4月1日名称変更予定	<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2：ラット（0—3日齢）から摘出した脳・脊髄標本を用いて、神経活動の電気生理学的解析を行う。また、標本を膜電位感受性色素で染色し、神経活動を蛍光強度変化として捉え、画像化する。 3・4：脳幹部の呼吸性神経活動、脊髄の歩行様活動、辺縁系の自発バースト活動などを観察する。脳における神経活動の時空間パターンの解析を行う。 5・6：ヒトの情動と認知機能評価を測定し、ヒトの情動、認知変化における呼吸反応の解析を行う。 7・8：in vivoの基本的な動物実験手技について実習と講義を行う。ラットの取り扱い、麻酔、手術、過麻酔によると殺、採血について講義を受け、実習を行う。 9・10：ヒトの脳活動を非侵襲的に計測・解析する。 <p>オムニバス形式/一部共同 10回×8クール＝80回</p> <p>泉崎 雅彦 16回 ・ヒトの情動と認知機能評価の測定 ・ヒトの情動、認知機能変化における呼吸反応の解析</p> <p>鬼丸 洋 16回 ・光学的測定法による呼吸性神経活動の視覚化 ・ラット摘出脳幹—脊髄標本の作製 ・ラット摘出脳幹脊髄標本での神経活動の記録</p> <p>飯塚 眞喜人 16回 ・ラット摘出脳幹—脊髄標本の作製 ・ラット摘出脳幹脊髄標本での神経活動の記録</p> <p>政岡 ゆり 32回 ・ヒトの情動と認知機能評価の測定 ・ヒトの情動、認知機能変化における呼吸反応の解析 ・ヒトの脳機能の測定 ・ヒトの脳機能の解析</p> <p>本間 元康 32回 ・ヒトの情動と認知機能評価の測定 ・ヒトの情動、認知機能変化における呼吸反応の解析</p> <p>内田 有希 16回 ・in vivoの基本的な動物実験手技 ・in vivoの基本的な動物実験データの解析</p> <p>上條 翔太郎 16回 ・in vivoの基本的な動物実験手技 ・in vivoの基本的な動物実験データの解析</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同 ・講義、実験、実習＝160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せず複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目 生体の機能解析法	薬理学（医科薬理学分野）	<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命科学に関する知的情報の利用法を習得する。 2. 実験データの取り扱い及び解析方法を習得し理解する。 3. 病態研究や疫学研究から創薬・医薬品開発に至る過程について理解する。 4. 薬物動態学研究に必要な基礎的技術を習得する。 5. 適切な薬物治療に求められる基本的態度と薬物の取り扱いについて理解する。 <p>オムニバス形式/一部共同 10回×8クール=80回</p> <p>9 木内 祐二 6回 ・日常臨床の疑問から研究が始まる（1） ・日常臨床の疑問から研究が始まる（2）</p> <p>1074 辻 まゆみ 6回 ・アルツハイマー病の根本治療に向けた研究（1） ・アルツハイマー病の根本治療に向けた研究（2）</p> <p>1070 西川 徹 4回 ・精神疾患の分子メカニズムと薬物療法（1） ・精神疾患の分子メカニズムと薬物療法（2）</p> <p>1069 熊井 俊夫 2回 ・遺伝子と治療（1） ・遺伝子と治療（2）</p> <p>1073 由良 明彦 2回 ・予防医学分野における現状と展望（1） ・予防医学分野における現状と展望（2）</p> <p>1072 内川 友義 4回 ・整形外科分野における創薬・育薬（1） ・整形外科分野における創薬・育薬（1）</p> <p>1078 山田 泰弘 2回 ・ヒト肝細胞を用いた薬物動態研究 ・代替ヒト肝細胞の薬物動態研究への活用</p> <p>1071 稲垣 昌博 4回 ・フリーラジカルと疾患（1） ・フリーラジカルと疾患（2）</p> <p>1052 柴田 佳太 4回 ・Unmet Medical Needsに基づいた医薬品候補物質の探索（1） ・Unmet Medical Needsに基づいた医薬品候補物質の探索（2）</p> <p>1053 栗原 竜也 4回 ・臨床研究に必要な医療情報の収集と活用（1） ・臨床研究に必要な医療情報の収集と活用（2）</p> <p>232 佐々木 晶子 6回 ・悪性腫瘍における遺伝子解析（1） ・悪性腫瘍における遺伝子解析（2）</p> <p>230 西村 有希 6回 ・チトクロームP450酵素活性測定法（1） ・チトクロームP450酵素活性測定法（2）</p> <p>231 宇高 結子 6回 ・ドーピング禁止薬物とアスリートの医薬品適正使用（1） ・ドーピング禁止薬物とアスリートの医薬品適正使用（2）</p> <p>1082 小山田 英人 4回 ・生命科学に関する文献の検索法 ・生命科学に関する公共データベース利用法</p> <p>1080 古屋 英治 4回 ・臨床現場における日本の伝統医療の適正使用（1） ・臨床現場における日本の伝統医療の適正使用（2）</p> <p>1081 中村 裕也 2回 ・糖尿病治療薬の可能性と末期腎不全患者への治療（1） ・糖尿病治療薬の可能性と末期腎不全患者への治療（1）</p> <p>1050 坂井 信裕 4回 ・骨バイオロジーの最前線 ・骨代謝調節薬の歴史展望</p> <p>1083 辻川 健治 4回 ・薬物乱用と中毒（1） ・薬物乱用と中毒（2）</p> <p>499 岩瀬 万里子 4回 ・4計量、秤量器具の使用法に関する実習 ・タンパク定量法に関する実習</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せず複合的な授業を行っているため※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>
共通科目 生体の機能解析法	薬理学（臨床薬理学分野）	<p>【概要】</p> <p>科学的根拠に基づいた医療（Evidenced Based Medicine: EBM）の実践には、日進月歩で発展する医学の進歩に対応するため、現在のEvidenceの継続的な再検証と新たなEvidenceを作り出す作業が必須となる。そのためには生体の機能解析に関する薬理学、生理学、病理学、生化学などをはじめとする基礎医学的知識に加え、ヒトにおける薬効評価や有効性評価を適切に行うための知識や能力を備えた上で、臨床薬理学的な研究を行っていくことが求められる。臨床薬理学研究の実践においては、動物・ヒトのどちらを対象とする研究であっても、関連法規、指針・ガイドラインなど、倫理的配慮についても十分に理解していることが求められるとともに、科学性・倫理性の両面に配慮した研究の計画・実施技術の習得が必須となる。本科目では臨床薬理学の総合的研究推進に必要な能力を養成する。加えて、医薬品や医療機器の開発、適正使用、副作用被害救済、病態下での薬物使用など、臨床薬理学の使命である臨床現場における医薬品の安全かつ合理的な使用についての追求に必要な知識習得を行う。</p> <p>オムニバス形式/ 10回×8クール=80回</p> <p>10 内田 直樹 16回 ・医薬品開発における昭和大学の関り ・医薬品開発における昭和大学の関り ・医薬品の適正使用と副作用被害救済制度 ・臨床研究方法論（倫理性・信頼性） ・臨床研究方法論（科学性）</p> <p>100 三邊 武彦 16回 ・臨床研究実践論①（臨床試験を行う上で重要な事・試験実施までの流れ） ・臨床研究実践論②（臨床試験立案演習）</p> <p>233 水上 拓也 8回 ・多施設共同研究の実際 ・多施設共同研究のプロジェクトマネージメント</p>	<p>・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せず複合的な授業を行っているため※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		1054 肥田 典子 8回 ・臨床研究実践論③（倫理審査対応） ・臨床研究実践論④（インフォームド・コンセント） 1062 山崎 太義 16回 ・治験に関わる組織＜製薬会社と医療機関＞ ・治験データの取り扱い＜製薬企業が考える良いデータとは＞ 1057 龍 家圭 8回 ・臨床研究実践論⑤（臨床研究の実施におけるモニタリングや割付業務） ・医療機器の開発 1086 渡辺 誠 16回 ・臨床推理:いかに基礎知識をベッドサイドで利用するか?① ・臨床推理:いかに基礎知識をベッドサイドで利用するか?②	
共通科目	生体内の物質解析法	【概要】 生命現象の解析には、分子生物学、細胞生物学、タンパク化学等の生化学関連分野の研究手法が極めて重要な役割を持っている。本課程では生命現象を、遺伝子、核酸、タンパク質等の分子レベルに還元して解析する方法を修得する。また研究を継続するためには、研究資金の獲得が必須である。学位取得後、自らの研究費を獲得するため、本邦の科学研究を広く支えている文部科学省科学研究費補助事業（科研費）の基礎知識を習得する。 オムニバス形式/ 10回×8クール=80回 6 宮崎 章 16回 ・科研費申請の基礎と実際（前半） ・科研費申請の基礎と実際（後半） 96 金山 朱里 16回 ・遺伝子改変マウス作製法の原理 ・遺伝子改変マウス作製法の原理 97 宮崎 拓郎 16回 ・PCRの原理と応用 ・PCRの原理と応用 223 森戸 大介 16回 ・ウェスタンブロットティングの原理と実際 ・ウェスタンブロットティングの原理と実際 224 原口 省吾 16回 ・ELISA法 ・ELISA法	・オムニバス方式 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている
共通科目	生体内の物質解析法	【概要】 生体試料中の各種生理活性物質（ホルモン、神経伝達物質、酵素、ビタミン、代謝物質、サイトカインなど）あるいは薬物及びその代謝物を同定、定量する方法を教育する。同定、定量の手段として無極性ないし低極性物質にはガスクロマトグラフィー(GC)及びGC/質量分析法(MS)を用い、高極性物質には高速液体クロマトグラフィー(HPLC)及びHPLC/MSを用いる。物質の構造情報を得るためにタンデムMS(MS-MS)も用いる。また、生体試料を採取する上での解剖手技および臓器の検査方法について修得する。 オムニバス形式/共同 10回×8クール=80回 11 松山 高明 32回 ・生体試料採取法としての司法解剖・病理解剖手順 ・薬毒物分析をする上で知るべき中毒症例の解剖所見及び急死症例に関する臓器の変化 ・薬物標品のHPLC/MS測定と抽出法 ・生体試料中薬物のHPLC/MS測定 ・薬物代謝成分のHPLC/MS測定 ・HPLC/MS分析におけるマススペクトル解析法 1075 城 祐一郎 6回 ・生体試料採取法としての司法解剖・病理解剖手順 ・薬毒物分析をする上で知るべき中毒症例の解剖所見及び急死症例に関する臓器の変化 ・生体試料採取法としての司法解剖・病理解剖手順 ・薬毒物分析をする上で知るべき中毒症例の解剖所見及び急死症例に関する臓器の変化 中内 暁博 1076 中内 暁博 16回 ・薬物標品のGC測定 ・GC分析における薬物の抽出法と誘導体化法 ・生体試料中薬物のGC/MS測定 ・薬物代謝成分のGC/MS測定 ・薬物標品のHPLC測定と抽出法 ・生体試料中薬物及び代謝物のHPLC測定 ・薬物標品のHPLC/タンデムMS測定 ・生体試料中薬物及び代謝物のHPLC/タンデムMS測定 236 藤城 雅也 74回 ・生体試料採取法としての司法解剖・病理解剖手順 ・薬毒物分析をする上で知るべき中毒症例の解剖所見及び急死症例に関する臓器の変化 ・薬物標品のGC測定 ・GC分析における薬物の抽出法と誘導体化法 ・薬物標品のHPLC/MS測定と抽出法 ・生体試料中薬物のHPLC/MS測定 ・薬物代謝成分のHPLC/MS測定 ・GC/MS分析におけるマススペクトル解析法 ・薬物標品のHPLC測定と抽出法 ・HPLC/MS分析におけるマススペクトル解析法 ・薬物代謝成分のHPLC/MS測定 ・薬物標品のHPLC/タンデムMS測定 ・生体試料中薬物及び代謝物のHPLC/タンデムMS測定 ・HPLC/タンデムMS分析におけるマススペクトル解析法 237 草野 麻衣子 56回 ・薬物標品のGC測定 ・GC分析における薬物の抽出法と誘導体化法 ・薬物標品のHPLC/MS測定と抽出法 ・生体試料中薬物のHPLC/MS測定 ・薬物代謝成分のHPLC/MS測定 ・GC/MS分析におけるマススペクトル解析法 ・薬物標品のHPLC測定と抽出法 ・HPLC/MS分析におけるマススペクトル解析法 ・薬物代謝成分のHPLC/MS測定 ・薬物標品のHPLC/タンデムMS測定 ・生体試料中薬物及び代謝物のHPLC/タンデムMS測定 ・HPLC/タンデムMS分析におけるマススペクトル解析法	・オムニバス方式 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため ※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目 分子生命科学的解析法	微生物学免疫学	<p>【概要】</p> <p>1. 小講義、文献およびビデオなどを通して、微生物学と免疫学研究の現状とその臨床的応用についての最先端知識を学び、微生物の診断と治療について理解を深める。</p> <p>2. 微生物学と免疫学的研究方法を学び、将来自分で研究するために必要な基本技術を身につける。</p> <p>3. 現在本教室で行っている細菌学、ウイルス学、免疫学についての研究に参加または見学し、文献の検索・データの整理分析・英文原稿の作成などの基本的知識を修得する。</p> <p>オムニバス形式/共同 10回×8クール=80回</p> <p>12 伊奥田 雅之 16回 ・微小変化型ネフローゼ症候群の免疫学的背景 ・膜性腎症の免疫学的背景</p> <p>104 幸田 力 16回 ・微生物の培養と定量 ・病原体の感染メカニズム</p> <p>103 石川 裕樹 16回 ・NKT細胞と微生物感染 ・免疫制御細胞と自己免疫疾患</p> <p>238 佐藤 芳裕 16回 ・腸管免疫 ・腸内細菌と疾患</p> <p>503 長島 隆一 16回 ・自然リンパ球の制御機構 ・フローサイトメトリー</p>	<p>・オムニバス方式 ・共同 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>
共通科目 分子生命科学的解析法	先端がん治療研究所	<p>【概要】</p> <p>本科目では、がん治療開発における基礎から臨床までのプロセスおよび評価法について系統的に講義を行う。また、がん免疫療法に関する基礎および最新トピックスを紹介し、がん薬物療法全般について理解を深めていく。</p> <p>1. がん細胞株や担癌マウスなどにおける抗腫瘍効果の評価法を理解する。</p> <p>2. トランスレーショナルリサーチにおけるproof of conceptとPK/PD評価を理解する。</p> <p>3. 抗がん薬開発およびその評価法を理解する。</p> <p>4. 遺伝性腫瘍およびがんの個別化治療について理解する。</p> <p>5. がん免疫および免疫療法について理解する。</p> <p>オムニバス形式/一部共同 10回×4クール=40回</p> <p>1047 鶴谷 純司 10回 ・がん診療における薬剤開発 (1) ・がん診療における薬剤開発 (2)</p> <p>1048 山岡 利光 10回 ・前臨床における抗腫瘍効果の評価法 (1) ・前臨床における抗腫瘍効果の評価法 (2)</p> <p>1049 今村 知世 10回 ・トランスレーショナルリサーチにおけるPOCとPK/PD (1) ・トランスレーショナルリサーチにおけるPOCとPK/PD (2)</p> <p>1056 酒井 瞳 6回 ・臨床における抗がん薬の評価法 (1) ・臨床における抗がん薬の評価法 (2)</p> <p>1058 吉田 玲子 6回 ・遺伝性腫瘍症候群とがん診療 (1) ・遺伝性腫瘍症候群とがん診療 (2)</p> <p>357 増田 紘子 2回 ・遺伝子解析に基づくがんのサブタイピング (1) ・遺伝子解析に基づくがんのサブタイピング (2)</p> <p>1044 吉村 清 2回 ・免疫における微小環境 (主に腸内細菌など) (1) ・免疫における微小環境 (主に腸内細菌など) (2)</p> <p>1043 和田 聡 2回 ・免疫療法のトピックス (主に免疫チェックポイント阻害剤) (1) ・免疫療法のトピックス (主に免疫チェックポイント阻害剤) (2)</p> <p>1084 奥山 裕美 2回 ・がん診療におけるPatient Reported Outcomeの意義 (1) ・がん診療におけるPatient Reported Outcomeの意義 (2)</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同 ・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため※同じ授業を平日2クール、土曜日2クール行っている</p>
共通科目 医学生物における統計学的解析法	衛生学公衆衛生学	<p>【概要】</p> <p>独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加えることができるために、医学研究を行う上で必須の科目である疫学・生物統計学を習得する。</p> <p>本科目では講義・演習形式にて、臨床データや実験データに対して適切な統計手法を使用し、適切な解釈を行うことができることを主たる目標とする。</p> <p>オムニバス方式/一部共同 10回×8クール=80回</p> <p>小風 暁 16回 ・生存分析 I ・生存分析 II</p> <p>長谷川 毅 4回 SU ・医学研究における統計解析の実例 I (腎疾患の疫学) ・医学研究における統計解析の実例 II (腎疾患の疫学)</p> <p>山内 武紀 16回 ・疫学・生物統計学概論 I ・疫学・生物統計学概論 II</p> <p>吉本 隆彦 16回 ・2群間の検定、相関 ・3群間以上の検定</p> <p>大久保 茂子 4回 保 ・医学研究における統計解析の実例 I (就労女性の健康の疫学) ・医学研究における統計解析の実例 II (就労女性の健康の疫学)</p> <p>箕浦 明 4回 ・医学研究における統計解析の実例 I (高齢者の社会参加と健康の疫学) ・医学研究における統計解析の実例 II (高齢者の社会参加と健康の疫学)</p> <p>田 啓樹 20回 ・重回帰分析、共分散分析 ・ロジスティック回帰分析 ・医学研究における統計解析の実例 I (腎疾患の疫学) ・医学研究における統計解析の実例 II (腎疾患の疫学)</p>	<p>・講義、実験、実習=160時間 ※講義、実験、実習を明確に区分せずに複合的な授業を行っているため※同じ授業を平日4クール、土曜日4クール行っている</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	研究倫理・教育・AI	<p>【概要】 「研究倫理・教育・AI」は、2022年度春季入学者から、必修となった。原則として、1年次の受講とするので、特段の事情がない限りは1年次に全て受講するものとする。 本科目は、公正な科学研究を行うために必要な倫理観と研究不正防止のための知識を身につけること、大学院在学中および大学院修了後に教育者として活躍するために必要な基礎的な素養を身につけること、近年のトレンドであり、今後も発展が予想されるAIの基本原則を理解し、AIリテラシーを獲得することを目的として開講した。大学院生が今後研究者、教育者として活動する上で欠かせないものとなるため、積極的に受講を期待する。 オムニバス方式/一部共同 全12回</p> <p>2 泉崎 雅彦 2回 ・教育能力養成演習 (Pre FD)</p> <p>14 泉 美貴 2回 ・医療人教育の基本 ・教育能力養成演習 (Pre FD)</p> <p>9 木内 祐二 2回 ・教育能力養成演習 (Pre FD)</p> <p>1064 小林 真一 1回 ・研究倫理原則、利益相反管理、個人情報等保護</p> <p>1042 長谷川 毅 1回 ・研究不正の具体例と抑止</p> <p>1046 井上 永介 1回 ・統計リテラシー</p> <p>1065 大滝 博和 1回 ・適正な画像処理方法</p> <p>100 三邊 武彦 1回 ・競争的研究費の獲得と適正な使用 (オンデマンド動画) ・昭和大学での研究活動のルール、実験ノートによる研究活動の記録、ハゲタカジャーナル (predatory journal) の回避</p> <p>1085 吉田 裕之 2回 ・AIの基本 (前半) ・AIの基本 (後半)</p> <p>282 三澤 将史 1回 ・AIと内視鏡診断</p> <p>204 村上 幸三 1回 ・AIと放射線画像診断</p> <p>1077 高宮 有介 1回 ・医療人教育におけるプロフェッショナルリズム教育</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同</p> <p>講義：11時間 演習：9時間</p>
共通科目	4大学がんチーム医療	<p>【概要】 講義：がんチーム医療の実践に必要な専門性と、職種間の連携に求められる能力について学習する。 演習はワークショップ形式で開催する。多職種 (医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床心理士など) の協力と連携により、望ましいがんチーム医療を実践するため、多職種の混合した学生グループで、がん患者の症例を解析し、適切な治療・ケアについて討議・提案する。</p> <p>オムニバス形式/一部共同 全10回</p> <p>9 木内 祐二 2回 ・4大学院がんチーム医療ワークショップ</p> <p>28 角田 卓也 2回 ・4大学院がんチーム医療ワークショップ</p> <p>1047 鶴谷 純司 2回 ・4大学院がんチーム医療ワークショップ</p> <p>105 土屋 静馬 2回 4大学院がんチーム医療ワークショップ</p> <p>1045 渡邊 知映 2回 ・4大学院がんチーム医療ワークショップ</p>	<p>・オムニバス方式 ・一部共同</p>
専攻科目	顕微解剖学	<p>【概要】 以下の研究課題について、実験・実習・演習を行う。 1. ネフロンや腎血管系、神経系、腎間質系の形態と機能についての研究 2. 脳虚血モデルを用いた幹細胞による脳神経の再生についての研究 3. 神経発生や再生に関わる細胞間相互応答と調節機能分子についての研究 4. 培養細胞系を用いた細胞超微形態と細胞機能に関する研究 5. 組織分化 (骨化・石灰化など) の超微形態変化と細胞機能についての研究 6. 記憶や学習・行動などの脳高次機能に関わる神経内分泌ネットワークについての研究 7. 摂食・消化・生殖・睡眠・感情などを司る大脳辺縁系の神経内分泌ネットワークについての研究 その他、受講者が希望する研究課題についても、研究目的や仮説の立て方、研究手法の選択と実技の指導、結果の解析とまとめ方、結論の導き方と論文の作成などを指導する。</p> <p>3本田 一穂 腎臓・血管系の形態と機能分子に関わる研究</p> <p>216澤田 智華 免疫組織化学・遺伝子組織化学法を用いた形態学的解析</p> <p>217康 徳東 レーザーマイクロダイセクションと質量分析を用いた組織切片のプロテオーム解析</p>	<p>講義・実習・実験・演習については、研究内容等に応じて実施している。</p>
専攻科目	肉眼解剖学	<p>【概要】 解剖学は医学のあらゆる分野の基礎となる基礎医学の根幹を成す学問であり、構造解析学として重要な研究分野である。本科目の専攻によって広範囲の深い解剖学の素養を身につけさせ、現代医学の多様化に対応できるよう、人体の立体構造および各器官同士の構造連関を理解させる。 講義・実習・演習の内容 形態学の観点から骨格系 (骨・筋・靭帯) ・内臓系 (消化器・呼吸器・泌尿器・生殖器) ・脈管系 (心臓・動脈系・静脈系・リンパ系) ・神経系 (中枢神経系・末梢神経系) ・感覚器の肉眼および組織学的構造を講義・実習・演習から理解ないし体得させる。さらに、臨床解剖学の観点から臨床解剖学特論・臨床解剖学実習・臨床神経解剖学特論・臨床神経解剖学実習を用意し、日常の臨床に実践的な応用解剖学を修得させる。</p> <p>4大塚 成人 生体構造の肉眼形態学的解析</p> <p>93江連 博光 生体構造の組織形態学的解析</p> <p>218井上 由理子 生体構造の免疫組織化学的解析</p>	<p>講義・実習・実験・演習については、研究内容等に応じて実施している。</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	生体制御学 ※2023年4月1日名称変更予定	<p>【概要】</p> <p>1) 神経系活動のもつ意味について学ぶ。また中枢神経、末梢神経の活動電位記録、神経伝達物質定性・定量など実習する。□</p> <p>2) 感覚系、特に痛みについて学ぶ。痛みに関する実験手法として疼痛閾値測定法、疼痛モデル作成、電気生理などについて実習する。</p> <p>3) ストレス反応について学ぶ。ストレス評価法について実習する。</p> <p>4) 東洋医学的診断・治療の伝統的理論とEBMについて学ぶ。また、鍼灸・漢方薬処方の実際を学習し、動物モデルを用いてそれらの効果を検証する実習を行う。</p> <p>5) 上記の学習を通して決定した独自の研究テーマについて、研究する。</p> <p>5砂川 正隆 東洋医学的治療（漢方・鍼灸）のメカニズムに関する研究</p> <p>219安達 直樹 ストレスに対する漢方薬の効果に関する基礎研究</p> <p>220奥茂 敬恭 東洋医学的治療（漢方・鍼灸）のメカニズムに関する研究</p> <p>221高山 靖規 感覚（特に疼痛）に関する基礎研究</p> <p>488池本 英志 東洋医学的治療（漢方・鍼灸）のメカニズムに関する研究 漢方・鍼灸）のメカニズムに関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	生体調節機能学 ※2023年4月1日名称変更予定	<p>【概要】</p> <p>講義、実験、論文作成を通して、以下について学ぶ。</p> <p>(1) 非侵襲的計測によりヒトの脳機能を探る。</p> <p>(2) ラットの摘出脳幹・脊髄標本の神経活動記録から神経回路を探る。</p> <p>(3) マウスの意識下の呼吸・代謝・行動・神経伝達物質の測定から生体システムを探る。</p> <p>(4) 呼吸リハビリテーションの仕方と新しい取り組み方を学ぶ。</p> <p>(5) マウスの脳内セロトニンやドーパミンの生理機能について探る。</p> <p>(6) ラットを用いて体温調節機構を明らかにする。</p> <p>[講義] 研究の立案・スキルの習得・実験・論文作成について知る。</p> <p>[実習] 各自の選択科目に応じ、実際に研究の立案・スキルの習得・実験・論文作成を行う。</p> <p>習得できるスキルは、人体の諸機能についての解析（脳活動の非侵襲的計測および解析、呼吸パラメータ・循環パラメータの測定と解析等）及び動物実験による分子から個体レベルまでの生体機能解析（マウス・ラットの脳ブロック標本の作製とパッチクランプ法による神経回路解析、オプトジェネティクスを取り入れたマウスの呼吸、代謝、行動、脳内神経伝達物質測定・解析等）などがある。</p> <p>2泉崎 雅彦 呼吸リズムの形成機構の研究</p> <p>94山口 ゆり 呼吸・嗅覚・情動の関連性の研究</p> <p>95飯塚 眞喜人 呼吸リズムの形成機構の研究</p> <p>222本間 元康 健常者および患者における認知機能メカニズムの研究</p> <p>489内田 有希 呼吸リズムの形成機構の研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	生化学	<p>【概要】</p> <p>生命現象の解析には、分子生物学、細胞生物学、タンパク化学等の生化学関連分野の研究手法が極めて重要な役割を持っている。本課程では生命現象を物質レベルに還元して解析する方法を修得する。</p> <p>講義・実習・演習の内容</p> <p>糖質、脂質、タンパク質、核酸などの生体物質の諸性質を理解し、酵素学、分子生物学、細胞生物学の実習を通してこれらを実験的にいかに操作するかを学ぶ。生体物質を操作する基礎的な実験手法に基づいて、細胞培養系や実験動物を用いてより統合された生命現象、すなわち組織や臓器の生理的状態や病的状態を生化学的に解析する能力を身につける。</p> <p>6宮崎 章 細胞内タンパク質分解を起点とした生活習慣病発症機構解明</p> <p>96金山 朱里 細胞接着シグナルと病態（線維症、悪性腫瘍）</p> <p>97宮崎 拓郎 細胞内タンパク質分解を起点とした生活習慣病発症機構解明</p> <p>223森戸 大介 モヤモヤ病責任遺伝子の生理・病態機能解明</p> <p>224原口 省吾 加齢に伴う内分泌系変容と加齢性疾患発症機構解明</p> <p>490宮内 彩 細胞内タンパク質分解を起点とした生活習慣病発症機構解明</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	臨床病理診断学	<p>【概要】</p> <p>講義：病理診断学では、正常の組織、細胞の構築を理解したうえで、疾病の一般的な形態学的機能解析法から分子生物学的な手法を用いた解析法を講義する。臨床検査学では臨床化学・血液・免疫・微生物等の基礎を理解するための講義を行う。</p> <p>実習：病理診断学では形態観察（酵素抗体法を含む）による実際の診断学の指導を行う。また、分子生物学的な手法についても技術指導を行う。病理解剖についても実際に体験し解析する。疾病の形態学的解析による実習を通して、病態を把握し、病理診断を確立するアプローチを学ぶ。臨床検査学では生化学的・免疫学的・血液形態の原理と方法を実際の材料を用いて習得する。</p> <p>7矢持 淑子 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>8根本 哲生 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>98塩沢 英輔 各種疾病の病理解剖学的、病理組織学および病理細胞学的研究</p> <p>99小川 高史 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>225本間 まゆみ 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>226江原 佳史 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>227小池 千尋 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>228矢持 忠徳 各種疾病の分子病理診断学的研究</p> <p>491二本柳 康博</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>492和田 あかね 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>493太田 裕崇 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>494村井 聡 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>495小原 淳 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>496大平 泰之 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>497上田 康雄 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p> <p>498佐々木 陽介 各種疾病の病理診断学、臨床病理学的研究</p>	
専攻科目	医科薬理学	<p>【概要】</p> <p>〔病態モデル用いた薬理学的研究〕 各種実験的病態モデルとして動物個体および培養細胞を用いる。研究の基盤となる細胞培養における理論を学び、技術を習得する。薬物の作用機序を研究するために、細胞生死評価法、遺伝子解析法、タンパク活性評価法に関する知識および技術を習得する。習得した技術を基に、様々な病態発生機序および治療機序の解明を行う。</p> <p>〔薬物相互作用に関する研究〕 薬物代謝酵素を介する薬物相互作用についての基礎知識を学ぶ。ラットまたはヒトの肝・小腸ミクロソーム画分を用い、in vitro実験系で薬物相互作用を検討する。ラットを用い、in vivo実験系で薬物相互作用を検討する。得られた結果を基にヒトを対象とした臨床研究を行う。</p> <p>〔セミナー〕 様々な分野のセミナーを聴講し、質疑を通して内容の理解を深める。また、各自の研究について発表し、理解しやすいプレゼンテーション技術を身につける。</p> <p>〔論文抄読〕 英語論文から自由に情報を収集する技術を身につけるために、自身の研究領域において重要な英語論文を題材として学術論文の読み方についての基本的技術を習得する。</p> <p>〔研究論文作成〕 各自の研究テーマに必要な情報を適切な文献検索により収集する。研究結果を解析・考察し、論文を作成する。</p> <p>9木内 祐二 神経・精神疾患の病態生理および関連薬物の作用に関する研究</p> <p>229小口 達敬 神経・精神疾患の病態生理および関連薬物の作用に関する研究</p> <p>230西村 有希 薬物代謝酵素の阻害・誘導を介した薬物相互作用に関する臨床薬理学的研究</p> <p>231宇高 結子 神経・精神疾患の病態生理および関連薬物の作用に関する研究</p> <p>232佐々木 晶子 乳がん患者の化学療法誘発性末梢神経障害に対するハンドセラピー施術後の改善効果</p> <p>499岩瀬 万里子 神経・精神疾患の病態生理および関連薬物の作用に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	臨床薬理学	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研究の実施（実習：20単位） 自身の学位論文研究（研究テーマ）として臨床研究を実施する一連の過程の中で、以下の知識や技術の習得を合わせて行う 臨床研究実施計画の企画 臨床研究の準備 臨床研究の実施 臨床研究の解析 臨床研究の発表 臨床研究支援業務（実習：4単位） 臨床研究を適切に実施するための「実施支援業務」について、他の研究や治験への参加を通じて知識や技術の習得をする 臨床研究の割付業務 モニタリング業務 臨床研究のデータマネージメント 医薬品開発業務への参画（演習：4単位） 臨床薬理研究所内で実施される治験への参加を通じ、医薬品開発の詳細を学ぶ。 また同時に医薬品開発の適切な実施と試験を支える他業種（CRC等）の役割・業務を理解する。 その他 下記の項目についても自由に履修し、臨床薬理学や医薬品開発に関する知識や技術の更なる習得が可能とする。 <ul style="list-style-type: none"> 講義（担当教員が行なう種々の講義から臨床薬理学や医薬品開発に関する知識を学ぶ） セミナー（臨床薬理学に関する学内外の学会や研究会などのセミナーへの参加を含む） 論文抄読（臨床薬理学に関する知識を幅広く習得する） <p>10内田 直樹 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>100三邊 武彦 薬効・薬物動態の人種差の臨床薬理学的研究</p> <p>233水上 拓也 臨床ビッグデータを活用したRWD(Real World Data)を用いた研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	微生物学免疫学	<p>【概要】 免疫学、細菌学、ウイルス学についての実験方法や手技</p> <p>講義・実習・演習の内容 [講義] 微生物学と免疫学の理論と応用に関する進展的内容を講義する。また、これらの領域で使用される実験方法の原理や手技を講義する。 [演習] 自らの実験研究の経過報告および関連論文の抄読を行う。 [実習] 微生物学的、免疫学的、および分子生物学的研究において用いられる実験方法の技術指導を行う。</p> <p>12伊與田 雅之 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>103石川 裕樹 腎疾患・自己免疫疾患・代謝性疾患・感染症など各種疾患における免疫学的研究</p> <p>104幸田 力 腎疾患・自己免疫疾患・代謝性疾患・感染症など各種疾患における免疫学的研究</p> <p>238佐藤 芳裕 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>503長島 隆一 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	衛生学公衆衛生学	<p>【概要】 衛生学公衆衛生学について総論・各論を幅広く学修する。また、健康医療政策についても合わせて学修する。</p> <p>講義・実習・演習の内容 公衆衛生学概論・環境保健医学概論・予防医学概論を専攻科目におけるコア科目とし、各論的・専門的な内容として、地域保健学特論、国際保健学特論、遺伝疫学特論を展開する。 社会医学調査方法論・臨床疫学特論では、疫学的手法について演習・実習を通して習熟する。個体感受性因子の評価法、環境測定・生体曝露量の評価では、臨床医学的検査を含めた生体影響評価、PCRやHPLC等を用いたバイオマーカーの分析、大気や食品中の微量化学物質定量などを行い、生体と環境の基本的な評価技術を修得する。 研究と倫理、疫学論文抄読、セミナー、研究・論文作成指導では各自の研究の遂行に直接的・間接的に役立てるとともに、それらを通じて社会医学領域における研究者・教育スタッフを目指して経験を積む。</p> <p>1小風 暁 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>1042長谷川 毅 レジストリ・データを活用した臨床疫学研究</p> <p>101山内 武紀 集団の行動や意識の変容を目的とした基礎的観察研究</p> <p>102吉本 隆彦 健康・臨床情報を用いた疫学研究、健康関連QOL評価に関する研究</p> <p>234諸星 北人 健康・臨床情報を用いた疫学研究、健康関連QOL評価に関する研究</p> <p>235小林 如乃 健康・臨床情報を用いた疫学研究、健康関連QOL評価に関する研究</p> <p>500箕浦 明 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>501田 啓樹 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	法医学	<p>【概要】 臨床法医学、法医病理学、法医中毒学、法医血清学、裁判化学、医事法学、賠償科学、分子生物学、犯罪心理学、臨床犯罪学、生命倫理学を講義する。 司法解剖・病理解剖での実際例による検屍と解剖、ガスクロマトグラフィー(GC)、GC/質量分析法(MS)、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)、HPLC/MSによる生体試料中の薬毒物及び代謝物の分析、生理活性物質の分析、血液型及びDNA多型の分析、分光法による各種ヘモグロビン誘導体の分析などを通じて法医病理学、法医中毒学、法医血清学、裁判化学、分子生物学に関連する実習を行う。</p> <p>講義・実習・演習の内容 (講義) 臨床法医学、法医病理学、法医中毒学、法医血清学、裁判化学、医事法学、賠償科学、分子生物学、犯罪心理学、臨床犯罪学、生命倫理学を講義する。 (実習) 司法解剖・病理解剖での実際例による検屍と解剖、ガスクロマトグラフィー(GC)、GC/質量分析法(MS)、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)、HPLC/MSによる生体試料中の薬毒物及び代謝物の分析、生理活性物質の分析、血液型及びDNA多型の分析、分光法による各種ヘモグロビン誘導体の分析などを通じて法医病理学、法医中毒学、法医血清学、裁判化学、分子生物学に関連する実習を行う。</p> <p>11松山 高明 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p> <p>236藤城 雅也 GC/MS, LC/MS, LC/MS-MS, UPLC/Q-ToF MSによる生体試料中の薬毒物およびその代謝物の分析</p> <p>237草野 麻衣子 GC/MS, LC/MS, LC/MS-MS, UPLC/Q-ToF MSによる生体試料中の薬毒物およびその代謝物の分析</p> <p>502田口 智子 医薬品開発における早期・探索的臨床試験の適正な実施と研究的考え方</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 攻 科 目	呼吸器・アレルギー内科学	<p>【概要】 内科学は疾病の病因を解明し、病態を正確に把握し適切な診断と治療を行う。わが国の国民の健康を維持し、疾病を予防することを目的とした基幹臨床医学である。この様な基盤に立つ、広い視野を有する医学研究者および臨床専門医の育成を目的とする。特に、呼吸器・アレルギー分野での専門医の育成を目的とする。</p> <p>講義・実習・演習の内容 呼吸器・アレルギー分野における疾病の病因解明と治療法の開発に関する研究ならびに教育を行う。疾患を全身的系統的に観察し、諸臓器の変化について内科学的各種診断法、画像診断法、核医学診断法、生化学的、免疫学的、分子生物学的、分子遺伝学的、病理組織学的方法などにより、疾病の病態生理の正しい把握と病因の解明、ならびに新しい治療法の開発を目標として研究と教育を行う。</p> <p>15相良 博典 気管支喘息の難治化機構機序解明</p> <p>69松倉 聡 気管支喘息の難治化機構機序解明</p> <p>107横江 琢也 気管支喘息のバイオマーカー探索</p> <p>108田中 明彦 気管支喘息の難治化機構機序解明</p> <p>109鈴木 慎太郎 マウス気道リモデリングモデルにおける解析</p> <p>110岡田 壮令 呼吸器感染症が喘息及びCOPD増悪に与える影響</p> <p>242村元 真弓 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>243林 誠 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>244楠野 英胤 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>245楠本 壮二郎 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>246渡部 良雄 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>247山口 史博 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>248大田 進 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>249本間 哲也 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>250山崎 洋平 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>504岸野 康成 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>505福田 陽佑 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>506宮田 祐人 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>507佐藤 裕基 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>508岡村 佳穂 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>508岡村 佳穂 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>509内田 嘉隆 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>510宇野 知輝 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>511桑原 直太 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>512眞鍋 亮 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>513黒田 佑介 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>514柿内 佑介 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>515藤嶋 彬 呼吸器・アレルギーに関する研究</p> <p>516賀嶋 絢佳 呼吸器・アレルギーに関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		517江波戸 貴哉 呼吸器・アレルギーに関する研究 518小野崎 翔太 呼吸器・アレルギーに関する研究 519北野 はるか 呼吸器・アレルギーに関する研究 520林 三奈 呼吸器・アレルギーに関する研究 521白取 陽 呼吸器・アレルギーに関する研究 522酒井 翔吾 呼吸器・アレルギーに関する研究 523神野 恵美 呼吸器・アレルギーに関する研究 524木村 友之 呼吸器・アレルギーに関する研究 525刑部 優希 呼吸器・アレルギーに関する研究 526三國 肇子 呼吸器・アレルギーに関する研究 527岡崎 朋子 呼吸器・アレルギーに関する研究 528清水 翔平 呼吸器・アレルギーに関する研究 529高橋 明子 呼吸器・アレルギーに関する研究 530張 秀一 呼吸器・アレルギーに関する研究 531松永 智宏 呼吸器・アレルギーに関する研究 532高野 賢治 呼吸器・アレルギーに関する研究 533川村 さおり 呼吸器・アレルギーに関する研究 534新 健史 呼吸器・アレルギーに関する研究 535中本 真理 呼吸器・アレルギーに関する研究 536瀧島 弘康 呼吸器・アレルギーに関する研究	
専攻科目	リウマチ・膠原病内科学	<p>【概要】</p> <p>外来病棟実習にてリウマチ膠原病内科医としてもスキルを上げるとともに、クリニカルクエスチョンを列挙する。症例検討会、講演会聴講、関節エコー検査見学を行う。臨床研究のメソッドと7つのステップを学習する。基礎研究の基本（器材の使い方始まり、試薬の取り扱い方など）を学ぶ。臨床研究、基礎研究共通の事項として、研究に適する統計解析について学び、実践する。症例発表、mass studyの研究の発表を行う。発表前に打ち合わせるとともに、発表のお作法を学ぶ。論文作成のお作法、書き方、倫理委員会の提出方法、論文投稿の方法、Reviveの返答の方法など実際に論文を作成し、投稿する過程をハンズオンで行う。</p> <p>講義・実習・演習の内容</p> <p>リウマチ膠原病疾患を全身的系統的に観察し諸臓器の変化について内科学的各種診断法、画像診断法、核医学診断法、生化学的、免疫学的、分子生物学的、分子遺伝学的、病理組織学的方法などにより疾病の病態生理の正しい把握と病因の解明ならびに新しい治療法の開発を目標として研究と教育を行う。</p> <p>111井上 嘉彦 関節リウマチの薬剤反応性に関する臨床研究</p> <p>112三輪 裕介 関節リウマチの薬剤反応性に関する臨床研究</p> <p>113矢嶋 宣幸 関節リウマチの薬剤反応性に関する臨床研究</p> <p>251若林 邦伸 関節リウマチにおける発症機序に関する炎症免疫学的解析</p> <p>252徳永 剛広 関節リウマチにおける発症機序に関する炎症免疫学的解析</p> <p>253大宮 信哉 関節リウマチにおける発症機序に関する炎症免疫学的解析</p> <p>254石井 翔 関節リウマチにおける発症機序に関する炎症免疫学的解析</p> <p>537栗田 瑠子 リウマチ・膠原病に関する研究</p> <p>538西見 慎一郎 リウマチ・膠原病に関する研究</p> <p>539米澤 奈緒 リウマチ・膠原病に関する研究</p> <p>540西見 愛里 リウマチ・膠原病に関する研究</p>	講義・実習・実習、演習については、研究内容等に依りて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		541猪狩 雄蔵 リウマチ・膠原病に関する研究 542高橋 良 リウマチ・膠原病に関する研究 543磯島 咲子 リウマチ・膠原病に関する研究 544林 智樹 リウマチ・膠原病に関する研究 545羽多野 美香 リウマチ・膠原病に関する研究 546河森 一毅 リウマチ・膠原病に関する研究 547小西 典子 リウマチ・膠原病に関する研究	
専攻科目	糖尿病・代謝・内分泌内科学	【概要】 ・内科学および糖尿病・代謝・内分泌学の基本となる病態生理、診断技術、治療を習得する。 ・斬新で有益な臨床研究を遂行する。研究成果は国内外で学会発表し、原則として英文論文を作成する。 ・医学博士を取得する。糖尿病専門医、内分泌専門医の取得をめざす。 講義・実習・演習の内容 ・糖尿病および合併症の発症機構の解明、治療を中心に基礎的、臨床的研究を行う。 ・脂質異常症の発症機構の解明、治療を中心に基礎的、臨床的研究を行う。 ・動脈硬化の発症機構の解明、治療を中心に基礎的、臨床的研究を行う。 ・甲状腺疾患発症機構を原因遺伝子の特定を中心に行う。 16長坂 昌一郎 糖尿病神経障害の病態に関する研究 17山岸 昌一 2型糖尿病の持続血糖モニタリング(CGM)を用いた各種血糖変動と酸化ストレスの関連に関する研究 114福井 智康 1型糖尿病成因に関する研究 115森 雄作 2型糖尿病患者のAGEsに関する研究 116國井 葉 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 117大塚 史子 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 255遠藤 慶 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 256広村 宗範 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 257山本 剛史 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 258飯坂 徹 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 259高田 道哉 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 260寺崎 道重 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 261小原 信 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 262荏原 徹 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 548野木 孝准 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 549高畑 洋 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 550今井 秀之 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 551杉田 弘江 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 552小原 絢子 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 553大坂 直也 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 553大坂 直也 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 554藤川 大輝 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 555田所 梨枝 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 556児玉 恵理子 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 557佐藤 展子 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		558飯田 達也 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 559三倉 健太郎 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 560竹鼻 伸晃 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 561鈴木 麻未 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 562高橋 育克 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 563橋詰 真衣 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 564飯田 千穂 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究 565八島 広典 糖尿病・代謝・内分泌に関する研究	
専攻科目	消化器内科学	【概要】 消化管疾患、肝胆膵疾患の診療、病態解析および治療に必要な知識、技術を習得することで、高度な診療、研究および教育を行うことができる医師の育成をめざす。 講義・実習・演習の内容 1) 腹腔内臓器の解剖・生理を理解する。 2) 各種基本手技を習得する。 3) 症例ごとの読影方法などをケースカンファレンスにて学ぶ。 4) ルーチン検査手技を習得し、診断が行えるようになる。 18吉田 仁 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 70伊藤 敬義 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 71馬場 俊之 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 72長瀬 正亞 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 118江口 潤一 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 119若村 邦彦 消化管（内視鏡）に関する研究 120浦上 尚之 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 121山村 冬彦 消化管（内視鏡）に関する研究 122片桐 敦 進行消化器癌に対する化学療法の研究 123宮地 英行 消化管（内視鏡）に関する研究 124山本 頼正 肝炎の発症機序における分子免疫学的研究 263牛尾 純 消化器に関する研究 264坂木 理 消化器に関する研究 265林 武雅 消化器に関する研究 266野村 憲弘 消化器に関する研究 267打越 学 消化器に関する研究 268五味 邦代 消化器に関する研究 269阿曾沼 邦央 消化器に関する研究 270高野 祐一 消化器に関する研究 271松平 真悟 消化器に関する研究 271松平 真悟 消化器に関する研究 272紺田 健一 消化器に関する研究 273東條 正幸 消化器に関する研究 274荒井 潤	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		消化器に関する研究 275一政 克朗 消化器に関する研究 276前田 康晴 消化器に関する研究 277居軒 和也 消化器に関する研究 278市川 雪 消化器に関する研究 279久行 友和 消化器に関する研究 280下間 祐 消化器に関する研究 281小形 典之 消化器に関する研究 282三澤 将史 消化器に関する研究 283魚住 祥二郎 消化器に関する研究 284石井 優 消化器に関する研究 285中村 大樹 消化器に関する研究 566梶原 敦 消化器に関する研究 567花村 祥太郎 消化器に関する研究 568牛腸 俊彦 消化器に関する研究 569三井 佑太 消化器に関する研究 570遠藤 利行 消化器に関する研究 571田代 知映 消化器に関する研究 572中島 陽子 消化器に関する研究 573加藤 一樹 消化器に関する研究 574小川 悠史 消化器に関する研究 575池田 晴夫 消化器に関する研究 576田中 健太 消化器に関する研究 577三宅 美幸子 消化器に関する研究 578佐藤 雄太 消化器に関する研究 579國田 康輔 消化器に関する研究 580柴田 悠樹 消化器に関する研究 581阿部 正洋 消化器に関する研究 582小倉 庸平 消化器に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に 応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		583末永 明子 消化器に関する研究	
		584野口 敏宏 消化器に関する研究	
		585河西 千恵 消化器に関する研究	
		586福田 舞 消化器に関する研究	
		587藤吉 祐輔 消化器に関する研究	
		588石山 美咲 消化器に関する研究	
		589藤原 敬久 消化器に関する研究	
		590神山 勇太 消化器に関する研究	
		591桜井 達也 消化器に関する研究	
		592杉浦 育也 消化器に関する研究	
		593吉田 詠里加 消化器に関する研究	
		594新谷 文崇 消化器に関する研究	
		595角 一弥 消化器に関する研究	
		596宇佐美 智乃 消化器に関する研究	
		597鈴木 統大 消化器に関する研究	
		598浅見 哲史 消化器に関する研究	
		599望月 健一 消化器に関する研究	
		599望月 健一 消化器に関する研究	
		600西川 洋平 消化器に関する研究	
		601高階 祐輝 消化器に関する研究	
		602加藤 久貴 消化器に関する研究	
		603田邊 万葉 消化器に関する研究	
		604峯岸 洋介 消化器に関する研究	
		605奥村 大志 消化器に関する研究	
		606島村 勇人 消化器に関する研究	
		607中谷 湊 消化器に関する研究	
		608清水 寛 消化器に関する研究	
		609牛久保 慧 消化器に関する研究	
		610岸 優美 消化器に関する研究	
		611汐見 大二郎 消化器に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	循環器内科学	<p>【概要】 循環器疾患の成因、病態解析および治療法を学習し、最新の臨床知識と技能の習得により、よりよい診断、治療法の開発・獲得をめざす。この目的のために、臨床循環器学を中心とした優れた研究課題の遂行に努力し、次世代の研究者、教育者の育成をめざす。</p> <p>講義・実習・演習の内容 循環器内科学における疾病の成因と病態生理・治療法の理解と実践のために臨床的な学習として、心電図学、心臓画像診断学、核医学、心臓カテーテル法、冠動脈造影法、臨床心臓電気生理検査法、病理学的診断法などの診断・検査法の講義および実習を行なう。さらに新たな疾病の成因や病態生理の解明、治療法の開発・検証を行なうことを目的として臨牀的、基礎的な学術を講義するとともに実際の研究を通して実習する。</p> <p>19鈴木 洋 動脈硬化性心血管病のバイオマーカー、遺伝子多型の検討</p> <p>20丹野 郁 各種ペーシング療法への心機能への効果に対する検討</p> <p>21落合 正彦 新世代ステントによる冠動脈インターベンション治療の臨牀的評価</p> <p>22新家 俊郎 心臓MRIによる冠動脈周囲脂肪および冠動脈内プラークの相関性の検討</p> <p>125浅野 拓 不整脈に対するカテーテルアブレーションの臨牀的検討</p> <p>126安達 太郎 睡眠時無呼吸と循環器疾患との関連に関する検討</p> <p>127磯 良崇 心疾患患者のリハビリテーションの予後改善機序の解析と費用対効果の検討</p> <p>128若林 公平 冠動脈脆弱性粥腫の画像診断解析CT, IVUS, OCT, OFDIを用いた検討</p> <p>129磯村 直栄 新世代ステントによる冠動脈インターベンション治療の臨牀的評価</p> <p>286土至田 勉 循環器に関する研究</p> <p>287三好 史人 循環器に関する研究</p> <p>288小貫 龍也 循環器に関する研究</p> <p>289横田 裕哉 循環器に関する研究</p> <p>290森 敬善 循環器に関する研究</p> <p>291塚本 茂人 循環器に関する研究</p> <p>292福岡 裕人 循環器に関する研究</p> <p>293大西 克実 循環器に関する研究</p> <p>294岡部 俊孝 循環器に関する研究</p> <p>295菊地 美和 循環器に関する研究</p> <p>296西蔵 天人 循環器に関する研究</p> <p>296西蔵 天人 循環器に関する研究</p> <p>297池田 尚子 循環器に関する研究</p> <p>298正司 真 循環器に関する研究</p> <p>299近藤 誠太 循環器に関する研究</p> <p>300辻田 裕昭 循環器に関する研究</p> <p>301金子 堯一 循環器に関する研究</p> <p>302望月 泰秀 循環器に関する研究</p> <p>303松本 英成 循環器に関する研究</p> <p>304住田 有弘 循環器に関する研究</p> <p>305樋口 聡 循環器に関する研究</p> <p>619千葉 雄太 循環器に関する研究</p> <p>620酒井 孝志郎 循環器に関する研究</p> <p>621中村 友哉 循環器に関する研究</p>	講義・実習・実演、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		622大石 庸介 循環器に関する研究	
		623後閑 俊彦 循環器に関する研究	
		624荒井 研 循環器に関する研究	
		625佐藤 千聡 循環器に関する研究	
		626笹村 さくら 循環器に関する研究	
		627猪口 孝一郎 循環器に関する研究	
		628関本 輝雄 循環器に関する研究	
		629倉田 征昭 循環器に関する研究	
		630鈴木 美希 循環器に関する研究	
		631小崎 遼太 循環器に関する研究	
		632谷澤 宏樹 循環器に関する研究	
		633大山 口司 循環器に関する研究	
		634井川 渉 循環器に関する研究	
		635小野 盛夫 循環器に関する研究	
		636木戸 岳彦 循環器に関する研究	
		637武井 洋介 循環器に関する研究	
		638蜂矢 るみ 循環器に関する研究	
		639古屋 貴宏 循環器に関する研究	
		640亀田 俊吾 循環器に関する研究	
		641久保田 芽生 循環器に関する研究	
		642谷崎 友香 循環器に関する研究	
		643荏原 誠太郎 循環器に関する研究	
		644田代 一口 循環器に関する研究	
		645間瀬 浩 循環器に関する研究	
		646和田 大舗 循環器に関する研究	
		647木村 太朗 循環器に関する研究	
		648斎藤 惇平 循環器に関する研究	
		649嶋津 英 循環器に関する研究	
		650柴田 恵多 循環器に関する研究	
		651小倉 邦弘 循環器に関する研究	
		652大村 歩 循環器に関する研究	
		653鈴木 敏晃 循環器に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	腎臓内科学	<p>【概要】 腎臓病と腎臓病に関連する疾患の診療、病態生理および治療法、各種血液浄化療法を理解・習得するための実習を行う。</p> <p>1) 臨床に即した思考能力の育成：患者の問題点、病態生理をカンファレンス等で検討する。 2) 腎臓病と腎臓病に関連する疾患の診断・治療能力の育成：病態の把握と理解に必要な血液検査、病理組織学、画像診断学に基づいた病態の把握と治療法を学習・理解する。 3) 基礎医学的知識、実験手技の習得：腎臓病と腎臓病に関連する疾患の病態生理、問題点を病理組織学、分子生物学的手法、統計学的手法をはじめとする種々の解析法を用いて検討することにより、より深く理解する。 4) 論文作成：習得した様々な知識、技術を用いて新しい医学的知見を追求する。</p> <p>23本田 浩一 糸球体腎炎およびネフローゼ症候群の発症・進展機序と治療・予後に関する臨床・免疫・病理学的研究</p> <p>24小岩 文彦 慢性腎臓病（CKD）と心臓血管病変に関する研究</p> <p>130溝渕 正英 慢性腎臓病（CKD）と心臓血管病変に関する研究</p> <p>131松本 啓 腎臓に関する研究</p> <p>132伊藤 英利 慢性腎臓病（CKD）と心臓血管病変に関する研究</p> <p>306西脇 宏樹 腎臓に関する研究</p> <p>307竹島 亜希子 腎臓に関する研究</p> <p>308佐藤 芳憲 腎臓に関する研究</p> <p>309鈴木 泰平 腎臓に関する研究</p> <p>310加藤 憲 腎臓に関する研究</p> <p>311山本 真寛 腎臓に関する研究</p> <p>312河嶋 英里 腎臓に関する研究</p> <p>654宮崎 友晃 腎臓に関する研究</p> <p>655橋 翔平 腎臓に関する研究</p> <p>656稲葉 大朗 腎臓に関する研究</p> <p>657森川 友喜 腎臓に関する研究</p> <p>658川田 尚人 腎臓に関する研究</p> <p>659杉山 元紀 腎臓に関する研究</p> <p>660加藤 雅典 腎臓に関する研究</p> <p>661齋藤 友広 腎臓に関する研究</p> <p>661齋藤 友広 腎臓に関する研究</p> <p>662鮫島 里沙 腎臓に関する研究</p> <p>663大澤 基 腎臓に関する研究</p> <p>664藤田 崇史 腎臓に関する研究</p> <p>665三村 優樹 腎臓に関する研究</p> <p>666笹井 文彦 腎臓に関する研究</p> <p>667水上 礼 腎臓に関する研究</p> <p>668齋藤 佳範 腎臓に関する研究</p> <p>669佐藤 望 腎臓に関する研究</p> <p>670梶谷 英人 腎臓に関する研究</p> <p>671林 純一 腎臓に関する研究</p> <p>672美馬 友紀 腎臓に関する研究</p> <p>673及川 愛 腎臓に関する研究</p> <p>674高見 礼示 腎臓に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	血液内科学	<p>【概要】</p> <p>1. 造血器疾患の診断学：内科診断学を基礎とし、細胞形態学、細胞病理学、病態生理学、画像診断学、分子生物学的診断学を学び造血器疾患の診断学を実習する。</p> <p>2. 造血器疾患の治療学：免疫抑制療法・化学療法・造血幹細胞移植療法・免疫療法・支持療法を学び実習する。また腫瘍内科学を基礎とした造血器腫瘍の治療学を学び実習する。</p> <p>3. 文献などを通じ最新の知見を得て集学的治療を学び実習する。</p> <p>4. これらの講義・実習の経験から臨床的な研究課題を抽出、その解明を目的とし実験演習をおこなう。その成果を論文とする。</p> <p>25坂下 暁子 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に関する臨床研究</p> <p>26服部 憲路 難治性造血器腫瘍に関する基礎研究</p> <p>133酒井 広隆 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に関する臨床研究</p> <p>313松縄 学 血液に関する研究</p> <p>675奥 奈々 血液に関する研究</p> <p>676藤原 有紀子 血液に関する研究</p> <p>677藤原 峻 血液に関する研究</p> <p>678蒲澤 宣幸 血液に関する研究</p> <p>679阿部 真麻 血液に関する研究</p> <p>680佐々木 陽平 血液に関する研究</p> <p>681綿貫 めぐみ 血液に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	脳神経内科学	<p>【概要】</p> <p>神経疾患における症候学、診断学を習熟し、的確な診断技術を獲得する。症候の解剖生理学的基盤に精通することにより、新たな病態の解明に寄与し、新規の知見を得ることを目指す。また、最新の治療学に精通し、病態研究から得られた知見を加味することによって最良の治療、新たな治療法を見出していく。この目的のために、広い視野を有し、探求精神にあふれる臨床専門医および医学研究者の育成をめざす。</p> <p>講義・実習・演習の内容</p> <p>神経内科の広範な領域にわたる疾患、病態機序、症候学、診断技術、治療法などに関する講義、演習および実習を行う。症候学一般、神経心理学、神経病学各論、脳卒中学、神経筋病学、神経画像診断学、神経電気生理学、神経病理学、神経治療学など。</p> <p>27村上 秀友 アルツハイマー病・パーキンソン病の神経化学的研究</p> <p>73市川 博雄 高次脳機能障害学</p> <p>134栗城 綾子 アルツハイマー病・パーキンソン病の神経化学的研究</p> <p>135金野 竜太 高次脳機能障害学</p> <p>136穂田 宗太郎 アルツハイマー病・パーキンソン病の神経化学的研究</p> <p>137矢野 怜 パーキンソン病の認知機能障害・早期診断</p> <p>138馬場 康彦 パーキンソン病の認知機能障害・早期診断</p> <p>314黒田 岳志 神経に関する研究</p> <p>315笠井 英世 神経に関する研究</p> <p>316二村 明德 神経に関する研究</p> <p>317水間 啓太 神経に関する研究</p> <p>682渡辺 慶子 神経に関する研究</p> <p>683渡辺 大士 神経に関する研究</p> <p>684久保田 怜美 神経に関する研究</p> <p>685安本 太郎 神経に関する研究</p> <p>686高橋 聖也 神経に関する研究</p> <p>687野元 祥平 神経に関する研究</p> <p>688森 友紀子 神経に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>689青柳 木希 神経に関する研究</p> <p>690藤井 隆史 神経に関する研究</p> <p>690藤井 隆史 神経に関する研究</p> <p>691金城 奈都子 神経に関する研究</p> <p>692金子 優美香 神経に関する研究</p> <p>693白土 綾子 神経に関する研究</p> <p>694刑部 祐友子 神経に関する研究</p> <p>695小室 浩康 神経に関する研究</p> <p>696鍋島 陽子 神経に関する研究</p> <p>697小山内 綾子 神経に関する研究</p> <p>698藤崎 みずき 神経に関する研究</p> <p>699加藤 悠太 神経に関する研究</p> <p>700福田 早織 神経に関する研究</p>	
専 攻 科 目	腫瘍内科学	<p>【概要】 がんの疫学、生物学的特性を理解するとともに、薬物療法を中心としたがん医療の適正化について、特に腫瘍免疫学、分子生物学的手法を用いた研究を立案、実践、論文化するプロセスを習得する。 講義・実習・演習の内容 がん医療の臨床現場で求められる臨床腫瘍医としての知識、技能、態度を習得するとともに、臨床腫瘍学を体系的に講義、実習、および新しい治療法の開発を目標としたトランスレーショナル・リサーチおよび臨床研究を行う。</p> <p>28角田 卓也 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>29市川 度 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>74嶋田 顕 ゲノム解析による抗悪性腫瘍薬の基礎的・臨床的研究</p> <p>139関川 高志 各臓器がんに対する新規薬物療法の確立</p> <p>140堀池 篤 がん免疫療法の探索的臨床研究</p> <p>141石田 博雄 ゲノム解析による抗悪性腫瘍薬の基礎的・臨床的研究</p> <p>318久保田 祐太郎 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>319戸嶋 洋和 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>320濱田 和幸 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>321有泉 裕嗣 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>322高橋 威洋 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>323大熊 達太郎 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>701小林 功治 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p> <p>702久松 篤 がん免疫療法の基礎的・臨床的研究</p>	講義・実習・実 験、演習につい ては、研究内容等 に応じて実施して いる。
専 攻 科 目	緩和医療学	<p>【概要】 緩和医療学はがんをはじめとした生命を脅かす疾患に起因した諸問題に直面している患者と家族の苦痛を予防し、病気の早い時期からの苦痛の診断と早期治療によって、QOLを改善するための臨床医学である。実践と理論を統合し、患者・家族の尊厳を重視した、臨床専門医および医学研究者の育成をめざす。 講義・実習・演習の内容 緩和医療の臨床現場で求められるチーム医療の一員として、緩和医療医としての知識、技能、態度を習得する。 緩和医療医に必要な内科学をはじめとした疼痛学、腫瘍学、臨床薬理・生理学を体系的に講義、演習を行い、オピオイド、鎮痛補助薬、精神症状に対する薬物あるいは全人的苦痛に対処するための臨床研究を行う。</p> <p>142横山 和彦 終末期癌患者の呼吸困難、倦怠感、食欲不振におけるコルチコステロイド治療の有効性と有害事象を予測する因子に関する研究</p> <p>143西木戸 修 緩和ケア病棟入院患者の予後予測のための因子の探索的調査</p> <p>324松石 純 緩和ケアに関する研究</p> <p>325高橋 彩子 緩和ケアに関する研究</p>	講義・実習・実 験、演習につい ては、研究内容等 に応じて実施して いる。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	臨床感染症学	<p>【概要】臨床感染症学に関する診断・治療の演習を通じ、内科医としての知識、経験、技能を習得する。必要な検査法を理解・習得し、エビデンスに基づいた治療を適切に行う能力を養う。感染症学全般を理解するために、基礎的・臨床的研究の意義を理解し、遂行する能力を身に付ける。総合的に健康福祉・生命科学に関する臨床的問題の解決能力を身に付ける。内科専門医としての意識、価値観をもち、感染症専門医として必要とされる能力を育成する。</p> <p>75時松 一成 アウトブレイク原因微生物の分子疫学的研究</p> <p>326詫間 隆博 感染症に関する研究</p> <p>703温 麟太郎 感染症に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	リハビリテーション医学	<p>【概要】リハビリテーションの歴史・理念・由来。ノーマライゼーションの考え方と歴史・社会保障体制の変遷・諸外国と日本の相違・リハビリテーション医学の各種診断法・画像診断法・核医学診断法・動作分析学・運動学的方法・障害の正しい把握と原因の解明ならびに新しい評価法・治療法・地域リハビリテーション的手法を用いた在宅医療や社会復帰に向けたチームアプローチ法</p> <p>講義・実習・演習の内容 リハビリテーション医学の対象となる障害の原因の解明とアプローチ法の開発に関する研究ならびに教育を行う。 障害を系統的に評価し、その変化についてリハビリテーション医学の各種診断法、画像診断法、核医学診断法、動作分析学、運動学的方法などにより、障害の正しい把握と原因の解明、ならびに新しい評価法・治療法の開発を目標として研究と教育を行う。 地域リハビリテーション的手法を用いた在宅医療や社会復帰に向けたチームアプローチ法などについて研究と教育を行う。 総論、各論の講義のほか、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和大学病院リハビリテーション科などで実習を行う。</p> <p>45川手 信行 高齢者の運動器障害と日常生活活動に関する研究</p> <p>80笠井 史人 脳卒中片麻痺患者の上肢機能回復に対する機能的音楽療法の効果の検討</p> <p>81依田 光正 嚥下機能障害及び嚥下食の物性に関する検討</p> <p>171眞野 英寿 ダウン症児における身体障害の評価とアプローチに関する研究</p> <p>172橋本 圭司 ITを利用した認知リハビリテーションシステムの開発</p> <p>173永井 隆士 フレイル・サルコペニア・骨粗鬆症に関する研究</p> <p>404正岡 智和 リハビリテーションに関する研究</p> <p>405竹島 慎一 リハビリテーションに関する研究</p> <p>809吉富 明利 リハビリテーションに関する研究</p> <p>810馬場 智子 リハビリテーションに関する研究</p> <p>811飯田 守 リハビリテーションに関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	皮膚科学	<p>【概要】皮膚科学は皮膚所見からその病態を正確に把握して適切な診断と治療を行い、国民の健康維持に寄与することを目的とする医学であり、病態の理解には病理組織学を基本とする基礎的知識の修得が必須である。このような基盤に立ち、マクロの臨床医学からミクロの基礎医学に至る幅広い視野を有する医学研究者および臨床専門医の育成を目的とする。</p> <p>講義・実習・演習の内容 皮膚病変の病態の把握と理解に必要な病理組織学、免疫病理組織学、電子顕微鏡学、皮膚免疫学、医真菌学、皮膚腫瘍学、皮膚疾患治療学の講義と実習を行い、病態解明と治療法の開発に関する研究を行う。</p> <p>52中田 土起丈 接触皮膚炎に関する臨床研究</p> <p>53永田 茂樹 Neutrophil extracellular traps (NETs) と皮膚疾患の関係に関する研究</p> <p>54猪又 直子 重症薬疹の早期診断法および治療法に関する研究</p> <p>86渡辺 秀晃 重症薬疹の早期診断法および治療法に関する研究</p> <p>185保坂 浩臣 皮膚腫瘍における病理・免疫組織学的特徴および病期による変遷に関する解析</p> <p>435小林 香映 皮膚に関する研究</p> <p>436伊藤 雄大 皮膚に関する研究</p> <p>891高橋 奈々子 皮膚に関する研究</p> <p>892田代 康哉 皮膚に関する研究</p> <p>893吉田 茉莉恵 皮膚に関する研究</p> <p>894城内 和史 皮膚に関する研究</p> <p>895岩橋 ゆりこ 皮膚に関する研究</p> <p>896見代 佳奈 皮膚に関する研究</p> <p>897三輪 祐 皮膚に関する研究</p> <p>898村上 遥子 皮膚に関する研究</p> <p>899山内 輝夫 皮膚に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>皮膚に関する研究</p> <p>900早川 和子 皮膚に関する研究</p> <p>901北島 真理子 皮膚に関する研究</p> <p>902五味 由梨佳 皮膚に関する研究</p> <p>903青木 由真 皮膚に関する研究</p> <p>903青木 由真 皮膚に関する研究</p> <p>904石橋 智 皮膚に関する研究</p> <p>905吉田 春奈 皮膚に関する研究</p>	
専攻科目	小児内科学・小児循環器内科学	<p>【概要】小児科学は、成長・発達の過程を考慮しながら診断や治療を行うとともに、次世代を担う小児の健全育成のための臨床医学である。このような基盤に立ち、診断・治療学のみならず予防医学に対する理解も有する臨床専門医および医学研究者の育成をめざす。講義・実習・演習の内容</p> <p>発達生理学的基盤に立ったうえで、各種疾病の病因の解明と治療法の開発に関する研究や教育、ならびに健全育成のための予防医学的教育を行う。①乳幼児健診を通じての育児への対応や疾病予防対策に関する教育および研究、②各種疾病の病態・病因、診断・治療法に関する教育および研究。③定例研究発表会の開催。</p> <p>58池田 裕一 小児の排尿障害に関する研究</p> <p>59水野 克己 母乳の成分に関する研究</p> <p>87今井 孝成 食物アレルギーの治療に関する研究</p> <p>88加藤 光広 てんかん症候群の原因解明と治療法開発に関する研究</p> <p>190中野 有也 脂肪細胞と体組成からみた節約型体質の解明</p> <p>191村瀬 正彦 早産児の骨代謝に関する研究</p> <p>192阿部 祥英 境界知能の児童に対する学習支援に関する研究</p> <p>458本間 敬子 小児に関する研究</p> <p>459三川 武志 小児に関する研究</p> <p>460松橋 一彦 小児に関する研究</p> <p>461神谷 太郎 小児に関する研究</p> <p>462宮沢 篤生 小児に関する研究</p> <p>463井川 三緒 小児に関する研究</p> <p>464小林 梢 小児に関する研究</p> <p>465岡田 祐樹 小児に関する研究</p> <p>466布山 正貴 小児に関する研究</p> <p>929島田 千紘 小児に関する研究</p> <p>930寺田 知正 小児に関する研究</p> <p>931渡邊 佳孝 小児に関する研究</p> <p>932松本 皆子 小児に関する研究</p> <p>932松本 皆子 小児に関する研究</p> <p>933加古 結子 小児に関する研究</p> <p>934京田 学是 小児に関する研究</p> <p>935藤本 陽子 小児に関する研究</p> <p>936三輪 善之 小児に関する研究</p> <p>937城所 励太 小児に関する研究</p> <p>938唐渡 諒 小児に関する研究</p> <p>939浅井 秀幸</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		小児に関する研究	
		940石川 琢也 小児に関する研究	
		941大貫 裕太 小児に関する研究	
		942前田 麻由 小児に関する研究	
		943金澤 建 小児に関する研究	
		944小宅 千聖 小児に関する研究	
		945岩久 貴志 小児に関する研究	
		946日隈 のどか 小児に関する研究	
		947野口 悠太郎 小児に関する研究	
		948大川 恵 小児に関する研究	
		949越智 彩子 小児に関する研究	
		950渡邊 優 小児に関する研究	
		951渡邊 常樹 小児に関する研究	
		952長谷部 義幸 小児に関する研究	
		953富永 牧子 小児に関する研究	
		954小川 玲 小児に関する研究	
		955村川 哲郎 小児に関する研究	
		956河合 延啓 小児に関する研究	
		957上條 香織 小児に関する研究	
		958水越 曜子 小児に関する研究	
		959茂木 桜 小児に関する研究	
		960江畑 晶夫 小児に関する研究	
		961青木 真史 小児に関する研究	
		962服部 透也 小児に関する研究	
		963豊田 純也 小児に関する研究	
		964八木 直美 小児に関する研究	
		965氏家 岳斗 小児に関する研究	
		966鮫島 舞 小児に関する研究	
		967高見堂 正太郎 小児に関する研究	
		968本多 愛子 小児に関する研究	
		969山岡 大志郎 小児に関する研究	
		970木村 太郎 小児に関する研究	
		971山本 和也 小児に関する研究	
		972高木 俊敬 小児に関する研究	
		973大塚 康平 小児に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		974及川 洗輔 小児に関する研究 975高瀬 真理子 小児に関する研究 89藤井 隆成 3Dモデルを使用した先天性心疾患に対するカテーテル治療法の開発 193喜瀬 広亮 小児循環器に関する研究 467大山 伸雄 小児循環器に関する研究 976清水 武 小児循環器に関する研究 977長岡 孝太 小児循環器に関する研究 977長岡 孝太 小児循環器に関する研究 978石井 瑤子 小児循環器に関する研究 979加藤 真理子 小児循環器に関する研究	
専 攻 科 目	精神医学	【概要】 主要な精神疾患に関する医学的知識を習得し、その病態生理、治療法を明らかにする。また同時に、精神科と他科との連携、ならびに社会のなかでの精神医学の位置づけや役割を理解する。このような目的のために、広い視野を有し、強い探究力を持つ医学研究者および臨床専門医の育成を図る。 生物学的および心理社会的領域において幅広い視野を持った研究推進力のある精神医学研究者となるために、主要な精神疾患の病態・治療法や社会の中での精神医学の位置づけや役割について知識、態度、技能を修得する。 精神医学領域における高い学術水準の独創的知見を得ることができ、後人育成の指導的立場を担える、また研究を通じて高い倫理観を持った社会貢献できる人材を養成する。 60岩波 明 成人発達障害患者の腸脳連関に関する研究 61稲本 淳子 認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価の研究 194高塩 理 不安症を対象としたマインドフルネス研究 195山田 浩樹 認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価の研究 196富岡 大 認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価の研究 197真田 建史 脳機能イメージングを用いたうつ病患者の腸脳連関に関する研究 198戸田 重誠 生理学的指標を用いた成人ADHD患者の注意障害の神経基盤に関する研究 199音羽 健司 うつ病の全ゲノム関連解析と環境ストレスの影響についての研究 468建石 友子 精神医学に関する研究 469清水 勇人 精神医学に関する研究 470笹森 大貴 精神医学に関する研究 471中村 暖 精神医学に関する研究 472幾瀬 大介 精神医学に関する研究 473常岡 俊昭 精神医学に関する研究 980花田 佐保子 精神医学に関する研究 981林 若穂 精神医学に関する研究 982沖野 和麿 精神医学に関する研究 983徳増 卓宏 精神医学に関する研究 984中村 善文 精神医学に関する研究 985新村 一樹 精神医学に関する研究 985新村 一樹 精神医学に関する研究 986堀内 健太郎 精神医学に関する研究 987鈴木 洋久 精神医学に関する研究 988中井 文香 精神医学に関する研究 989刀館 英久 精神医学に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 攻 科 目	放射線科学・放射線治療学	<p>【概要】 臨床放射線医学は画像診断と放射線治療の2つの柱から成り立っている。最近の画像診断の進歩はめざましく、現在では臨床医学に無くてはならないものとなっている。放射線治療も治療技術の進歩および臨床試験により得られたエビデンスに裏付けられ、がん治療での役割が大きくなってきた。このような幅広い分野について、臨床的知識のみならず放射線物理学や放射線生物学などの基礎的な知識も有する医学研究者および臨床専門医の育成を目標とする。</p> <p>62扇谷 芳光 マルチスライスCTの基礎的及び臨床的研究</p> <p>90藤澤 英文 コーンビームCTのIVRへの応用の研究</p> <p>200清野 哲孝 放射線医学に関する研究</p> <p>201竹山 信之 放射線医学に関する研究</p> <p>202堀 祐郎 放射線医学に関する研究</p> <p>474横井 健人 放射線医学に関する研究</p> <p>475宗近 次朗 放射線医学に関する研究</p> <p>990村上 大軌 放射線医学に関する研究</p> <p>991渡邊 孝太 放射線医学に関する研究</p> <p>992長谷川 春菜子 放射線医学に関する研究</p> <p>993竹内 愛弓 放射線医学に関する研究</p> <p>994田代 祐基 放射線医学に関する研究</p> <p>995可知 真南 放射線医学に関する研究</p> <p>996三好 布季子 放射線医学に関する研究</p> <p>997橋詰 典弘 放射線医学に関する研究</p> <p>998阿部 亮介 放射線医学に関する研究</p> <p>999佐伯 美帆 放射線医学に関する研究</p> <p>1000瀬戸川 武仁 放射線医学に関する研究</p> <p>1001甲斐 亮三 放射線医学に関する研究</p> <p>1002笹沢 俊吉 放射線医学に関する研究</p> <p>1002笹沢 俊吉 放射線医学に関する研究</p> <p>63伊藤 芳紀 高精度放射線治療（IMRT、定位照射、IGRT、IGBT）の研究</p> <p>91今井 敦 高精度放射線治療（IMRT、定位照射、IGRT、IGBT）の研究</p> <p>203新城 秀典 放射線治療に関する研究</p> <p>204村上 幸三 化学放射線療法におけるワークフローの最適化に向けたシステムの開発研究</p> <p>205師田 まどか 放射線治療に関する研究</p> <p>476吉田 正子 放射線治療に関する研究</p> <p>477原田 堅 放射線治療に関する研究</p> <p>1003小澤 由季子 放射線治療に関する研究</p> <p>1004新谷 暁史 放射線治療に関する研究</p> <p>1005崔 玲 放射線治療に関する研究</p> <p>1006西村 恵美 放射線治療に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	総合診療医学	<p>【概要】 内科一般および内因性救急疾患、外因性救急疾患の診療、病態生理および治療法を理解・習得するための講義・ケースカンファレンス・実習を行い、臨床に即した思考能力を養う。 また、以下のテーマなどを中心に、習得した様々な知識、技術を用いて新しい医学的知見を追求し、論文作成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症候における疾患特異性と感度の研究 ・初診内科患者に行う諸検査の妥当性の研究 ・病院前診療の「アウトカム」への事後検証の研究 ・内科救急患者におけるトリアージの改善に関する研究 ・内科総合診療およびER診療におけるにおける院内管理の研究 ・内科総合診療およびER診療におけるにおける行政、地域連携の研究 ・内科総合およびERの卒前・卒後研修についての研究 ・効果的な臨床医学教育に関する研究 	<p>講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。</p> <p>・2022年度4月1日時点募集停止中。</p>
専攻科目	心臓血管外科学	<p>【概要】 心臓血管外科における病態生理や診断・治療法の進歩・開発に必要な知識、手技を習得することにより、これらの分野に精通する研究者・教育者の育成を目指す。また、大学人として「研究」「教育」「臨床」という三本柱の意義を十分に理解して当分野の進歩・発展に寄与し得る医師を育成する。</p> <p>講義・実習・演習の内容 基礎臨床研修では得られない専門性の高い医療技術の習得とそれに関連する講義・実習を行い、さらに学術集会へも積極的に参加して新しい知識を得るとともに最先端の研究論文の作成・報告を行うための指導を行う。</p> <p>30奥山 浩 生体弁についての研究</p> <p>31山口 裕己 重症三尖弁閉鎖不全症に対するパッチを用いた前尖拡大術の検討</p> <p>32青木 淳 僧帽弁閉鎖不全症の標準的な弁形成法の開発</p> <p>144尾本 正 僧帽弁閉鎖不全症の標準的な弁形成法の開発</p> <p>145中村 裕昌 心臓血管に関する研究</p> <p>327丸田 一人 心臓血管に関する研究</p> <p>704益田 智章 心臓血管に関する研究</p> <p>705中川 博文 心臓血管に関する研究</p> <p>706寺田 拓仁 心臓血管に関する研究</p> <p>707上野 洋資 心臓血管に関する研究</p> <p>708門脇 輔 心臓血管に関する研究</p> <p>709内田 考紀 心臓血管に関する研究</p> <p>710山崎 裕起 心臓血管に関する研究</p> <p>711中村 圭佑 心臓血管に関する研究</p>	<p>講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。</p>
専攻科目	小児心臓血管外科学	<p>【概要】 極めて専門性が高い先天性心疾患分野における病態理解、手術手技に関連する講義・実習を行う。状況に応じて、実際の手術治療参加、最新の学術集会への参加や症例報告および研究論文の作成も考慮する。</p> <p>講義・実習・演習の内容 基礎臨床研修では得られない専門性の高い医療技術の習得とそれに関連する講義・実習を行う、さらに学術集会へも説教的に参加して新しい知識を得るとともに最先端の研究論文の作成・報告を行うための指導を行う。</p> <p>76宮原 義典 新たな右室流出路形成術の開発</p> <p>712佐野 俊和 小児心臓血管に関する研究</p> <p>713堀尾 直裕 小児心臓血管に関する研究</p> <p>714堀川 優衣 小児心臓血管に関する研究</p>	<p>講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。</p>
専攻科目	呼吸器外科学	<p>【概要】 呼吸器外科学総論・各論、外科腫瘍学、気腫性嚢胞性疾患、縦隔腫瘍学、胸部悪性腫瘍学、外科的呼吸生理学、感染症学、外科外傷学、ほか。</p> <p>講義・実習・演習の内容 呼吸器外科疾患の病態解析と治療法開発に必要な講義・実習を行う。 とくに基礎臨床研修では得られない専門性の高い医療技術の習得とそれに関連する講義・実習を行い、さらに学術集会へも積極的に参加して新しい知識を得るとともに最先端の研究論文の作成・報告を行うための指導を行う。</p> <p>33北見 明彦 外科医のノンテクニカル・スキル評価システムの構築</p> <p>34武井 秀史 非小細胞肺癌患者の効果予測因子としての核酸代謝酵素mRNA発現</p>	<p>講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。</p>

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>146山本 悠 3D-HRCTより作成したvirtual bronchoscopyの肺抹消病変TBLB施行における有用性について</p> <p>147吉田 勤 内視鏡手術における若手医師育成を目指した教育システムの構築</p> <p>328植松 秀護 呼吸器外科に関する研究</p> <p>329鈴木 浩介 呼吸器外科に関する研究</p> <p>330遠藤 哲哉 呼吸器外科に関する研究</p> <p>331氷室 直哉 呼吸器外科に関する研究</p> <p>715南方 孝夫 呼吸器外科に関する研究</p> <p>716新谷 裕美子 呼吸器外科に関する研究</p> <p>717大橋 慎一 呼吸器外科に関する研究</p> <p>718田中 洋子 呼吸器外科に関する研究</p>	
専攻科目	消化器一般外科学	<p>【概要】 対象疾患の病態の解明と治療法の開発に関する研究と教育を行う。臓器特有の縦断的研究はもとより、病態の科学的理解のために外科病理学、腫瘍学、生理学、生化学、免疫学および分子生物学的手段により横断的な研究と教育を行う。基礎的研究に基づき消化器疾患の病態を解明し、治療法として、低侵襲手術、機能温存手術、光力学診断の手術への応用、再生医療の一環としての細胞移植、臓器移植を志向し、悪性腫瘍の個別化治療などの適応と手技の開発を行い、さらに、臨床試験の方法と実践について研究と教育を行う。</p> <p>35青木 武士 消化器癌の発生および進展に関する研究</p> <p>36石田 文生 消化器癌の発生および進展に関する研究</p> <p>37田中 邦哉 消化器癌の発生および進展に関する研究</p> <p>77横山 登 消化器癌の発生および進展に関する研究</p> <p>78大塚 耕司 消化器癌の発生および進展に関する研究</p> <p>148出口 義雄 消化器に関する研究</p> <p>149伊藤 寛晃 消化器に関する研究</p> <p>150澤田 成彦 消化器に関する研究</p> <p>151福島 光浩 消化器に関する研究</p> <p>152榎並 延太 消化器に関する研究</p> <p>153渡辺 誠 大腸癌に対する蛍光ガイドの研究</p> <p>154五藤 哲 消化器に関する研究</p> <p>155吉武 理 腎移植に対する研究</p> <p>156松尾 憲一 消化器に関する研究</p> <p>332相田 貞継 消化器に関する研究</p> <p>333山崎 公靖 消化器に関する研究</p> <p>334松田 和広 消化器に関する研究</p> <p>335坂上 聡志 消化器に関する研究</p> <p>336山下 剛史 消化器に関する研究</p> <p>337伊達 博三 消化器に関する研究</p> <p>337伊達 博三 消化器に関する研究</p> <p>338野垣 航二 消化器に関する研究</p> <p>339磯崎 正典 消化器に関する研究</p> <p>340竹原 雄介 消化器に関する研究</p> <p>341村上 尚来 消化器に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		342藤森 聰 消化器に関する研究	
		343草野 智一 消化器に関する研究	
		344有吉 朋丈 消化器に関する研究	
		345中野 賢英 消化器に関する研究	
		346松尾 海 消化器に関する研究	
		347向井 俊平 消化器に関する研究	
		348鬼丸 学 消化器に関する研究	
		349田代 良彦 消化器に関する研究	
		350渡邊 良平 消化器に関する研究	
		351加藤 容二郎 消化器に関する研究	
		352大桑 恵子 消化器に関する研究	
		353松宮 彰彦 消化器に関する研究	
		354梅本 岳宏 消化器に関する研究	
		355保母 貴宏 消化器に関する研究	
		356木川 岳 消化器に関する研究	
		719茂木 健太郎 消化器に関する研究	
		720和田 友祐 消化器に関する研究	
		721原田 芳邦 消化器に関する研究	
		722柴田 英貴 消化器に関する研究	
		723齋藤 祥 消化器に関する研究	
		724富岡 幸大 消化器に関する研究	
		725道端 浩三郎 消化器に関する研究	
		726小沢 慶彰 消化器に関する研究	
		727喜島 一博 消化器に関する研究	
		728中原 健太 消化器に関する研究	
		729藤政 浩一朗 消化器に関する研究	
		730塩澤 敏光 消化器に関する研究	
		731内田 恒之 消化器に関する研究	
		732島田 翔士 消化器に関する研究	
		733石田 幸子 消化器に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		734内田 茉莉依 消化器に関する研究 735柴田 栞里 消化器に関する研究 736小林 弘明 消化器に関する研究 737大和田 薫里 消化器に関する研究 738廣本 昌裕 消化器に関する研究 739平井 隆仁 消化器に関する研究 740小城原 傑 消化器に関する研究 741関根 隆一 消化器に関する研究 742齊藤 和彦 消化器に関する研究 743山崎 達哉 消化器に関する研究 744小山 英之 消化器に関する研究 745高橋 裕季 消化器に関する研究 746篠原 由加里 消化器に関する研究 747峯岸 裕蔵 消化器に関する研究 747峯岸 裕蔵 消化器に関する研究 748田邊 太郎 消化器に関する研究 749長石 将大 消化器に関する研究 750望月 清孝 消化器に関する研究 751佐藤 義仁 消化器に関する研究 752高野 洋次郎 消化器に関する研究 753垣迫 健介 消化器に関する研究 754関 純一 消化器に関する研究 755井上 晶子 消化器に関する研究	
専 攻 科 目	小児外科学	【概要】 発達生理学的基盤に立ったうえで、各種疾病の病因の解明と治療法の開発に関する研究や教育、ならびに健全育成のための予防医学的教育を行う。①乳幼児健診を通じての育児への対応や疾病予防対策に関する教育および研究、②各種疾病の病態・病因、診断・治療法に関する教育および研究。③定例研究発表会の開催。 39吉澤 穰治 小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究 40渡井 有 消化管粘膜に及ぼす増殖因子についての解明 159杉山 彰英 消化管粘膜萎縮に関するアポトーシスの研究 160佐藤 英章 消化管粘膜萎縮に関するアポトーシスの研究 161川野 晋也 小児外科に関する研究 361中山 智理 小児外科に関する研究 362田山 愛 小児外科に関する研究 363大澤 俊亮 小児外科に関する研究 364田中 拓 小児外科に関する研究 766中神 智和 小児外科に関する研究 767安藤 晋介 小児外科に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に 応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		小児外科に関する研究 768八木 勇磨 小児外科に関する研究 769今村 奈津 小児外科に関する研究	
専攻科目	乳腺外科学	<p>【概要】 昭和大学病院プレストセンターにおいて、外来診療を通じて、各種画像診断（マンモグラフィ、超音波、MRI、CT、骨シンチ等）、治療法（手術、薬物療法、放射線治療等）決定のプロセスを学ぶ。手術においては、根治性のみならず整容性も加味したOncoplastic surgeryについても修練する。再発乳癌の治療においては、抗がん剤治療のみならず緩和ケアについても学ぶ機会を設ける。遺伝性乳癌の診療においては、遺伝カウンセラーとともに、遺伝カウンセリングの手法について習得する。国際共同治験を含む国内外の多施設共同臨床試験や治験に積極的に参加するとともに、基礎研究グループとも積極的に交流してTranslational researchの手法を学ぶ。</p> <p>38林 直輝 遺伝性乳癌・卵巣癌症候群（BRCA1/BRCA2）のナショナルデータベースの構築及び最適な検診プログラム（MRIを含む）策定に関する研究</p> <p>157桑山 隆志 多遺伝子発現解析（OncotypeDX, Mammprint等）に基づく乳癌予後予測、治療効果予測に関する研究</p> <p>158榎戸 克年 乳癌診療ガイドラインに基づく医療の質の評価（アウトカムデータベースの構築）に関する研究</p> <p>357三階 紘子 乳腺外科に関する研究</p> <p>358高丸 智子 乳腺外科に関する研究</p> <p>359吉田 美和 乳腺外科に関する研究</p> <p>360垂野 香苗 乳腺外科に関する研究</p> <p>756佐藤 大樹 乳腺外科に関する研究</p> <p>757金田 陽子 乳腺外科に関する研究</p> <p>758佐藤 春奈 乳腺外科に関する研究</p> <p>759橋本 梨佳子 乳腺外科に関する研究</p> <p>760小林 奈々 乳腺外科に関する研究</p> <p>761城下 亜里沙 乳腺外科に関する研究</p> <p>762藤野 美咲 乳腺外科に関する研究</p> <p>763吉沢 あゆは 乳腺外科に関する研究</p> <p>764成井 理加 乳腺外科に関する研究</p> <p>765永田 彩 乳腺外科に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	脳神経外科学	<p>【概要】 一般的な脳神経外科疾患の診断と治療の基本的な知識・技術を指導する。さらに患者が信頼できる質の高い医療を習得すること、より高度な専門性の高い医療が実践できるような脳神経外科専門医が育成されるよう指導する。解剖学教室、病理学教室などの基礎医学教室と連携し、解剖実習、手術、剖検で得られた各所の血管、脳動脈瘤、動静脈奇形などの血管病変を素材として、これらの発生、病態解明に新たな知見を得るべく、光学顕微鏡、電子顕微鏡を用いた研究を立ち上げ指導しており、これから成果が期待される。また、免疫染色、マイクロダイセクション、real-time RT-PCR、さらに遺伝子解析などの手法を用いて脳腫瘍の機能分化と遺伝子診断などを研究し指導する。さらに、現在の医療では治療の糸口がみえない悪性膠芽腫のオーダーメイドな治療法の開発や、くも膜下出血の脳血管攣縮の病態解明などに基礎医学・歯学部・薬学部教室と共同して研究に取り組み、教育と指導をする。</p> <p>41池田 尚人 ワークステーションとフュージョン画像を用いた手術シミュレーションに関する研究</p> <p>42水谷 徹 脳ドックと連携した未破裂脳動脈瘤についての疫学的研究</p> <p>79津本 智幸 脳ドックと連携した未破裂脳動脈瘤についての疫学的研究</p> <p>162松本 浩明 医療用画像の研究と3Dフュージョン画像への応用</p> <p>163谷岡 大輔 プロラクチン産生腺腫に対する狭帯域観察(NBI)を用いた治療法の開発</p> <p>164和田 晃 ワークステーションとフュージョン画像を用いた手術シミュレーションに関する研究</p> <p>165杉山 達也 安全有効な後頭蓋窩開頭法に関する研究</p> <p>365藤島 裕丈 脳神経外科に関する研究</p> <p>366中山 禎理 脳神経外科に関する研究</p> <p>367松田 芳和 脳神経外科に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		368中條 敬人 脳神経外科に関する研究 369鷺見 賢司 脳神経外科に関する研究 370佐藤 洋輔 脳神経外科に関する研究 770小林 裕介 脳神経外科に関する研究 771松本 政輝 脳神経外科に関する研究 772久保 美奈子 脳神経外科に関する研究 773入江 亮 脳神経外科に関する研究 774山家 弘雄 脳神経外科に関する研究 775新井 晋太郎 脳神経外科に関する研究 776吉山 智美 脳神経外科に関する研究 776吉山 智美 脳神経外科に関する研究 777相浦 遼 脳神経外科に関する研究 778高野 駿 脳神経外科に関する研究 779廣瀬 瑛介 脳神経外科に関する研究 780川内 雄太 脳神経外科に関する研究 781飯塚 一樹 脳神経外科に関する研究 782梅口 有砂 脳神経外科に関する研究 783山口 巖史 脳神経外科に関する研究 784阪本 有 脳神経外科に関する研究 785近 貴志 脳神経外科に関する研究 786鐵尾 佳章 脳神経外科に関する研究	
専 攻 科 目	整形外科学	【概要】 整形外科における疾病の病因及び病態の解明と、新たな治療法の開発に必要な研究ならびに教育を行う。 実習は、外傷学、整形外科手術、リハビリテーションが主であり、これにリウマチ、スポーツ医学、救急医学、動作解析学が加わり、 専門的領域として人工関節をはじめとした骨・関節学、手の外科学、脊椎・脊髄病学等が加わる。 43川崎 恵吉 fMRIを用いたヒト脳と手の機能に関する研究 44神崎 浩二 脊椎外科学一般に関する臨床研究 166前田 昭彦 股関節骨切り術後の関節適合性評価に関する研究 167白旗 敏之 脊椎外科学一般に関する臨床研究 168藤巻 良昌 関節炎・変形性関節症および関節リウマチに関する研究 169安田 知弘 AIおよび新規画像診断を用いた骨粗鬆症スクリーニングに関する研究 170工藤 理史 脊椎外科学一般に関する臨床研究 371藤田 昌頼 整形外科に関する研究 372吉川 泰司 整形外科に関する研究 373渡辺 実	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に 応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		整形外科に関する研究 374山口 正哉 整形外科に関する研究 375伊藤 亮太 整形外科に関する研究 376梶 泰隆 整形外科に関する研究 377佐藤 敦 整形外科に関する研究 378酒井 健 整形外科に関する研究 379丸山 博史 整形外科に関する研究 380新妻 学 整形外科に関する研究 381筒井 完明 整形外科に関する研究 382齊藤 洋幸 整形外科に関する研究 383江守 永 整形外科に関する研究 383江守 永 整形外科に関する研究 384山村 亮 整形外科に関する研究 385西川 洋生 整形外科に関する研究 386清野 毅俊 整形外科に関する研究 387黒田 拓馬 整形外科に関する研究 388齊藤 佑樹 整形外科に関する研究 389田邊 智絵 整形外科に関する研究 390川島 史義 整形外科に関する研究 391柳 佳代 整形外科に関する研究 392大下 優介 整形外科に関する研究 393豊島 洋一 整形外科に関する研究 394久保 和俊 整形外科に関する研究 395古屋 貴之 整形外科に関する研究 396村上 悠人 整形外科に関する研究 397磯崎 雄一 整形外科に関する研究 398入江 悠子 整形外科に関する研究 399石川 紘司 整形外科に関する研究 400臼井 勇樹 整形外科に関する研究 401八木 敏雄 整形外科に関する研究 402早川 周良 整形外科に関する研究 403岡野 市郎 整形外科に関する研究 787石川 翼 整形外科に関する研究 788三橋 学 整形外科に関する研究 789安川 泰樹 整形外科に関する研究 790矢倉 一道 整形外科に関する研究 791大熊 公樹 整形外科に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		792岡本 圭司 整形外科に関する研究 793瀬上 和之 整形外科に関する研究 794本多 孝行 整形外科に関する研究 795東山 祐介 整形外科に関する研究 796諸星 明湖 整形外科に関する研究 797大池 潤 整形外科に関する研究 798西 正智 整形外科に関する研究 799齋藤 創造 整形外科に関する研究 800土谷 弘樹 整形外科に関する研究 801福田 悠甫 整形外科に関する研究 802久保田 豊 整形外科に関する研究 803中村 弘毅 整形外科に関する研究 804朝倉 智也 整形外科に関する研究 805太田 真隆 整形外科に関する研究 806荻原 陽 整形外科に関する研究 807天野 貴司 整形外科に関する研究 808宮本 庸平 整形外科に関する研究	
専攻科目	形成外科学	<p>【概要】 形成外科学の基礎知識と臨床における役割を学び、各疾患に対する病因・病態と現在行なわれている治療法を教育するとともに新しい治療法にたいする研究の指導を行う。組織移植における手術手技や免疫学的研究、先天異常を発生させる遺伝子の研究、さらには顔面骨の発育異常に対する治療法の開発や色素異常症に対するレーザー治療の研究など広い分野の研究や治療法の開発を目標として研究と教育を行う。</p> 46門松 香一 口唇口蓋裂患者の手術法についての集学的及び統計学的研究 174佐藤 伸弘 乳房全摘手術後の乳房形態に関する手術方法の研究 406高木 信介 形成外科に関する研究 407富塚 陽介 形成外科に関する研究 408辰田 紗世 形成外科に関する研究 409黒田 正義 形成外科に関する研究 410大澤 幸代 形成外科に関する研究 812清水 崇史 形成外科に関する研究 813松延 武彦 形成外科に関する研究 814宮本 大 形成外科に関する研究 815沖野 尚秀 形成外科に関する研究 816西村 怜 形成外科に関する研究 817小島 永稔 形成外科に関する研究 818香月 健亮 形成外科に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		819谷 健 形成外科に関する研究 821小笹 俊彦 形成外科に関する研究 822中原 真理 形成外科に関する研究 823山田 浩之 形成外科に関する研究 824藤橋 政堯 形成外科に関する研究 820田中 隆太郎 形成外科に関する研究	
専攻科目	産婦人科学	【概要】 実習は臨床実習と研究実習がある。臨床実習は各分野のE B Mに基づく最新の診断学および治療の実践を行う。研究実習は出生前診断など直ちに臨床にフィードバックされるものから、病態を究明するものなど、幅広く学習する。研究実習では、細胞培養、免疫染色、分子生物学的手法（PCR法、マイクロアレイ法、マイクロダイセクション法など）に関する技術指導を行う。	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
		47長塚 正晃 思春期外来における無月経及び月経随伴症状患者の臨床的背景の検討 48大槻 克文 早産予防に向けた基礎および臨床研究 49関沢 明彦 胎児超音波診断についての臨床研究 82松本 光司 子宮頸癌関連HPVのウイルスゲノム解析 83市塚 清健 胎児超音波診断についての臨床研究 175森岡 幹 HPV型別の発癌リスク解析と予後解析 176石川 哲也 子宮内膜症手術や卵巣嚢腫茎捻転の卵巣機能に及ぼす影響についての検討 177白土 なほ子 出生前検査についての一般市民や妊婦の意識についての調査研究 178近藤 哲郎 子宮内膜症手術や卵巣嚢腫茎捻転の卵巣機能に及ぼす影響についての検討 179松岡 隆 超音波を用いた分娩リスク評価法の研究 411佐々木 康 産婦人科に関する研究 412中山 健 産婦人科に関する研究 413仲村 将光 産婦人科に関する研究 414宮本 真豪 産婦人科に関する研究 415坂本 美和 産婦人科に関する研究 416宮上 哲 産婦人科に関する研究 417瀧田 寛子 産婦人科に関する研究 418瀬尾 晃平 産婦人科に関する研究 419秋野 亮介 産婦人科に関する研究 420新垣 達也 産婦人科に関する研究 420新垣 達也 産婦人科に関する研究 421川嶋 章弘 産婦人科に関する研究 422小貫 麻美子 産婦人科に関する研究 423野村 由紀子 産婦人科に関する研究 424小出 馨子 産婦人科に関する研究 425松浦 玲 産婦人科に関する研究 426三村 貴志 産婦人科に関する研究 427徳中 真由美 産婦人科に関する研究 428土肥 聡 産婦人科に関する研究 429長島 稔 産婦人科に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		430大場 智洋 産婦人科に関する研究	
		431濱田 尚子 産婦人科に関する研究	
		825菊池 千尋 産婦人科に関する研究	
		826船古 美帆子 産婦人科に関する研究	
		827西井 彰悟 産婦人科に関する研究	
		828中林 誠 産婦人科に関する研究	
		829関谷 文武 産婦人科に関する研究	
		830小田原 圭 産婦人科に関する研究	
		831松下 友美 産婦人科に関する研究	
		832西 健 産婦人科に関する研究	
		833星 佳苗 産婦人科に関する研究	
		834川崎 麻依子 産婦人科に関する研究	
		835河本 貴之 産婦人科に関する研究	
		836関根 愛子 産婦人科に関する研究	
		837池本 舞 産婦人科に関する研究	
		838水谷 あかね 産婦人科に関する研究	
		839中川 智絵 産婦人科に関する研究	
		840青山 茉利香 産婦人科に関する研究	
		841折坂 勝 産婦人科に関する研究	
		842宮上 景子 産婦人科に関する研究	
		843廣瀬 佑輔 産婦人科に関する研究	
		844奥山 亜由美 産婦人科に関する研究	
		845丸山 大介 産婦人科に関する研究	
		846後藤 未奈子 産婦人科に関する研究	
		847山下 有加 産婦人科に関する研究	
		848岡田 義之 産婦人科に関する研究	
		849河野 春香 産婦人科に関する研究	
		850町 麻耶 産婦人科に関する研究	
		851丹内 絵理 産婦人科に関する研究	
		852向井 勇貴 産婦人科に関する研究	
		853脇坂 友紀 産婦人科に関する研究	
		854小松 玲奈 産婦人科に関する研究	
		855安井 理 産婦人科に関する研究	
		856柴野 芳彰 産婦人科に関する研究	
		857小島 七瀬 産婦人科に関する研究	
		858三澤 亜純 産婦人科に関する研究	
		859合田 真優子 産婦人科に関する研究	

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		産婦人科に関する研究 860田淵 明彦 産婦人科に関する研究 861小林 弘樹 産婦人科に関する研究 861小林 弘樹 産婦人科に関する研究 862平野 奈央 産婦人科に関する研究 863村田 亘 産婦人科に関する研究 864田中 あかね 産婦人科に関する研究 865明樂 一隆 産婦人科に関する研究 866樋口 大樹 産婦人科に関する研究 867高林 綾乃 産婦人科に関する研究 868水谷 咲紀 産婦人科に関する研究 869川上 敬子 産婦人科に関する研究 870小池 亮 産婦人科に関する研究 871中村 豪 産婦人科に関する研究 872中尾 紗由美 産婦人科に関する研究 873中下 杏奈 産婦人科に関する研究 874中林 裕貴 産婦人科に関する研究 875牧野 吉朗	
専攻科目	眼科学	<p>【概要】 臨床においては外傷、白内障手術について、また基礎においては、眼圧調節機序、血管新生、網膜光障害について研究を行ってきた。近年の手術治療の発達、基礎学問の発達に支えられているので、基礎系の教室との共同研究をととして、臨床眼科医療に応用し、社会に貢献できることを目標とする。 講義・実習・演習の内容 実 習 細胞レベルから個体レベルに至るまでの実習を、解剖学、生理学、薬理学的な側面から観察し、行う。また、倫理面を配慮した臨床試験に参加する。</p> <p>50岩淵 成祐 網膜光障害に関する基礎、臨床研究</p> <p>51恩田 秀寿 眼窩底骨折についての臨床研究</p> <p>84西村 栄一 多焦点眼内レンズの効果に関する臨床研究</p> <p>85藤澤 邦見 糖尿病網膜症の血管新生抑制に関する研究</p> <p>180小菅 正太郎 糖尿病網膜症の血管新生抑制に関する研究</p> <p>181浅野 泰彦 糖尿病網膜症の血管新生抑制に関する研究</p> <p>182薄井 隆宏 糖尿病網膜症の血管新生抑制に関する研究</p> <p>183早田 光孝 中枢性眼圧下降作用に関する基礎研究</p> <p>184齋藤 雄太 未熟児網膜症の成因と治療に関する基礎・臨床研究</p> <p>432禪野 誠 眼科に関する研究</p> <p>433遠藤 貴美 眼科に関する研究</p> <p>434和田 悦洋 眼科に関する研究</p> <p>876友寄 英士 眼科に関する研究</p> <p>877石川 美穂 眼科に関する研究</p> <p>878横山 康太 眼科に関する研究</p> <p>879木崎 順一郎 眼科に関する研究</p> <p>880吉田 健也 眼科に関する研究</p> <p>881友寄 友美 眼科に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		882栗岡 隆弘 眼科に関する研究 883平野 彩 眼科に関する研究 883平野 彩 眼科に関する研究 884杉山 奈津子 眼科に関する研究 885徳永 義郎 眼科に関する研究 886安田 健作 眼科に関する研究 887岡田 洋介 眼科に関する研究 888安田 瑛子 眼科に関する研究 889砂川 珠輝 眼科に関する研究 890宮崎 理恵 眼科に関する研究	
専攻科目	泌尿器科学	<p>【概要】現代泌尿器科学は尿路系、男性生殖系、内分泌系にわたる広域の分野であり、近年の高齢化社会においてその役割はますます重要となっている。各疾患の病理、病態の把握は、適切な診断と治療の上で必須である。そのために最新の知識と泌尿器科学的技法を修得し、日本泌尿器科学会専門医のレベルをもつ研究のできる臨床医の育成を目標とする。</p> <p>講義・実習・演習の内容 （実習）上記診断法を実践する。また臨床実習として一般泌尿器科診療はもとより、各種泌尿器科のロボット支援手術法・体腔鏡の手術法・内視鏡手術法・開腹手術法、男性不妊症・男性機能障害の診断と治療、尿失禁・神経因性泌尿器疾患の最新診断治療などについて修得する。 （カンファレンス）症例についてプレゼンテーションを行い、問題点を抽出して、その対応策について提示する。</p> 55深貝 隆志 ロボット支援前立腺全摘除術の予後因子についての研究 56富士 幸藏 ロボット支援前立腺全摘除術の予後因子についての研究 57佐々木 春明 男性性機能と生活習慣病の関連についての臨床的検討 186七条 武志 ロボット支援前立腺全摘除術の予後因子についての研究 187森田 順 ロボット支援前立腺全摘除術の予後因子についての研究 188森田 将 ロボット支援前立腺全摘除術の予後因子についての研究 437松原 英司 泌尿器に関する研究 438押野見 和彦 泌尿器に関する研究 439前田 佳子 泌尿器に関する研究 440齋藤 克幸 泌尿器に関する研究 441中里 武彦 泌尿器に関する研究 442小川 祐 泌尿器に関する研究 443中神 義弘 泌尿器に関する研究 444太田 道也 泌尿器に関する研究 906山岸 元基 泌尿器に関する研究 907松井 祐輝 泌尿器に関する研究 908鶴木 勉 泌尿器に関する研究 909今村 雄一郎 泌尿器に関する研究 910黒川 一平 泌尿器に関する研究 911杉下 裕勇 泌尿器に関する研究 911杉下 裕勇 泌尿器に関する研究 912下山 英明 泌尿器に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		913小泉 真太郎 泌尿器に関する研究 914野口 哲央 泌尿器に関する研究	
専攻科目	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	<p>【概要】 耳鼻咽喉科学に包括される領域は、耳科学、鼻科学、口腔咽頭科学、喉頭科学、気管食道科学、頭頸部外科学のほかに専門分野として聴覚医学、平衡神経科学、音声言語医学、味覚・嗅覚・嚥下障害、顔面神経異常、免疫・アレルギー、心身症およびリハビリテーションなどを扱う領域を含む。 これらの領域の専門的知識を修得するとともに、より良い医療を目指す医学研究および臨床専門医の育成を目的とする。</p> <p>講義・実習・演習の内容 画像診断 放射線科とのカンファレンスでは耳鼻咽喉科学領域画像診断について検討する。 頭頸部腫瘍センターとのカンファレンスでは頭頸部腫瘍患者について検討する。 耳鼻咽喉科領域全般の疾患について学ぶ（診断、治療、リハビリテーションなど）。</p> <p>189小林 齊 気道炎症・アレルギーの難治化因子</p> <p>445野垣 岳稔 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>446浜崎 泰佑 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>447池谷 洋一 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>448平野 康次郎 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>449江川 峻哉 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>450油井 健史 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>451榎橋 幸民 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>452藤居 直和 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>453徳留 卓俊 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>454河村 陽二郎 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>455洲崎 勲夫 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>456小松崎 敏光 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>457志村 智隆 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>915竹内 美緒 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>916古川 傑 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>917宮澤 昌行 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>918渡井 彩 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>919今泉 直美 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>920小宅 功一郎 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>920小宅 功一郎 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>921松浦 聖平 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>922石橋 淳 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>923阿部 千佳 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>924上村 佐和 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>925北嶋 達也 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>926杉谷 いづみ 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>927井上 由樹子 耳鼻咽喉に関する研究</p> <p>928宇留間 周平 耳鼻咽喉に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専攻科目	麻酔科学	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期の患者管理 ・ 全身麻酔施行時に使用される各種薬剤の薬理作用と生理学的影響 ・ 人工呼吸および呼吸生理 ・ 体外循環などの補助器具をつかった循環の生理とモニタリング ・ 手術室の効率性の追求 ・ 多職種チーム医療の導入による診療の質の向上 ・ 集中治療領域の遠隔医療 ・ 人工知能をもちいた麻酔提供方法の探求 ・ 東洋医学的疼痛管理の科学的な探求 ・ 痛みの伝達の生理と臨床応用 <p>64信太 賢治 麻酔に関する研究</p> <p>65大江 克憲 術中脳波、麻酔深度と術後認知機能障害との関連についての研究</p> <p>92加藤 里絵 無痛分娩の分娩予後に関わる因子の検討</p> <p>206橋本 徳 麻酔に関する研究</p> <p>207岡安 理司 麻酔に関する研究</p> <p>208大塚 直樹 麻酔に関する研究</p> <p>478山村 彩 麻酔に関する研究</p> <p>479小林 玲音 麻酔に関する研究</p> <p>480坂本 篤紀 麻酔に関する研究</p> <p>481細川 幸希 麻酔に関する研究</p> <p>482幸塚 裕也 麻酔に関する研究</p> <p>483増田 陸雄 麻酔に関する研究</p> <p>484尾頭 希代子 麻酔に関する研究</p> <p>485田中 典子 麻酔に関する研究</p> <p>486釋尾 知春 麻酔に関する研究</p> <p>1007樋口 慧 麻酔に関する研究</p> <p>1008高橋 健一 麻酔に関する研究</p> <p>1009佐野 仁美 麻酔に関する研究</p> <p>1010道姓 拓也 麻酔に関する研究</p> <p>1011岡崎 晴子 麻酔に関する研究</p> <p>1011岡崎 晴子 麻酔に関する研究</p> <p>1012武富 麻恵 麻酔に関する研究</p> <p>1013高橋 有里恵 麻酔に関する研究</p> <p>1014津島 佑季子 麻酔に関する研究</p> <p>1015荘田 博朗 麻酔に関する研究</p> <p>1016金田 有理 麻酔に関する研究</p> <p>1017原 詠子 麻酔に関する研究</p> <p>1018石井 瑞英 麻酔に関する研究</p> <p>1019吉田 愛 麻酔に関する研究</p> <p>1020長根 大樹 麻酔に関する研究</p> <p>1021中村 亮介 麻酔に関する研究</p> <p>1022大橋 みどり 麻酔に関する研究</p> <p>1023木ノ内 万里子 麻酔に関する研究</p>	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		1024川口 由佳 麻酔に関する研究 1025大杉 枝里子 麻酔に関する研究 1026坂崎 麗奈 麻酔に関する研究 1027石原 大雅 麻酔に関する研究 1028佐々木 友美 麻酔に関する研究 1029島崎 咲 麻酔に関する研究 1030倉澤 紫 麻酔に関する研究	
専攻科目	集中治療医学	【概要】 集中治療医学とは、生命を維持するための重要臓器の急性機能不全や重症感染症に対して、強力かつ集学的な治療によりこれら臓器機能を回復させる急性期医療である。このようなスコープに基づき、広い視野を有する医学研究者およびチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる臨床専門医の育成を目的とする。 講義・実習・演習の内容 生命維持に関する重要臓器・機能である、中枢神経系、心循環器系、呼吸器系、腎・代謝・酸塩基平衡、肝・栄養、血液凝固系、感染症に関する臓器機能評価と評価に基づく臓器治療について臨床現場で研究を行う。必要に応じて動物研究を行い基礎医学分野について学ぶ。 66小谷 透 人工呼吸器関連肺傷害の発生機序についての解明 209佐藤 督忠 遠隔ICUにおける新しい重症度評価指標の開発 487森 麻衣子 集中治療に関する研究 1031染井 将行 集中治療に関する研究 1032渡邊 太郎 集中治療に関する研究 1033喜久山 和貴 集中治療に関する研究 1034丸尾 寛子 集中治療に関する研究 1035河野 奈緒 集中治療に関する研究 1036五十嵐 友美 集中治療に関する研究 1037手塚 隆弘 集中治療に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。
専攻科目	救急・災害医学	【概要】 （1）救急集中治療領域の基礎研究を行う。論文作成、科学研究費取得をめざし、研究手法、方法論について学び指導者のもと研究立案・遂行について学ぶ。 （2）重症患者の初期診療と救命的な外科手技、その後の集中治療に関する知識、技能、そしてなにより救急医としての“姿勢”を会得するために、講義・実習・当直を行う。加えて、症例報告に始まり、重症患者の病態解析と治療法開発に関する研究と学会発表、論文作成を実際の研究と日常診療、学会参加を通して実践する。最近開発された救急・災害・外傷の初期診療に関する標準化教育法を会得する。 （3）研究テーマに沿った研究を計画して実施する。 （4）研究に関する講座内の研究発表会で研究の進捗状況や予定などについて定期的に発表を行う。 67土肥 謙二 実験的熱中症モデルを用いた中枢神経障害と治療法に関する研究 68林 宗貴 日本外傷データベース（JTDB）を用いた重症外傷例の臨床的検討 210佐々木 純 東京DMAT隊と地域消防本部との災害時連携に関する研究 211八木 正晴 日本外傷データベース（JTDB）を用いた重症外傷例の臨床的検討 212前田 敦雄 日本外傷データベース（JTDB）を用いた重症外傷例の臨床的検討 213宮本 和幸 実験的熱中症モデルを用いた中枢神経障害と治療法に関する研究 214垂水 庸子 救急外来受診患者の予後と医療に質に関する研究 215加藤 晶人 酸化ストレスを中心とした神経炎症及び全身炎症に関する基礎的・臨床的検討	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

授 業 科 目 の 概 要			
（医学研究科医学専攻）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		1038香月 姿乃 救急・災害医療に関する研究 1039中島 靖浩 救急・災害医療に関する研究 1040齋藤 弘美 救急・災害医療に関する研究 1041鈴木 恵輔 救急・災害医療に関する研究	
専 攻 科 目	医学教育学	【概要】 医学教育概論を専攻科目におけるコア科目とし、各論的・専門的な内容として、プロフェッショナリズム特論、医学教育研究特論、質的研究方法論を展開する。 医学教育方法論は、医学部の講義・演習・実習、FDにおけるファシリテータ、OSCEの運営への参加を通して習熟する。研究と倫理、疫学論文抄読、セミナー、研究・論文作成指導では各自の研究の遂行に直接的・間接的に役立てるとともに、それらを通じて医学教育領域における研究者・教育スタッフを目指して経験を積む。 13緒方 浩顕 低学年からの臨床実習による、医学生能力およびモチベーションの変化に関する研究 14泉 美貴 低学年からの臨床実習による、医学生能力およびモチベーションの変化に関する研究 105土屋 静馬 医学生のアイデンティティ形成と徒弟制度の効果の研究 106川原 千香子 低学年からの臨床実習による、医学生能力およびモチベーションの変化に関する研究 239古田 厚子 医学部カリキュラムにおける技能・態度の評価の研究 240有馬 牧子 女性医師のキャリア継続と働き方改革に関する研究 241S. クリス 低学年からの臨床実習による、医学生能力およびモチベーションの変化に関する研究	講義・実習・実験、演習については、研究内容等に応じて実施している。

(注)

- 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

都道府県内における位置関係の図面



昭和大学
旗の台キャンパス
(医学研究科)

最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間

4つの キャンパス



洗足キャンパス

■歯学部(5～6年次)

〒145-8515 東京都大田区北洗足2-1-1

TEL:03(3787)1151

ACCESS

東急目黒線 洗足駅下車徒歩3分



横浜キャンパス

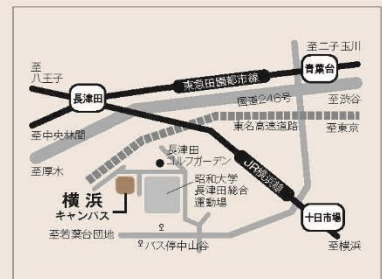
■保健医療学部(2～4年次)

〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865

TEL:045(985)6500

ACCESS

JR横浜線十日市場駅および東急田園都市線青葉台駅下車
「若葉台中央行き」バスにて バス停「中山谷(なかざんや)」下車徒歩5分
(スクールバス運行)長津田駅⇄キャンパス / 十日市場駅⇄キャンパス



旗の台キャンパス

- 医学部(2～6年次)
- 歯学部(2～4年次)
- 薬学部(2～6年次)

医学研究科

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

TEL:03(3784)8000

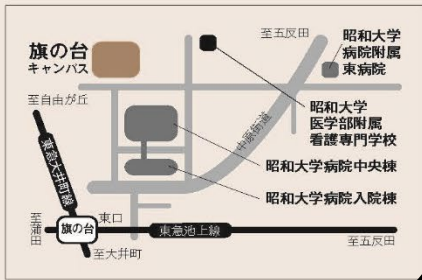
ACCESS

東急大井町線・池上線 旗の台駅東口下車徒歩5分

医学部附属看護専門学校

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-2-26

TEL:03(3784)8097



富士吉田キャンパス

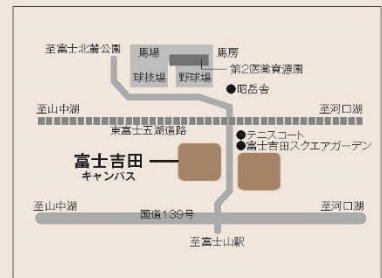
■全学部(1年次)

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田4562

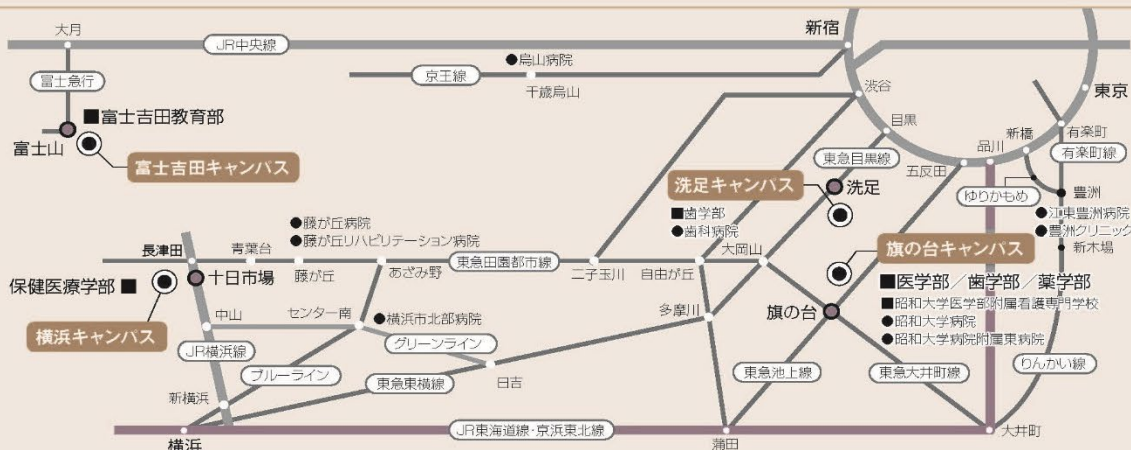
TEL:0555(22)4403

ACCESS

中央高速バス「富士急ハイランド」下車タクシー10分
富士急行富士山駅下車 タクシー15分

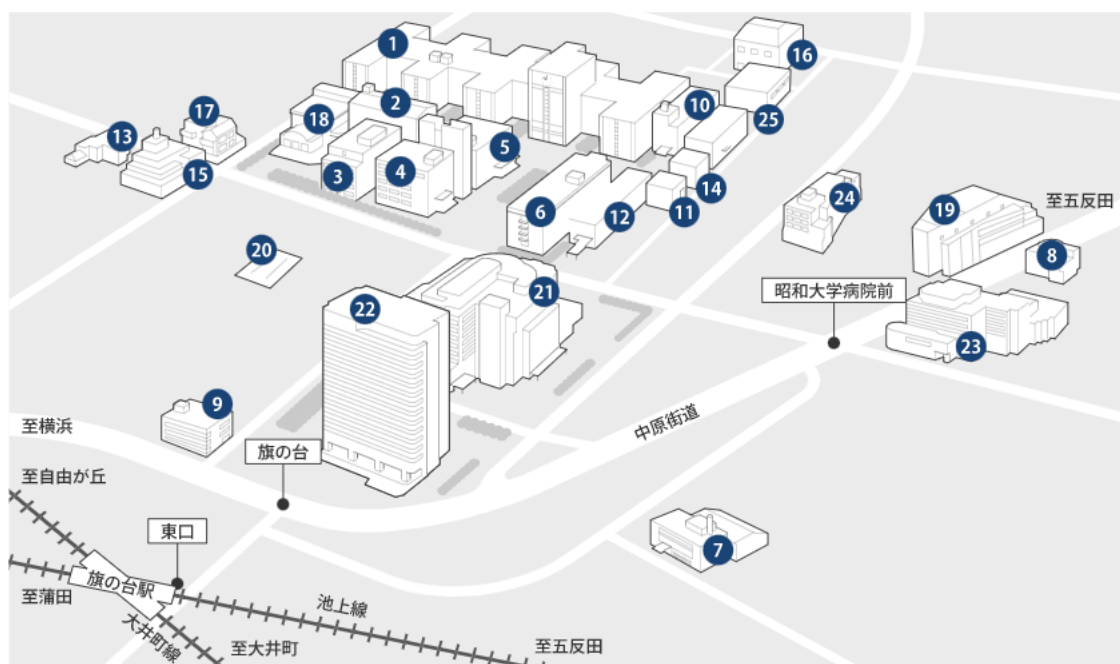


ACCESS MAP



校舎、運動場等の配置図

旗の台キャンパス キャンパスマップ（医学研究科）



- | | | | |
|-------|--------|---------|---------------|
| ① 1号館 | ⑧ 8号館 | ⑮ 15号館 | ㉑ 昭和大病院中央棟 |
| ② 2号館 | ⑨ 9号館 | ⑯ 16号館 | ㉒ 昭和大病院入院棟 |
| ③ 3号館 | ⑩ 10号館 | ⑰ 17号館 | ㉓ 昭和大病院附属東病院 |
| ④ 4号館 | ⑪ 11号館 | ⑱ 上條講堂 | ㉔ 医学部附属看護専門学校 |
| ⑤ 5号館 | ⑫ 12号館 | ⑲ 上條記念館 | ㉕ 教育研修棟 |
| ⑥ 6号館 | ⑬ 13号館 | ⑳ 薬用植物園 | |
| ⑦ 7号館 | ⑭ 14号館 | | |

昭和大学大学院学則

第1章 目的

(目的)

第1条 この学則は、昭和大学（以下「本学」という。）大学院の修業年限、教育方法等その他学生の修学上の必要な事項について、定めるものとする。

2 本学大学院は、学校教育法に基づき、医学、歯学、薬学及び保健医療学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

3 研究科ごとの教育研究上の目的を別表（1）のとおり定める。

(自己点検・評価)

第2条 前条の目的を達成させるために、教育研究の活動状況等について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

第2章 組織

(大学院の課程)

第3条 本学大学院に、次の課程を置く。

医学研究科 博士課程

歯学研究科 博士課程

薬学研究科 博士課程

保健医療学研究科 博士前期課程、博士後期課程

2 保健医療学研究科の博士課程は、前期及び後期に区分し、前者を博士前期課程、後者を博士後期課程とする。

(課程の目的)

第4条 医学研究科、歯学研究科、薬学研究科の博士課程及び保健医療学研究科博士後期課程は、独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し、研究を指導する能力を養うことを目的とする。

第5条 保健医療学研究科博士前期課程は、地域の保健、医療、福祉の向上に寄与することはもとより、資格（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士）の違いを超えて共有できる「知と技の体系化」を目指し、保健医療分野全体に関する包括的な知識と見識を備え、高い専門性を持って臨床実践および臨床研究においてリーダーシップを発揮し、チーム医療を推進できる人材育成を目的とする。

(研究科及び専攻)

第6条 各研究科にそれぞれ専攻を置く。

医学研究科医学専攻

歯学研究科歯学専攻

薬学研究科薬学専攻

保健医療学研究科保健医療学専攻

第3章 修業年限、在学期間、学年、学期及び休業日

(修業年限)

第7条 医学研究科、歯学研究科及び薬学研究科の博士課程の標準修業年限は4年とする。

2 保健医療学研究科の標準修業年限は5年とし、博士前期課程の標準修業年限を2年、博士後期課程の標準修業年限を3年とする。

(在学年限)

第8条 医学研究科、歯学研究科及び薬学研究科博士課程の在学年限は8年、保健医療学研究科の博士前期課程は4年、博士後期課程は6年を超えて大学院に在学することはできない。

(学年・学期)

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。また、学期は次の2期に分ける。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第10条 休業日は、本学学則第10条を準用する。

第4章 学生定員

(学生定員)

第11条 学生収容定員は、次の通りとする。

研究科	博士前期課程		博士課程及び 博士後期課程		収容定員 合計
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
医学研究科			60人	240人	240人
歯学研究科			22人	88人	88人
薬学研究科			15人	60人	60人
保健医療学研究科	20人	40人	6人	18人	58人
合計	20人	40人	105人	406人	446人

第5章 教育方法等

(教育方法等)

第12条 本学大学院の教育は、授業科目の講義、実習、演習等及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

(授業科目及び単位)

第13条 医学研究科における授業科目及びその単位数については、別に定める。

2 歯学研究科における授業科目及びその単位数については、別に定める。

3 薬学研究科における授業科目及びその単位数については、別に定める。

4 保健医療学研究科における授業科目及びその単位数は、別に定める。

(修了要件)

第14条 学生はその在学期間中に、それぞれの専門課程において定められた授業科目につき、所定の単位を修得し、かつ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

(在学期間の短縮)

第15条 優秀な業績を上げた者については、特例により当該研究科教授会（以下「教授会」という。）の審議を経て、学長は次の各号に掲げる年数以上を在籍すれば足りるものとするができる。

(1) 博士前期課程 1年

(2) 博士後期課程 博士前期課程又は修士課程に2年以上在籍し、当該課程を修了した者 1年
博士前期課程又は修士課程に1年以上2年未満在籍し、当該課程を修了した者
博士前期課程又は修士課程における在籍期間を含めて3年

(3) 博士課程 3年

(教育方法の特例)

第16条 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(本学他研究科での履修認定)

第17条 教育上有益であると認めるときには、その所属学生に対し、所定の授業科目のほか、当該研究科内の他専攻若しくは本学他研究科又は本学学部配置された授業科目を指定し、これを履修させることができる。

2 前項により履修した単位(本学学部での履修を除く)については10単位を超えない範囲で教授会の審議を経て、学長が認定することができる。

(他大学院等での履修認定)

第18条 教育上有益であると認めるときには、国内外での他の大学院又は他の研究所における学修を、本学大学院における授業科目としてみなし、10単位を超えない範囲内で教授会の審議を経て、学長が認定することができる。

2 前項によって修得した単位については、前条と合わせて10単位を超えない範囲で修了要件に算入できる。

3 第1項の規定により研究指導を受けることのできる期間は、1年以内とする。ただし、博士前期課程を除いて、教育上有益であると認められるときには、更に教授会の審議を経て、学長が延長を許可することができる。

(入学前の単位認定)

第19条 本学大学院が教育上有益であると認めるときには、本学大学院に入学する前に本学大学院又は他の大学院(外国の大学院も含む)の授業科目について修得した単位を、本学大学院に入学した後の本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなし、第17条及び第18条とは別に、10単位を超えない範囲で教授会の審議を経て、学長が認定することができる。

2 前項によって修得した単位については、第17条及び第18条と合わせて20単位を超えない範囲で修了要件に算入できる。

(試験及び評価)

第20条 履修した各授業科目の可否は、筆記試験もしくは口頭試験又は研究報告によって決定し、合格した授業科目については、所定の単位を与える。

2 各授業科目の評点は、次のとおりとする。評価基準については、各研究科の定めるところによる。

優 合格

良 合格
可 合格
不可 不合格

第6章 学 位

(学位論文の提出等)

第21条 本学大学院においては、在学期間中に学位論文を当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

(学位論文の審査等)

第22条 学位論文の審査及び最終試験の合否は、教授会が委員会を設け、その報告に基づいて審議し、学長が決定する。

(学位の授与)

第23条 所定の単位を修得し、前条の規定により課程を修了した者には、当該課程に応じて、修士又は博士の学位を学長が授与する。

2 前項の学位には、研究科の区分に従い、次のとおり専攻分野の名称を付記するものとする。

医学研究科	博士（医学）
歯学研究科	博士（歯学）
薬学研究科	博士（薬学）
保健医療学研究科	修士（保健医療学） 博士（保健医療学）

第24条 学位については、前条に定めるほか、学位規則の定めるところによる。

(博士課程によらない学位授与)

第25条 医学研究科博士課程、歯学研究科博士課程、薬学研究科博士課程、保健医療学研究科博士後期課程を経ない者で、学位論文を提出して、その審査及び試験に合格し、これらの課程の者と同等以上の学力があると認められた者に、博士の学位を授与する。

(学位記の様式)

第26条 学位記の様式は、別に定める。

(論文の公表)

第27条 学位論文（博士）は、学位を授与されてから1年以内に印刷公表しなければならない。ただし、すでに印刷公表したときは、この限りではない。

2 前項の規定により学位論文を印刷公表する場合には「昭和大学審査学術論文」と明記しなければならない。

第7章 入学、再入学及び転入学

(入学の時期)

第28条 入学の時期は、毎学年の初めとする。ただし、研究科において必要があると認めるときは、後期の初めにおいても、学生を入学させることができる。

(入学資格)

第29条 医学研究科に入学することのできる者は、学士（医学）の学位を持つ者、若しくはこれと同等以上の学力を有する者でなければならない。

2 歯学研究科に入学することのできる者は、学士（歯学）の学位を持つ者、若しくはこれと同等以上の学力を有

する者でなければならない。

3 薬学研究科に入学することのできる者は、学士（薬学6年制）の学位を持つ者、若しくはこれと同等以上の学力を有する者でなければならない。

4 保健医療学研究科博士前期課程に入学することができる者は、学士（看護学、理学療法学、作業療法学）の学位を持つ者、若しくはこれと同等以上の学力を有する者でなければならない。

5 保健医療学研究科博士後期課程に入学することができる者は、修士（保健医療学、看護学、理学療法学、作業療法学等）の学位を持つ者、若しくはこれと同等以上の学力を有する者でなければならない。

（入学の出願）

第30条 本学大学院の各課程の入学志願者は、入学願書に所定の書類を添えて提出しなければならない。

（入学者の選抜）

第31条 前条の入学志願者に対しては、学力試験、面接試験等を行い、入学願書その他書類等を総合して教授会が審議し、入学を許可すべき者を学長が決定する。

（入学手続・入学許可）

第32条 入学（再入学及び転入学を含む）を許可された者は、本学所定の方式によって宣誓し、在学保証書に入学金を添え本学に提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

（保証人）

第33条 保証人は、学費等及び故意又は過失により本学の施設を損壊した場合の損害賠償債務その他の本人が在学中に本学に対して負う一切の債務について、本学に対し、連帯して保証する。

2 前項の保証契約における極度額は、学則第7条に定める本人の入学時点での各研究科及び課程の修業年限における学費（ただし、入学手続時に納入した入学金及び前期授業料・実習費・施設費を除く。）とする。

（保証人の変更）

第34条 保証人が死亡したときは、すみやかに他に保証人を定め、保証書を提出しなければならない。

（再入学）

第35条 課程の中途において退学した者で、再び同一専門課程に入学を志願する者には、退学後2年以内に限り、これを許可することがある。

（転入学）

第36条 他大学の大学院生で、当該大学大学院の学長及び所属研究科長の承認を得た者が、本学大学院に転入学を願ったときは、欠員ある場合に限り、学長は教授会の審議を経て、これを許可することがある。

第8章 休学、転学及び退学

（休学）

第37条 疾病その他やむを得ない事由により2ヶ月以上学習できない場合には、その事由を証明する書類を添えて、学長に休学を願い出なければならない。

2 次の各号に定める場合を除き、休学期間は、1年以内とする。

(1) 特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

(2) 本学の認める専門臨床研修プログラムに専念する場合は、毎年度休学手続きを行うことにより、その期間を休学期間として認めることができる。

3 休学期間は、通算して医学研究科、歯学研究科、薬学研究科の博士課程は4年、保健医療学研究科の博士前期課程は2年、博士後期課程は3年を超えることができない。ただし、前項第2号による休学期間については、通算休学年数に加算しない。

4 休学期間は、第8条の在学年限には算入しない。

(休学命令)

第38条 病気その他の事由によって学習することが不相当と認められる場合には、学長は休学を命ずることができる。

(復学)

第39条 休学の期間満了の場合又は休学期間であっても、その事由が消滅した場合には学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第40条 学生が他の研究科に転学しようとするときは、事由を具して、その専門課程における主科目の属する講座の主任教授を経て、学長に転学願を提出しなければならない。

2 保健医療学研究科の学生は、研究科長を経て、学長に転学願を提出しなければならない。

(退学)

第41条 学生が退学しようとするときは、事由を具して、学長に願い出てその許可を得なければならない。

(除籍)

第42条 次の各号の一つに該当する者は、学長がこれを除籍する。

(1) 正当な事由がなく学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(2) 第8条に規定している当該研究科の在学年限を超えた者

(3) 死亡又は1年以上行方が分からない者

(復籍)

第43条 前条第1項により除籍された者は、別に定める「学費等未納による除籍者の復学取扱い規程」により復籍を許可することがある。

第9章 学費

(入学検定料の納入)

第44条 入学を志願する者は、願書提出と同時に、入学検定料を納入しなければならない。

(入学金の納入)

第45条 入学に当たっては、所定の期日までに、入学金を納入しなければならない。

(授業料及びその他の学費の納入)

第46条 大学院学生は、毎年所定の期日までに、授業料及びその他の学費を納入しなければならない。

2 授業料及びその他の学費の納入時期及び納入方法については、別に定める。

(入学検定料、入学金及び授業料等の額)

第47条 入学検定料、入学金、授業料及びその他の学費の額については、別に定める。

(学費の減免)

第48条 授業料及びその他の学費の減免については別に定める。

(納入済みの入学検定料、入学金、授業料及びその他の学費)

第49条 納入済みの入学検定料、入学金、授業料及びその他の学費は、返還しない。

第10章 職員組織

(職員組織)

第50条 本学大学院を担当する教育職員は、本学の教授、准教授、講師、助教及び兼任の教育職員並びに連携教育職員とする。

- 2 前項の教育職員のうち、研究指導を行えるのは、別に定める大学院研究指導教員の資格を付与された者とする。
- 3 大学院の運営のために教育職員以外の職員若干名を置く。
- 4 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、第1項、第2項の職員に対し研修の機会を設ける。研修の時期、内容等の詳細は別に定める。

第11章 運営組織

(研究科教授会)

第51条 各研究科に教授会を置く。

- 2 医学研究科及び歯学研究科の教授会は、所属教授をもって組織し、当該研究科長がこれを主宰する。ただし、必要ある場合には、准教授もこれに出席して発言することができる。
- 3 薬学研究科及び保健医療学研究科の教授会は、所属教授及び准教授をもって組織し、当該研究科長がこれを主宰する。

(審議事項)

第52条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項
 - (2) 学位論文の審査及び学位の授与に関する事項
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会に意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長、研究科長の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 3 教授会に関し、その他必要な事項は別に定める。

第12章 研究指導施設

(研究指導施設)

第53条 大学院に学生研究室及び実験実習室を置く。

- 2 学部及び研究室の施設は、必要に応じ学生の研究及び指導のために用いる。

第13章 留学

(留 学)

第54条 外国の大学院や研究所等に留学を志望する学生は、書面をもって学長に許可を得なければならない。

- 2 前項で許可を得て留学した期間は、課程修了の要件としての在学期間に加えることができる。
- 3 単位認定については第18条を準用する。

第14章 科目等履修生、聴講生、委託生、外国人学生及び大学院留学生

(科目等履修生、聴講生、委託生、外国人学生及び大学院留学生)

第55条 大学院に科目等履修生、聴講生、委託生、外国人学生及び大学院留学生制度を置く。

2 前項に関しては、別に定める。

第15章 厚生補導

(厚生補導)

第56条 厚生補導に関しては、本学学則第13章を準用する。

第16章 賞 罰

(表 彰)

第57条 品行方正、学力優秀な者又は学生として表彰に値する行為があった者に対し、学長は教授会の審議を経て、これを表彰することができる。

(懲 戒)

第58条 本学則、若しくはこれに基づいて定められた学内諸規則に違反し、又は学業を怠り、その他学生としての本分に反する行為のあった者については、教授会の審議を経て、学長が懲戒する。

2 懲戒の種類は、その情状により譴責、謹慎、停学及び退学とする。ただし、退学は、次の各号の一に該当する場合、教授会の審議を経て、学長がこれを命ずる。

- (1) 性行不良にして改善の見込みがないと認められる者
- (2) 成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由なくして出席常でない者
- (4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第17章 雑則

(学則等の変更)

第59条 この学則及び本学が定めるその他の諸規則（以下「学則等」という。）は、必要に応じて変更することができる。

附 則

1. この学則は、昭和43年4月1日から施行する。
 2. この改正学則は、昭和53年4月1日から施行する。
 3. この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。
 4. この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。
 5. この改正学則は、平成元年4月1日から施行する。
 6. この改正学則は、平成3年9月1日から施行する。
 7. この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。
- ただし、学位に関する改正条項については、平成3年9月1日から適用する。

8. この改正学則は、平成6年4月1日から施行する。

9. この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。

ただし、平成6年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。

10. この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。

11. この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。

12. この改正学則は、平成19年4月1日から施行する。

ただし、平成10年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。

13. この改正学則は、平成20年4月1日から施行する。

14. この改正学則は、平成21年7月1日から施行する。

15. この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。

16. この改正学則は、平成22年11月1日から施行する。

17. この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。

18. この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 平成23年度以前の入学生には、従前の学則を適用する。

(3) 平成23年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。

19. この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。

20. この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。

21. この改正学則は、平成29年4月1日から施行する。

22. この改正学則は、平成30年4月1日から施行する。

23. この改正学則は、平成30年8月1日から施行する。

24. この改正学則は、平成31年4月1日から施行する。

25. この改正学則は、令和元年8月1日から施行する。

26. この改正学則は、令和2年9月1日から施行する。

27. この改正学則は、令和2年12月1日から施行する。

28. この改正学則は、令和3年4月1日から施行する。

29. この改正学則は、令和3年9月1日から施行する。

30. この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。

31. この学則の改廃は、各教授会の審議ののち学長を経て、理事会の承認を要するものとする。

大学院研究科の教育研究上の目的

医学研究科博士課程

医学研究科の博士課程は、独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し、研究を指導する能力を養うことを目的とする。

歯学研究科博士課程

歯学研究科の博士課程は、独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し、研究を指導する能力を養うことを目的とする。

薬学研究科博士課程

薬学研究科の博士課程は、独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し、研究を指導する能力を養うことを目的とする。

保健医療学研究科博士後期課程

保健医療学研究科の博士後期課程は、独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し、研究を指導する能力を養うことを目的とする。

保健医療学研究科博士前期課程

保健医療学博士前期課程は、地域の保健、医療、福祉の向上に寄与することはもとより、資格（保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士等）の違いを超えて共有できる「知と技の体系化」を目指し、保健医療分野全体に関する包括的な知識と見識を備え、高い専門性を持って臨床実践および臨床研究においてリーダーシップを発揮し、チーム医療を推進できる人材育成を目的とする。

「昭和大学大学院学則」(改正) について

【改正趣旨】

- ・第6条について
医学研究科 生理系、病理系、社会医学、内科系、外科系を廃止し、医学専攻を設置する。
- ・第11条について
上記に伴い、医学研究科の入学定員・収容定員を変更する。

【変更内容】

研究科	現行			変更後		
	系	入学定員	収容定員	専攻	入学定員	収容定員
医学研究科	生理系	10人	40人	医学	60人	240人
	病理系	12人	48人			
	社会医学系	4人	16人			
	内科系	16人	64人			
	外科系	18人	72人			
	合計	60人	240人	合計	60人	240人

【施行年月日】

令和5年4月1日

以上

昭和大学大学院学則（改正案）

現 行	改 正 案																																																																																																																									
<p>(研究科及び専攻) 第6条 各研究科にそれぞれ専攻を置く。 医学研究科医学専攻 <u>生 理 系 解剖学、生理学、生化学</u> <u>病 理 系 臨床病理診断学、薬理学、微生物学免疫学</u> <u>社会医学系 衛生学公衆衛生学、法医学、医学教育学</u> <u>内 科 系 内科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、リハビリテーション医学、総合診療医学</u> <u>外 科 系 外科学、脳神経外科学、整形外科学、形成外科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科頭頸部外科学、眼科学、産婦人科学、麻酔科学、集中治療医学、救急・災害医学</u></p> <p>歯学研究科歯学専攻 薬学研究科薬学専攻 保健医療学研究科保健医療学専攻 ～ 省略 ～</p> <p>(学生定員) 第11条 学生収容定員は、次の通りとする。</p>	<p>(研究科及び専攻) 第6条 各研究科にそれぞれ専攻を置く。 医学研究科医学専攻</p> <p>歯学研究科歯学専攻 薬学研究科薬学専攻 保健医療学研究科保健医療学専攻 ～ 省略 ～</p> <p>(学生定員) 第11条 学生収容定員は、次の通りとする。</p>																																																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研究科</th> <th colspan="2">博士前期課程</th> <th colspan="2">博士課程及び 博士後期課程</th> <th rowspan="2">収容定員 合計</th> </tr> <tr> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">医学研究科</td> <td>生理系</td> <td></td> <td>10人</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>病理系</td> <td></td> <td>12人</td> <td>48人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>社会医学系</td> <td></td> <td>4人</td> <td>16人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td></td> <td>16人</td> <td>64人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td></td> <td>18人</td> <td>72人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>60人</td> <td>240人</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>歯学研究科</td> <td></td> <td></td> <td>18人</td> <td>72人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>18人</td> <td>72人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td></td> <td></td> <td>12人</td> <td>48人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>12人</td> <td>48人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>保健医療学研究科</td> <td>20人</td> <td>40人</td> <td>4人</td> <td>12人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20人</td> <td>40人</td> <td>4人</td> <td>12人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>40人</td> <td>94人</td> <td>372人</td> <td>412人</td> </tr> </tbody> </table>	研究科	博士前期課程		博士課程及び 博士後期課程		収容定員 合計	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	医学研究科	生理系		10人	40人	40人	病理系		12人	48人	48人	社会医学系		4人	16人	16人	内科系		16人	64人	64人	外科系		18人	72人	72人	計		60人	240人	240人	歯学研究科			18人	72人	72人	計		18人	72人	72人	薬学研究科			12人	48人	48人	計		12人	48人	48人	保健医療学研究科	20人	40人	4人	12人	32人	計	20人	40人	4人	12人	32人	合計	20人	40人	94人	372人	412人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研究科</th> <th colspan="2">博士前期課程</th> <th colspan="2">博士課程及び 博士後期課程</th> <th rowspan="2">収容定員 合計</th> </tr> <tr> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学研究科</td> <td></td> <td></td> <td>60人</td> <td>240人</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>歯学研究科</td> <td></td> <td></td> <td>22人</td> <td>88人</td> <td>88人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td></td> <td></td> <td>15人</td> <td>60人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>保健医療学研究科</td> <td>20人</td> <td>40人</td> <td>6人</td> <td>18人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>40人</td> <td>105人</td> <td>406人</td> <td>446人</td> </tr> </tbody> </table>	研究科	博士前期課程		博士課程及び 博士後期課程		収容定員 合計	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	医学研究科			60人	240人	240人	歯学研究科			22人	88人	88人	薬学研究科			15人	60人	60人	保健医療学研究科	20人	40人	6人	18人	58人	合計	20人	40人	105人	406人	446人
研究科		博士前期課程		博士課程及び 博士後期課程			収容定員 合計																																																																																																																			
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員																																																																																																																						
医学研究科	生理系		10人	40人	40人																																																																																																																					
	病理系		12人	48人	48人																																																																																																																					
	社会医学系		4人	16人	16人																																																																																																																					
	内科系		16人	64人	64人																																																																																																																					
	外科系		18人	72人	72人																																																																																																																					
計		60人	240人	240人																																																																																																																						
歯学研究科			18人	72人	72人																																																																																																																					
計		18人	72人	72人																																																																																																																						
薬学研究科			12人	48人	48人																																																																																																																					
計		12人	48人	48人																																																																																																																						
保健医療学研究科	20人	40人	4人	12人	32人																																																																																																																					
計	20人	40人	4人	12人	32人																																																																																																																					
合計	20人	40人	94人	372人	412人																																																																																																																					
研究科	博士前期課程		博士課程及び 博士後期課程		収容定員 合計																																																																																																																					
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員																																																																																																																						
医学研究科			60人	240人	240人																																																																																																																					
歯学研究科			22人	88人	88人																																																																																																																					
薬学研究科			15人	60人	60人																																																																																																																					
保健医療学研究科	20人	40人	6人	18人	58人																																																																																																																					
合計	20人	40人	105人	406人	446人																																																																																																																					

～ 省略 ～

附 則

～ 省略 ～

29. この改正学則は、令和3年9月1日から施行する。
30. この学則の改廃は、各教授会の審議ののち学長を経て、理事会の承認を要するものとする。

～ 省略 ～

附 則

～ 省略 ～

29. この改正学則は、令和3年9月1日から施行する。
30. この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。
31. この学則の改廃は、各教授会の審議ののち学長を経て、理事会の承認を要するものとする。

医学研究科教授会規程

(設 置)

第1条 昭和大学大学院学則に基づき、昭和大学大学院医学研究科（以下「本研究科」という。）に医学研究科教授会（以下「教授会」という。）を置く。

(構 成 員)

第2条 教授会の構成員は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) 学長

(2) 医学研究科長（以下「研究科長」という。）

(3) 本研究科の教授で次の職責の者

イ. 統括内科学講座責任者

ロ. 統括外科学講座責任者

ハ. 講座責任者

ニ. 講座主任

(4) 昭和大学病院長、昭和大学病院附属東病院長、藤が丘病院長、藤が丘病院副院長1名、藤が丘リハビリテーション病院長、横浜市北部病院長、横浜市北部病院副院長1名、江東豊洲病院長、烏山病院長

2 前項の構成員以外の本研究科の教授、教授(員外)、准教授は教授会に出席することができる。

(陪 席)

第3条 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の本学教育職員または学外の者が教授会に陪席することができる。

(審議事項)

第4条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学および課程の修了に関する事項

(2) 学位論文の審査および学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長および研究科長（以下「学長等」という。）がつかさどる次に掲げる教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(1) 研究科長の選任につき候補者を学長に推薦する事項

(2) 医学研究科研究指導・授業担当資格審査に関する事項

(3) その他、学長等が必要と認めた事項

(招集および議長)

第5条 教授会は研究科長がこれを招集し、その議長となる。ただし、研究科長は学長又は構成員の過半数からの要求があったときは、教授会を招集しなければならない。

2 研究科長に事故あるときは出席構成員の互選によって、臨時に議長を定めることができる。

(定足数および議決)

第6条 教授会は構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することはできない。

2 議決は別に定める規程によるもののほかは、出席構成員の過半数の同意をもって定める。

(運営委員会)

第7条 教授会は大学院の運営のため、運営委員会を置く。

(小委員会)

第8条 教授会は大学院の教育および研究に関して小委員会を置くことができる。

(所 管)

第9条 教授会には学事部長および学事部事務職員が出席し、事務処理を行う。

附 則

1. この規程は、平成22年11月1日から施行する。
2. この規程の施行日をもって「医学研究科委員会規程」(昭和39年4月1日制定)は廃止する。
3. この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。
4. この改正規程は、平成24年11月1日から施行する。
5. この改正規程は、平成25年4月1日から施行する。
6. この改正規程は、平成27年4月1日から施行する。
7. この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。
8. この改正規程は、令和4年4月1日から施行する。
9. この規程の改廃は、教授会の審議を経て学部長会の承認を要するものとする。

設置の趣旨等を記載した書類

<目次>

①設置の趣旨及び必要性-----	p. 4
①-1 大学の沿革と教育理念・目的	
①-2 大学院医学研究科博士課程の再編の必要性と人材養成の目的	
(1) 再編の必要性	
(2) 人材の養成目的	
(3) 再編に係る専門領域の整備等	
②修士課程までの構想か、又は、博士課程の設置を目指した構想か。	【対象外】
③研究科、専攻等の名称及び学位の名称-----	p. 6
④教育課程の編成の考え方及び特色-----	p. 6
④-1 教育課程の編成の考え方	
④-2 教育課程の編成の特色	
⑤教育方法、履修指導、研究指導の方法及び修了要件-----	p. 8
⑤-1 教育方法及び履修方法	
⑤-2 研究指導の方法	
⑤-3 博士論文審査について（学位審査）	
⑤-4 修了要件	
⑤-5 倫理審査体制	
⑥特定の課題についての研究成果の審査を行う場合	【対象外】
⑦教育課程連携協議会について	【対象外】
⑧基礎となる学部(又は修士課程)との関係-----	p. 9
⑨多彩なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合-----	p. 10
⑩「大学院設置基準」第2条の2又は第14条による教育方法の実施-----	p. 10
ア 修業年限	
イ 履修指導及び研究指導の方法	
ウ 授業の実施方法	
エ 教員の負担の程度	
オ 図書館・情報処理施設等の利用方法や学生の厚生に対する配慮、必要な職員の配置	
カ 入学者選抜の概要等	
キ 必要とされる分野であること	
ク 大学院を専ら担当する専任教員を配置するなどの教員組織の整備状況等	
⑪通信教育課程を行う課程を設ける場合	【対象外】
⑫取得可能な資格	【対象外】
⑬入学者選抜の概要-----	p. 12
⑭教員組織の編成の考え方及び特色-----	p. 13
⑭-1 教員組織の編成の考え方	
⑭-2 教員組織の編成の特色	
⑭-3 教員年齢構成について	
⑮施設・設備等の整備計画-----	p. 14

⑩2つ以上の校地において教育研究を行う場合	【対象外】
⑪社会人を対象とした大学院教育の一部を本校以外の場所で開催する場合	【対象外】
⑫管理運営-----	p. 14
⑫-1 医学研究科教授会	
⑫-2 医学研究科運営委員会	
⑫-3 事務組織	
⑬自己点検・評価-----	p. 15
⑭認証評価-----	p. 16
⑮情報の公表-----	p. 16
⑮-1 情報の公表に対する考え方	
⑮-2 情報公開の現状	
⑯教育内容等の改善のための組織的な研修等-----	p. 18
添付資料-----	p. 21

①設置の趣旨及び必要性

①－1大学の沿革と教育理念・目的

昭和大学（以下、本学という。）は、昭和3（1928）年、学祖上條秀介博士は、学問・研究に偏重し、実際の医療と遊離していた当時の医学教育に疑問を抱き、人々の求めに本当に役立つ、人間性豊かで優れた臨床医を養成することを世に訴え、本学医学部の前身となる昭和医学専門学校を創立した。その際、上條博士は常に相手の立場にたって真心を尽くすという精神が、優れた臨床医に必要なであるとの考えを示し、本学ではその考えを「至誠一貫」という建学の精神として現在に至るまで脈々と受け継いでいる。

価値観が多様化し、社会構造の変化が地球規模で進む現代では、人々の医療に対する要求は多様かつ高度になり、医療のあり方もそれぞれの専門領域で深化するとともに分化してきた。その一方で、多種の医療専門職が互いに連携して克服すべき課題も生じ、専門領域の新たな統合も模索されてきている。

このような時代の要請に対して、本学は医系総合大学という特徴を活かして、専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造を目指すにふさわしく、またその達成が可能であると自ら信ずるものである。建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神をこれまでも増して体現し、真心を持って国民一人ひとりの健康を守るために孜孜として尽力することが本学の使命である。そのために、私学の本領を発揮しつつ、一般教育並びに医学、歯学、薬学、看護学、理学療法学、作業療法学に関する最高最新の学術を授け、併せてその奥義を極めることを本学の目的としている。

昭和大学大学院医学研究科（以下、本大学院という。）においては、「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成を目的としている。本学の大学院は医学研究科（本大学院）、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科の4研究科を有しており、各研究科が密に連携し、ライフサイエンスのさまざまな領域の研究に取り組んでいる。本大学院の博士課程には5つの専攻（生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻）が設置されており、収容定員240名で在籍者数は279名（令和4年12月1日現在）となっている。昭和34年4月開設から4,997名（大学院生（甲）2,467名、論文博士（乙）2,530名）（令和4年12月1日現在）の博士（医学）を輩出し、国内・海外において多く活躍している。

①－2大学院医学研究科博士課程の再編の必要性と人材養成の目的

（1）再編の必要性

本大学院は昭和34年に5つの専攻課程（生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻）を設置して以来63年間にわたり、教育、研究を行ってきた。本学は昭和3年の開設から、あと5年余りで100周年を迎えることとなり、今後の大学院教育、研究をさらに発展、推進させたい。分野を超えた連携・協働がサイエンスの発展に必須となり、今後も多様で高度な研究を実施できるようにするため、本大学院内の領域間の融通性を重視し、従来5つある専攻について、広く医学全般を包括する「医学専攻」に統合し、研究分野間の連携について柔軟に取り組む体制としたい。また、他の3研究科（歯学研究科における歯学専攻、薬学研究科における薬学専攻、保健医療学研究科における保健医療学専攻）と同様の専攻の組織体制に大学院組織を整備することにより、他研究科・専攻との有機的な連携についても柔軟に対応できる体制としたい。

(2) 人材の養成目的

現行の昭和大学大学院及び本大学院（医学研究科）の以下のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、医学研究科再編後も同様のポリシーで、医学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その奥義を究めて、文化の進展に寄与できる人材を輩出することを目的とする。ただし、現行の医学研究科カリキュラム・ポリシーで「2. 医学研究科には生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻の5つの専攻を設置し、大学院生はいずれかの専攻分野に属して研究を行う。」とあるが、再編後はこのカリキュラム・ポリシーを変更する。

昭和大学大学院ディプロマ・ポリシー

昭和大学大学院では、「至誠一貫」の精神のもと、より高度な医・歯・薬・保健医療学研究に取り組み、国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成することを目標とし、以下の能力を有する者に、博士の学位を授与する。

- ◆ 医療・健康・生命科学に関する深い学識と専門性、高度な思考・判断能力を有する。
- ◆ 多様な学術的連携・協調をもち、先端的・独創的に研究推進する能力を有する。
- ◆ 円滑なコミュニケーションのもと、成果を社会へ情報発信できる能力を有する。
- ◆ 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する。
- ◆ 研究者・医療従事者等として強い責任感と高い倫理観をもち、医療・生命科学分野の発展に寄与する能力を有する。

医学研究科ディプロマ・ポリシー

医学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その奥義を究めて、文化の進展に寄与できる人材を輩出するために、以下の目標を達成した者に博士(医学)の学位を授与する。

1. 独創的な研究によって従来 of 学術水準に新しい知見を加えた者
2. 専攻分野に関し、研究を指導する能力を有する者
3. 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する者
4. 研究者として強い責任感と高い倫理観をもち、医学・生命科学の発展に寄与できる者

昭和大学大学院カリキュラム・ポリシー

昭和大学大学院では、「至誠一貫」の精神のもと、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力を身に着けるために、授業科目の講義・演習・実習及び研究・学位論文作成の指導を行います。

医学研究科カリキュラム・ポリシー【再編後】

1. 生命科学の基盤の上に、医学分野に関する深い洞察力及び専門的知識の習得に加えて、強い責任感と高い倫理観をもち、課題探求能力と教育・研究指導能力を備えた研究者並びに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 大学院生は医学研究科医学専攻内のいずれかの研究分野に属して研究を行う。
3. 医学研究科の教育は、講義、演習、実習および学位論文の作成等に対する指導により行う。
4. 医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるために、7つの共通科目(必修)を開講する。
5. 共通科目は医学部以外の学部出身者が基本的な知識と技術を身につけるためのものでもあり、本

学他学研究科の大学院生も受講することが出来る。

6. 本学他研究科の共通科目を受講することができ、単位として認める。
7. 医学研究科教授会が認めた国内外の大学、研究所等で研究を行うことが可能であり、単位として認める。
8. 単位認定されている学内研究会・セミナーに出席した場合は、関連共通科目の履修時間として認める。
9. 幅広い視野を確立し成果を発信する能力を養うために国内外の学会・研究会等に参加できる。

医学研究科カリキュラム・ポリシー【現行】下線部は再編後に変更予定（上記参照）

1. 生命科学の基盤の上に、医学分野に関する深い洞察力及び専門的知識の習得に加えて、強い責任感と高い倫理観をもち、課題探求能力と教育・研究指導能力を備えた研究者並びに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 医学研究科には生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻の5つの専攻を設置し、大学院生はいずれかの専攻分野に属して研究を行う。
3. 医学研究科の教育は、講義、演習、実習および学位論文の作成等に対する指導により行う。
4. 医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるために、7つの共通科目(必修)を開講する。
5. 共通科目は医学部以外の学部出身者が基本的な知識と技術を身につけるためのものでもあり、本学他学研究科の大学院生も受講することが出来る。
6. 本学他研究科の共通科目を受講することができ、単位として認める。
7. 医学研究科教授会が認めた国内外の大学、研究所等で研究を行うことが可能であり、単位として認める。
8. 単位認定されている学内研究会・セミナーに出席した場合は、関連共通科目の履修時間として認める。
9. 幅広い視野を確立し成果を発信する能力を養うために国内外の学会・研究会等に参加できる。

③研究科、専攻等の名称及び学位の名称

以下のとおり、現行の医学研究科5の専攻（生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻）を統合し、医学研究科医学専攻を設置する。なお、授与する学位の種類及び収容定員については、現行の規模（入学定員60名、総定員240名）と同じとする。

●研究科・専攻の名称：医学研究科医学専攻

英語名称：Graduate School of Medicine

●学位の名称：博士（医学）

英語名称：Doctor of Philosophy in Medicine

④教育課程の編成の考え方及び特色（教育研究の柱となる領域（分野）の説明も含む。）

④-1 教育課程の編成の考え方

本大学院では、国内外で活躍する先端的・独創的な生命科学・医学研究者を目指す人、高度な専門知識と技術を持った臨床医を目指す人、病院、公的機関、企業等に在籍しながら研究を行い、博士号取得を目指す人、医学部以外出身者で出身学部の特性を生かした医学研究者を目指す人、それ

それを受け入れ、医学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その奥義を究めて、文化の進展に寄与できる人材を輩出することを目的として、教育課程を編成している。

現在、5つの専攻（生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻）を有しているが、医学研究科内の領域間の融通性を重視し、広く医学全般を包括する「医学専攻」に統合し、一本化する。なお、授業科目は、大学院生が必要とする授業や実習を横断的に選択できるようにしている。

医学専攻内の研究分野は、従来の研究分野と同様となり、以下のとおり構成する。

（1）研究分野

【医学専攻】

解剖学^{*1}、生理学^{*1}、生化学^{*1}、臨床病理診断学^{*2}、薬理学^{*2}、微生物学免疫学^{*2}、衛生学公衆衛生学^{*3}、法医学^{*3}、医学教育学^{*3}、内科学^{*4}、精神医学^{*4}、小児科学^{*4}、皮膚科学^{*4}、放射線医学^{*4}、リハビリテーション医学^{*4}、総合診療医学^{*4}、外科学^{*5}、脳神経外科学^{*5}、整形外科^{*5}、形成外科学^{*5}、泌尿器科学^{*5}、耳鼻咽喉科頭頸部外科学^{*5}、眼科学^{*5}、産婦人科学^{*5}、麻酔科学^{*5}、集中治療医学^{*5}、救急・災害医学^{*5}

※従来の専攻：生理系専攻^{*1}、病理系専攻^{*2}、社会医学系専攻^{*3}、内科系専攻^{*4}、外科系専攻^{*5}

（2）研究指導

学生は医学専攻内のいずれかの研究分野に所属する。2年次までの必修科目である「共通科目」で習得した研究の基礎的知識・技術を活かし、1～4年次の「専門科目」では、主として所属する研究分野の研究指導教員により博士論文を作成することを目的とした研究指導等が行われている。

（3）共通科目

医学研究を遂行する上で必要とされる基本的な知識・技能を身につけることを目的として配置した必修科目であり、以下の①-⑦の授業科目により構成され、それぞれの授業科目の中で演習、講義を実施している。①-⑦の各授業科目においては、授業を実施する主体を学生が選択することが可能である。例えば、①の「生体の組織構造解析法」であれば、授業を実施する主体は「顕微解剖学分野」と「肉眼解剖学分野」となり、学生はそれらいずれかを選択する。「研究倫理・教育・AI」は令和4年度から開設した授業科目である。本学全体で研究倫理教育に重点を置いていること、大学院教育において大学院生の教育能力の開発が重要視されてきたこと、医療分野においてもAIが急速に普及してきていること、これらの情勢を受けて開設したものである。

- ①生体の組織構造解析法
- ②生体の病理病態学的解析法
- ③生体の機能解析法
- ④生体内の物質分析法
- ⑤分子生命科学的解析法
- ⑥医学生物学における統計学的解析法
- ⑦研究倫理・教育・AI

④-2 教育課程の編成の特色

本大学院では、「共通科目」は原則として2年次までに履修を完了する必修科目としている。

「共通科目」の各授業科目における演習、講義は、同一の内容で年8回（平日夜間4回、土曜日4回）の開催を原則とし、社会人大大学院生等の円滑な履修に配慮している。また、「共通科目」は必

修科目であるが、その中で授業を実施する主体を選択できる余地を残し、大学院生のニーズに対応できるよう配慮している。1、2年次には「共通科目」によって研究の基本的知識・技能を学びつつ、1～4年次には所属する研究分野の研究指導教員による「専攻科目」で研究指導・論文作成指導等を受け、4年次までに学位論文の作成を進める。

⑤教育方法、履修指導、研究指導の方法及び修了要件

本大学院の課程については、学則その他の規程等において修了要件・履修要件等を定め、これに従い必要な履修指導及び研究指導を行う。

⑤-1 教育方法及び履修方法

本大学院では、ディプロマ・ポリシーに掲げた目標を学生が達成するために、医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるための「共通科目」（7単位）と「専攻科目」（23単位以上）を履修する。「共通科目」の履修を2年次までに終え、そこで獲得した知識・技能・能力を1～4年次まで続く「専攻科目」の履修に活かすように指導している。医学専攻内には専門性の高い研究分野が設置され、大学院生はいずれかの研究分野に所属し、研究指導教員から「専攻科目」の指導を受ける。研究指導教員は、研究課題についての研究、学会発表、論文作成等の教育を行い、学生は、研究分野における高度な知識と技術、研究遂行能力を獲得する。

大学院設置基準第14条に基づき、昼夜開講制を取り入れ、社会人大学院生を積極的に受け入れている。「共通科目」は、平日夜間と土曜日に開講しており、いずれの時間でも履修が可能である。特に「共通科目」の各講義・演習は、年8回同一の内容で実施することを原則としており、欠席した場合や学生の都合に合わせて、他の時期に同一の授業を履修することが可能となっている。また、メディア授業での学習効果が高いと思われる科目については、オンデマンド配信等も取り入れている。とりわけ「共通科目」のなかで令和4年度から開講した「研究倫理・教育・AI」は、授業のほとんどがオンデマンド型授業となっている。

「共通科目」と「専攻科目」の受講ごとに担当した教員が成績を評価している。学生は履修状況を「学事部大学院課」に毎年1回報告し、「学事部大学院課」と研究指導教員が連携して、学生の研究進捗状況を点検している。

⑤-2 研究指導の方法

医学専攻は、学生の研究指導を担当する者として、各研究分野に研究指導教員と研究指導補助教員を配置しており、研究内容に応じて、研究指導教員を決定している。

各研究分野で4年次の論文完成までの「専攻科目」の履修を通じて、教員は研究分野における課題研究や研究方法の指導を行いつつ、学会発表等、様々な場面での指導にあたる。また、各研究分野の教授が担う「研究分野責任者」が学生の研究指導をする上で有益であると判断する場合には、本学内の他の研究科や研究所、国内外の研究機関（大学院、研究所、病院等）に学生の研究指導の一部を依頼することも可能となっている。

⑤-3 博士論文審査について（学位審査）

博士論文については、査読制度のある学術雑誌に掲載済みもしくは掲載予定であるもので、当該の「研究分野責任者」を経由して学位申請を行う。

「医学研究科教授会」で学位申請の受付が承認されると学位審査を行うことができる。学位審査を担当するのは、本学の専任教育職員をもって構成する「審査委員会」（医学研究科教授会の構成員から主査1名、医学研究科の構成員で教授または准教授から副査2名）である。また、必要に応じ副査の数を増加し、本学他研究科及び本大学院が認めている他機関の教員等を加えることができる。「審査委員会」の構成員については、「医学研究科教授会」にて選出し、学長が承認する。なお、学位申請者の研究指導に関与した教育職員、あるいは当該論文の共著者等で学位論文に関与している教育職員は、いずれも主査、副査になれない。

「審査委員会」は、学位論文の審査を行った後に、当該論文を中心として、これに関連のある科目について口頭又は筆答で最終試験を行う。「審査委員会」は、学位論文の審査並びに最終試験を終了したときは、速やかにその結果を「医学研究科教授会」に報告する。「医学研究科教授会」では、学位を授与できるものと議決するための投票を行う。投票総数の3分の2以上の賛成で議決し、学長が学位授与を決定する。

⑤-4 修了要件

本大学院に4年以上在学し、修了要件単位（共通科目7単位、専攻科目23単位以上）を修得し、かつ、学位論文を提出し、「審査委員会」による学位論文の審査及び最終試験に合格した者を修了とする。なお、4年次終了までに所定の単位を修得できなかつた者、学位を取得できなかつた者は修了延期とする。なお、優秀な業績を上げた者については、特例により「医学研究科教授会」の審議を経て、学長は3年以上を在籍すれば足りるものとするができる。

⑤-5 倫理審査体制

本学で行なわれる人を対象とした研究の実施計画は、「学校法人昭和大学における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理規程」、「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会規則」に基づき、「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」が医学的、倫理的、社会的観点から審査している。なお、人を対象とした研究の実施計画のなかで、臨床研究法で定義された臨床研究の実施計画については、「学校法人昭和大学認定臨床研究審査委員会規程」に基づき、厚生労働大臣認定の「学校法人昭和大学臨床研究審査委員会」が審査している。また、臨床研究のなかで、医薬品や医療機器等の製造販売承認申請を目的とする治験の審査は、「昭和大学病院および各附属病院・クリニック臨床研究取扱規程」に基づき、「昭和大学病院臨床試験審査委員会」、「昭和大学藤が丘病院臨床試験審査委員会」、「昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会」、「昭和大学附属烏山病院臨床試験審査委員会」、「昭和大学江東豊洲病院臨床試験審査委員会」、「昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会」が審査している。本学で行なわれる動物を対象とした研究の実施計画は、「昭和大学動物実験規程」、「昭和大学動物実験実施指針」に基づき、「動物実験委員会」が科学的及び動物愛護の観点から審査している。

⑧基礎となる学部との関係

本学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の4学部を有する。本大学院の基礎となる学部は、本学医学部である。本大学院は本学他学を含めた医学部卒業生以外にも広く門戸を開いているが、本学医学部を卒業した学生の入学が最も多い。本学の教育職員は基礎となる学部と大学院を兼任しており、医学部の教育職員は本大学院の教員を兼任し、本大学院における研究指導や授業等を

担当している。また、本学医学部では医学部4年次から「昭和大学大学院マルチドクタープログラム」に参加が可能で、本大学院での必修科目である「共通科目」6単位（全7単位）、「専門科目」4単位の範囲で取得することができる。このマルチドクタープログラムで取得した単位は、本学医学部の卒業要件には組み入れず、本大学院修了要件単位に算入することができる。

⑨多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合

本大学院では、医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるために、7科目で構成される「共通科目」（7単位）を必修としている。7科目のうち6科目においては、対面での講義・演習を基本としながら、十分な効果が見込まれる場合にインターネットを利用した非対面でのメディア授業（ライブ配信型授業、オンデマンド型授業）を活用している。「共通科目」の6科目で現在約50%の授業がメディア授業となっている（ライブ配信型授業20%、オンデマンド型授業30%）。また7科目目の「研究倫理・教育・AI」では、11回のオンデマンド型授業と指定日に終日出席する対面演習で構成されている。11回のオンデマンド型授業は主として知識習得を目的とする授業であり、視聴後の確認テストの実施と繰り返し視聴によって高い教育効果が期待できる。

⑩「大学院設置基準」第2条の2又は第14条による教育方法の実施

本大学院は、医療機関や研究機関等に勤務している社会人に対して、大学院設置基準第14条特例に基づき教育方法の特例を適用し、授業及び研究指導を行っている。

社会人入学者への対応を以下に示す。

ア 修業年限

4年とする。

イ 履修指導及び研究指導の方法

社会人入学者以外との違いは設けない。

ウ 授業の実施方法

講義・演習時間は、原則として昼・夜間の時間、土曜日の開講を設定している。

昼間：9時開始

夜間：18時開始

なお、教員と学生で協議の上、学生の便利な日程・時間に講義・演習を調整している。

エ 教員の負担の程度

大学院を担当する教員の負担が増大することが予測されるため、夜間等担当する教員を分散して負担が集中しないようにしていること、非常勤教員の活用やe-learningを導入する等教員の負担の軽減に務めている。

オ 図書館・情報処理施設等の利用方法や学生の福利厚生に対する配慮、必要な教員配置

図書館は、月曜日から土曜日が午前9時から午後10時まで、日曜日・祝日は午前9時から午後7時まで開館している。また、学生が食事や学習等多目的に使用できる学生ホールは、月～土曜日の午前7時から午後10時まで利用可能となっている。

情報処理施設については、ICTと発展に対処すべく、本学では情報管理センターを中心に、本学全体の教育・研究・診療・業務におけるICTの全体のマネジメントを行っている。また、ネットワークの利用については、教職員及び大学院生が大学全キャンパス、本学附

属病院を結ぶ、全学的な有線・無線ネットワークからのインターネット接続サービスの利用が可能となっている。

大学院生の福利厚生については、全大学院生に対して学生賠償責任保険の加入を行っており、安心して教育・研究に専念できるよう配慮している。また、健康診断についても、職員と同時期に実施しており、全員が受診できるよう体制を整備しており、疾病については、本学附属病院を受診できる体制を整備している。旗の台校舎に保健管理センターを設置し、同センターには専任の医師と看護師、事務職員が常勤して学生の健康管理を行っている。また、同センターには精神的なケアを行う専従の教育職員（精神科医師）を配置し、学生のこころのケアにも対応している。さらに、学生相談室では、カウンセラーが学生生活における諸問題について、相談・助言・指導を行っている。研究等の相談・助言・指導については、すべての教員がオフィスアワーを設定して対応している。

カ 入学者選抜の方法

「⑬入学者選抜の概要」に記載のとおり、本学大学院においては、「至誠一貫」の精神のもと、より高度な医・歯・薬・保健医療学研究に取り組み、国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成することを目標としている。本大学院の入学試験は毎年8月と2月に実施している（8月は秋季入学試験及び春季Ⅰ期入学試験、2月は春季Ⅱ期入学試験）。昭和大学大学院アドミッション・ポリシー及び本大学院アドミッション・ポリシーを踏まえ、外国語（英語）試験及び志望する「専門科目」に関する試験（口頭試問）を実施し、それらを総合して合否判定を行っている。本大学院の入学試験の出願ができる者は、「⑬入学者選抜の概要」に記載のとおり、医学、歯学、薬学部（6年制）又は獣医学部の課程を卒業した者及び卒業見込みの者等である。

昭和大学大学院アドミッション・ポリシー

昭和大学大学院は、「至誠一貫」の精神のもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成をめざしています。

入学選抜にあたり、私共は次のような多様な学生・社会人を広く求めます。

- ◆ 医療・健康・生命科学の専門知識を深く追究する意欲のある人
- ◆ 常に探究心を持ち、先進的な医療を担う意欲のある人
- ◆ 自らの活動領域を拓げ、医系総合科学を発展させる意欲のある人
- ◆ さまざまな分野の専門家と共に、先端的・独創的な研究を志す人
- ◆ 社会での実践から得た知識と経験を体系化し還元する意欲のある人
- ◆ 国際的視野を持ち、国内外へ向けて広く成果を発信する意欲のある人
- ◆ 真摯に学び、高い倫理性と豊かな人間性を持つ指導者を志す人

昭和大学大学院医学研究科アドミッション・ポリシー

1. 国内外で活躍する先端的・独創的な生命科学・医学研究者を目指す人
 2. 高度な専門知識と技術を持った臨床医を目指す人
 3. 病院、公的機関、企業等に在籍しながら研究を行い、博士号取得を目指す人
 4. 医学部以外出身者で出身学部の特性を生かした医学研究者を目指す人
- キ 必要な分野であること

本大学院においては、「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成を目的としている。本学の大学院は医学研究科（本大学院）、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科の4研究科を有しており、各研究科が密に連携し、ライフサイエンスのさまざまな領域の研究に取り組んでいる。本大学院は、昭和34年4月開設から4,997名（大学院生（甲）2,467名、論文博士（乙）2,530名）（令和4年12月1日現在）の博士（医学）を輩出し、国内・海外において活躍しており、これからも多くの人材を育成する必要がある。既に現代の研究活動においても多分野の連携・協働が至極当然となっているが、今後は各研究分野がより深く、そしてより高度になることから、極めて緊密な連携・協働のもとに構築される横断的な研究体制が必須となる。そこで従来の狭い範囲の教育・研究体制から脱却し、本大学院内の領域間の融通性を重視し、広く医学全般を包括する「医学専攻」に統合したい。医学研究の実施が主となる本大学院においては、臨床系研究者と基礎系研究者の連携・協働が大きく進み、医学研究の発展に大きく寄与できる。とりわけ3000床を超える病床を持つ附属病院群を支える臨床医となる多くの大学院生の研究能力を高めることは、本学全体の研究遂行力を向上させる礎となるものである。考慮すべきは、臨床医としてのみならず、医療・教育・研究機関や企業等に勤務しながら入学を希望するものもいることである。そのような状況であっても学生の研究能力を十分に高めるため、大学院設置基準第14条特例を活用し、夜間その他特定の時間に授業及び研究指導を行い、便宜を図る必要がある。

ク 大学院を専ら担当する専任教員を配置するなどの教員組織の整備状況

大学院を担当する教員は専任教員である。本学医学部等の学部との兼任となるが、大学院教育を行うに十分な数の十分な資質を有する教員を配置している。

⑬入学者選抜の概要

本大学院においては、「至誠一貫」の精神のもと、より高度な医・歯・薬・保健医療学研究に取り組み、国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成することを目標としている。

入学試験は毎年度8月と2月に実施している。8月に実施するのは、同年度の10月に入学を希望する者を対象とした秋季入学試験及び翌年度の4月に入学を希望する者を対象とした春季Ⅰ期入学試験であり、2月に実施するのは翌年度の4月に入学を希望する者を対象とした春季Ⅱ期入学試験である。昭和大学大学院アドミッション・ポリシー及び本大学院アドミッション・ポリシーを踏まえ、外国語（英語）試験及び志望する「専門科目」に関する試験（口頭試問）を実施し、それらを総合して合否判定を行っている。

本大学院の入学試験の出願ができる者は、医学、歯学、薬学部（6年制）又は獣医学部の課程を卒業した者及び卒業見込みの者、あるいは外国において学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、薬学（6年制）又は獣医学）を修了した者および修了見込みの者、あるいは本大学院が「医学、歯学、薬学部（6年制）又は獣医学部の課程を卒業した者及び卒業見込みの者」と同等以上の学力があると認めた者、あるいは本大学院において、個別の入学資格審査により、「医学、歯学、薬学部（6年制）又は獣医学部の課程を卒業した者及び卒業見込みの者」と同等以上の学力があると認めた者で入学までに24歳に達する者、のいずれかである。なお、上記を満たし、医療・教育・研究機関、企業等に勤務している者、または本大学院入学時にこれらに勤務予定の者は、医学専攻内の研究分野（「専攻科目」）のうち、解剖学、生理学、生化学、臨床病理診断学、薬理学、微生物学免疫学、衛生学公衆衛生学、法医学、医学教育学のいずれかを履修する「社会人特別選抜」として入学試験を

行う。

⑭教員組織の編成の考え方及び特色

⑭-1 教員組織の編成の考え方

教員組織については、専任教員の教員構成は、教授92名、准教授123名、講師272名、助教554名である。教授等の職位とは別に、各教員の研究業績や知識、経験に基づき、研究指導教員、研究指導補助教員、授業担当教員のいずれかの資格を付与し、学生の研究指導体制の責任の所在を明確化する。

医学専攻の教員の構成であるが、解剖学、生理学、生化学、臨床病理診断学、薬理学、微生物学免疫学、衛生学公衆衛生学、法医学、医学教育学、内科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、リハビリテーション医学、総合診療医学、外科学、脳神経外科学、整形外科学、形成外科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科頭頸部外科学、眼科学、産婦人科学、麻酔科学、集中治療医学、救急・災害医学の各研究分野の教員で構成される。医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につける目的で履修させる1～2年次の「共通科目」を担当するのは、いわゆる基礎医学研究を主たるフィールドとする教員である。「共通科目」では研究の基礎的事項について多分野を横断して学ぶため、解剖学、生理学、生化学、臨床病理診断学、薬理学、微生物学免疫学、衛生学公衆衛生学、法医学を専門とする多様な教員を配置し、さらに教育能力開発を担当する医学教育学の教員が加わる。1から4年次まで続く「専攻科目」を履修する研究分野では、それぞれの研究分野において、顕著な研究業績、そして特に優れた知識および経験を備えた研究指導教員を配置し、いずれの研究分野においても専門性を持った高いレベルの研究を指導できる体制を整えている。さらに各研究分野で研究指導教員に準じる業績、経験を備える研究指導補助教員を配置し、学生への研究指導が遅滞なく円滑にできるように配慮している。

⑭-2 教員組織の編成の特色

本大学院の研究指導教員の多くは医学部の教員を兼務しており、本学附属病院や研究室等で日々高度な最新の医療や研究の実践経験を積んだ専門家である。本大学院は、これらの教員をもって人類の幸福に貢献する人材の育成のための教育指導体制を構築し実践する。

本大学院はこれまでも基礎系教員と臨床系教員の人事的な交流も多く、いわゆるフィジシャンサイエンティストである臨床系教員から基礎系教員となった者も多い。一方で、大学院生として基礎系教員とともに学び、臨床系教員となった者も多い。このような特色から、これまでも基礎系教員と臨床系教員の共同研究が多く行われてきた。また、本学医学部の授業においても、基礎と臨床の垂直統合型の授業が多く実施されている。本大学院の今回の再編によって、従来の5つの専攻（生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻）を医学専攻に統合することは、これまでも増して本学における各学問領域間の垣根を超えた協働を促進するものである。本学附属病院群3000床のベッドサイドからベンチ(研究室)へ、そしてベンチからベッドサイドへの好循環が生まれ、このような背景、経験をもつ教員とともに学生が学ぶことは、本学の大学院のディプロマ・ポリシーである「国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成すること」の達成に多いに寄与するものである。

⑭-3 教員年齢構成について

教員構成は、教授92名、准教授123名、講師272名、助教554名となっている。なお、本大学院の教員組織における年齢構成は、30～39歳が476名、40～49歳が364名、50～59歳が161名、60～65歳が40名と幅広い教員構成となっており、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化・向上化に寄与している。

⑮施設・設備等の整備計画

本学の主たるキャンパスである旗の台校舎は東京都品川区に位置する。本学は8つの附属病院である①昭和大学病院（東京都品川区、815床）、②昭和大学病院附属東病院（東京都品川区、199床）、③昭和大学藤が丘病院（神奈川県横浜市、584床）、④昭和大学藤が丘リハビリテーション病院（神奈川県横浜市、197床）、⑤昭和大学横浜市北部病院（神奈川県横浜市、689床）、⑥昭和大学江東豊洲病院（東京都江東区、400床）、⑦昭和大学附属烏山病院（東京都世田谷区、340床）、⑧昭和大学歯科病院（東京都大田区、22床）を有し、合計で3246床となる。臨床症例が非常に多く、臨床研究実施の大きなアドバンテージとなる。旗の台校舎以外には、長津田校舎、富士吉田校舎がある。本学の図書館は、旗の台校舎の昭和大学図書館、そして富士吉田校舎、長津田校舎、昭和大学医学部附属看護専門学校に設置した分室で構成され、学生の図書館へのアクセスに配慮している。昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学附属烏山病院、昭和大学歯科病院の各附属病院にも図書室がある。図書館の管理のもと、各種オンラインデータベースの利用やオンラインジャーナルの閲覧等が可能である。本学の附置研究施設として、7つの研究所である①臨床薬理研究所、②先端がん治療研究所、③スポーツ運動科学研究所、④発達障害医療研究所、⑤臨床ゲノム研究所、⑥富士山麓自然・生物研究所、⑦脳機能解析・デジタル医学研究所（令和5年4月開設）、5つの共同研究施設である①遺伝子組み換え実験室、②電子顕微鏡室、③分子分析センター、④動物実験施設、⑤臨床医学共同研究室を所有している。本大学院の学生は、所属する研究分野の研究指導教員による研究指導のみならず、各研究所に所属する研究指導教員からの研究指導を受けることや機器の共同利用等が可能であり、多角的な視点、多面的なアプローチによる研究推進が期待できる。共同研究施設は本大学院の学生の研究遂行には欠かせないものであり、これまでも多くの学生が利用してきた。

大学院生の自習室は、所属する研究分野の研究室を利用し、机及び椅子、プリンタ等を配置し、学内有線・無線ネットワークからのインターネット接続サービスの利用ができる。学生は教員とともに所属する研究分野の実験室、研究所、共同研究施設等で実験等を行う。

施設・整備等については、実験機器等の購入や更新、保全などを含む研究環境全般の整備を計画的に実施しており、本大学院学生の研究実施が円滑に進むよう常に配慮している。

⑯管理運営

本大学院の教学面での管理運営については、昭和大学大学院学則第51条に基づき、大学院に関する事項について審議するため「医学研究科教授会」を置いている。また、「医学研究科教授会」に医学研究科教授会規程第7条に定める「医学研究科運営委員会」を置き、医学研究科の教育研究および運営に関して「医学研究科運営委員会規則」で定める業務を行う。大学院に係る教務事務全般は、「学事部大学院課」が担当する。

⑩-1 医学研究科教授会

「医学研究科教授会」は、学長、医学研究科長、医学研究科教授で組織されている。8月を除き毎月1回開催され、昭和大学大学院学則第52条に定める下記の事項を審議し本大学院（医学研究科）の運営を行う。

- (1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位論文の審査及び学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会に意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

⑩-2 医学研究科運営委員会

「医学研究科教授会」に「医学研究科運営委員会」を置き、大学院の教育研究および運営に関し、医学研究科長の諮問に答申し、またその実施に当たる。「医学研究科運営委員会」は、本大学院（医学研究科）において選出された委員6名（基礎医学の教授3名、臨床医学の教授3名）をもって組織されている。6月、8月、12月、3月にそれぞれ1回開催される。「医学研究科運営委員会規則」第4条に定める下記の事項について、研究科長からの諮問に答申し、「医学研究科教授会」に報告するとともに、その実施に当たる。

- (1) 大学院の入学受け入れに関する事項
- (2) 大学院のカリキュラムに関する事項
- (3) 学位に関する事項
- (4) 研究生に関する事項
- (5) その他大学院の教育研究および運営に関する事項

⑩-3 事務組織

大学院に係る教務事務全般は、「学事部大学院課」が担当し、教員、学生の教育研究活動に支障が生じないよう配慮している。さらに、学内の意思疎通や他部署との連携、円滑な管理運営を図るため、上記の「医学研究科教授会」及び「医学研究科運営委員会」を含め、教職員間の会議等を定期的で開催している。

⑪自己点検・評価

本学では、大学、大学院、附属専門学校、附属研究所及び附属病院のすべてで自己点検・評価を実施し、PDCAサイクルのもとに大学全体の改善を実行している。「自己点検・評価規程」第2条に基づいて設置された「昭和大学自己評価委員会」は、学長、各学部長、各研究科長、学生部長等の職にある教育職員、事務局長、総務部長、人事部長、学事部長等の職にある事務職員による全学体制で組織されている。「昭和大学自己評価委員会」は、各部署の自己点検・評価の結果を取りまとめ、本学の教育、研究、組織、運営、施設設備の状況に関する総括的な自己点検・評価を行い、教育水準、研究水準の向上を図っている。自己点検・評価の結果は、「自己点検・自己評価報告書」として、本学ホームページで広く社会に公表し、本学の教育研究活動及び大学運営、それらの自己評価・点検に関する透明性の確保を図っている。なお、「昭和大学大学院学則」第2条においても、「前条の目的を達成させるために、教育研究の活動状況等について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定めており、本大学院においても他部署同様に自己点検・評価を行い、上記の「自己点

検・自己評価報告書」の中でその結果を公表している。

⑩認証評価

本学は自己点検・評価とその結果の公表に加え、学校教育法第109条に基づき、政令で定められた期間内に認証評価機関による認証評価を受審している。令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の実施する第3期大学機関別認証評価を受審した結果、「評価の結果、日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合していると認定する。」との判定を得た。その結果は本学及び日本高等教育評価機構のホームページで公表されている。

⑪情報の公表

⑪-1 情報の公表に対する考え方

大学は社会的存在として学生、保護者、社会に対する説明責任があり、実施する教育、研究、運営全般についての情報の公表は、果たすべき社会的責務であると考えている。同時に積極的な公表を通して、大学に期待される教育力、研究力の向上を図るものである。

教育情報の公開

https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/

⑪-2 情報公開の現状

学校教育法第113条及び学校教育法施行規則第172条の2に基づき、本大学院の教育研究水準の向上に資するため、以下の事項について本学ホームページにおいて公表している。

(1) 教育研究上の目的に関すること

<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00000915.pdf&n=教育目標%28大学院%29.pdf>

(2) ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに関すること

ディプロマ・ポリシー

<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00000935.pdf&n=ディプロマ・ポリシー（医学研究科）.pdf>

カリキュラム・ポリシー

<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00000904.pdf&n=カリキュラム・ポリシー（医学研究科）.pdf>

アドミッション・ポリシー

<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00030930.pdf&n=⑥-6アドミッションポリシー（大学院%5B研究科別%5D）2021.pdf>

(3) 教育研究上の基本組織に関すること

<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=587&f=abm00034583.pdf&n=00学校法人昭和大学組織図.pdf>

(4) 教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

<https://rira.showa-u.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template1>

(5) 入学者数、収容定員、在学者数、修了者数、修了後の進路に関すること

- 入学者数
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00037572.pdf&n=⑥-11>入学者推移.pdf
- 収容定員、在学者数
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00037946.pdf&n=★⑥-8>学生数の状況.pdf
- 修了者数、修了後の進路
[https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=2420&f=abm00037977.pdf&n=令和3年度_卒業\(修了\)者数および進学者数・就職者数](https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=2420&f=abm00037977.pdf&n=令和3年度_卒業(修了)者数および進学者数・就職者数).pdf
- (6) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
医学研究科電子シラバス
<https://kyoumu.showa-u.ac.jp/System/Syllabusgaku/default.asp?organizationid=6&nendo=2022>
- (7) 学修の成果に係る評価及び修了の認定に当たっての基準に関すること
医学研究科履修要項（医学研究科電子シラバス内に掲載）
<https://kyoumu.showa-u.ac.jp/System/Syllabusgaku/default.asp?organizationid=6&nendo=2022>
大学院・専攻科修了要件
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00037578.pdf&n=⑩-20>大学院・専攻科修了要件.pdf
- (8) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
キャンパス・施設
https://www.showa-u.ac.jp/about_us/campus/fujiyoshida.html
- (9) 授業料、入学科その他の大学が徴収する費用に関すること
医学研究科学納金
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00037577.pdf&n=④-2>学納金（大学院）.pdf
- (10) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
学生生活ガイド
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00011793.pdf&n=学生生活ガイド>.pdf
- (11) 学位論文に係る評価に当たっての基準に関すること
昭和大学大学院 学位論文(博士)審査基準
<https://www.showa-u.ac.jp/albums/abm.php?d=169&f=abm00012239.pdf&n=【HP掲載用】学位論文%28博士%29審査基準20200401.pdf>
- (12) 自己点検・評価、認証評価
昭和大学自己点検・自己評価報告書、大学機関別認証評価 評価報告書
https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/self-check.html

⑫教育内容等の改善のための組織的な研修等

大学院設置基準第14条の3「大学院は、当該大学院の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」に基づき、本学大学院学則第50条の4では、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために指導教員に対して研修の機会を設けることを定めている。「昭和大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」の第1条において、昭和大学、昭和大学大学院、昭和大学助産学専攻科、昭和大学医学部附属看護専門学校等の教育の質の向上と、専任教育職員の資質の向上を目的とするファカルティ・ディベロップメントを実施すると定めている。「昭和大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」の第4条にてFD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会を設置し、教育職員の教育に関わる研修会・講習会に関することなどを審議している。また、「昭和大学スタッフ・ディベロップメントに関する規程」の第1条においては、「本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教育に関わる事務職員、技術職員および教育職員等の資質・能力の向上を目的とする研修（昭和大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程に規定するものを除く）およびその他必要な取り組みを行うために、スタッフ・ディベロップメントに関して必要な事項を定める。」としている。この規程の第2条では、スタッフ・ディベロップメントを実施するために昭和大学SD（スタッフ・ディベロップメント）推進委員会を置き、この委員会が研修等を計画し実施する。本学にてこれまで実施してきたFD活動、SD活動は下記の通りである。

「医学教育のためのFD教育ワークショップ」における大学院の検討課題

- 2017年度 ・自己点検評価書の確認
- 2018年度 ・Outcome Based Educationに基づくカリキュラムの再構築
- 2019年度 ・基礎医学と臨床医学におけるカリキュラム改編
- 2020年度 ・新時代の基礎医学・臨床医学統合講義
- 2021年度 ・新カリキュラムにおける2022（M3）の基礎・臨床統合教育カリキュラムの作成
- 2022年度 ・アウトカム基盤型教育におけるマイルストーンの作成

SD勉強会のテーマ

- 2010年度 ・昭和大学各学部の特徴
 - ・奨学金について
 - ・各部署業務改善報告について
 - ・就職・進路支援について
 - ・学生の課外活動について
- 2011年度 ・入試相談会への対応
 - ・平成23年度私立大学経常費補助金について
- 2012年度 ・国公私立大学医学部
 - ・歯学部 教務事務職員研修報告
 - ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
 - ・平成24年度私立大学経常費補助金について
- 2013年度 ・国公私立大学医学部
 - ・歯学部 教務事務職員研修報告

- ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
- ・平成25年度私立大学経常費補助金について
- 2014年度
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部 教務事務職員研修報告
 - ・平成26年度私立大学経常費補助金について
 - ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
 - ・奨学金について
- 2015年度
 - ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
 - ・IRについて
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部 教務事務職員研修報告
 - ・医学教育分野別認証評価 受審の意義と認定への展開
 - ・平成27年度私立大学経常費補助金について（基礎編）
 - ・平成27年度私立大学経常費補助金について（責任者編）
- 2016年度
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・平成28年度私立大学経常費補助金について（基礎編）
 - ・平成28年度私立大学経常費補助金について（責任者編）
 - ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
 - ・専攻医専門制度について
 - ・薬剤師認定認証制度の導入について
- 2017年度
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・大学院制度について
- 2018年度
 - ・入試制度について
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・奨学金制度について
 - ・日本私立医科大学協会教務事務職員研修会報告
 - ・補助金の仕組み（私立大学経常費補助金等）について
- 2019年度
 - ・国公立大学医学部
 - ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・入試制度について
 - ・働き方改革と健康管理等について
 - ・補助金の仕組みについて（私立大学経常費補助金等）
- 2020年度
 - ・開催なし
- 2021年度
 - ・昭和大学独自の奨学金制度について
 - ・学外の奨学金制度について
 - ・機関別認証評価について
 - ・国公立大学医学部

- ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・ICTの活用について【初級編】
- 2022年度
- ・国公立大学医学部
 - ・歯学部教務事務職員研修報告
 - ・総合型選抜入試と入試改革について
 - ・医学部新カリキュラムについて

< 添付資料 >

資料 1 : 昭和大学沿革

資料 2 : 昭和大学学位規則

資料 3 : 大学院入試要項

資料 4 : 学位申請要項

資料 5 : 自己点検・自己評価報告書 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/self-check.html

昭和大学の沿革

昭和大学沿革概要

昭和 3 年	昭和医学専門学校設置認可
昭和 3 年	昭和医学専門学校附属医院開院
昭和 6 年	附属産婆看護婦講習所設置認可
昭和 21 年	昭和医科大学設置認可
昭和 26 年	烏山病院開院
昭和 27 年	昭和医科大学医学科（専門課程）設置
昭和 34 年	大学院医学研究科設置認可
昭和 39 年	昭和大学と改称 薬学部薬学科設置認可 医学部附属高等看護学校設置認可
昭和 40 年	富士吉田校舎開設
昭和 41 年	薬学部生物薬学科設置認可
昭和 44 年	大学院薬学研究科（修士課程）設置認可
昭和 47 年	烏山病院高等看護学校設置認可
昭和 49 年	大学院薬学研究科（博士課程）増設認可
昭和 50 年	藤が丘病院開院 烏山病院高等看護学校第 2 看護学科増設認可
昭和 51 年	烏山高等看護学校第 1・第 2 看護学科設置認可（専修学校に切り替え）
昭和 52 年	歯学部歯学科設置認可
昭和 52 年	歯科病院開院
昭和 53 年	医学部附属看護専門学校設置認可（専修学校に切り替え）
昭和 57 年	豊洲病院開院
昭和 58 年	大学院歯学研究科設置認可
平成 2 年	藤が丘リハビリテーション病院開院
平成 6 年	昭和大学附属烏山看護専門学校と名称変更
平成 8 年	昭和大学医療短期大学設置認可
平成 9 年	昭和大学医療短期大学開学
平成 9 年	昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程及び医療薬学専攻博士課程設置承認 （改組）
平成 11 年	昭和大学病院附属東病院開院
平成 13 年	昭和大学横浜市北部病院開院 昭和大学診療放射線専門学校開校
平成 13 年	保健医療学部設置認可
平成 14 年	保健医療学部開設、附属烏山病院入院棟竣工
平成 17 年	昭和大学医療短期大学閉校 昭和大学附属烏山看護専門学校閉校
平成 18 年	教養部を富士吉田教育部に改組 豊洲クリニック開院

- 平成 18 年 保健医療学部看護学科助産師学校指定
薬学部 6 年制教育開始に伴い薬学科・生物薬学科を薬学科に改組
大学院保健医療学研究科（修士課程）設置認可
- 平成 20 年 創立 80 周年記念式典・祝賀会挙行
「昭和大学 80 年」（記念誌・記念 DVD）刊行
- 平成 21 年 大学機関別認証評価について日本高等教育評価機構より認定を受ける
- 平成 23 年 診療放射線専門学校廃止
大学院薬学研究科博士課程（前期）廃止
大学院薬学研究科博士課程（後期）募集停止
大学院薬学研究科博士課程（4 年制課程）設置届出
大学院保健医療学研究科課程変更認可（保健医療学専攻博士課程（前期・後期））
- 平成 24 年 助産学専攻科 助産師学校指定
- 平成 26 年 昭和大学江東豊洲病院開院
- 平成 27 年 スポーツ運動科学研究所開院
- 平成 28 年 歯科病院内科クリニック
- 令和元年 創立 90 周年記念式典・祝賀会挙行
「昭和大学 80 年」（記念誌・記念 DVD）刊行

大学施設所在地

名 称	所在地	電 話	名 称
医学部・歯学部・薬学部	〒142-8555	東京都品川区旗の台 1-5-8	03 (3784) 8000
保健医療学部	〒226-0025	神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865	045 (985) 6500
富士吉田校舎	〒403-0005	山梨県富士吉田市上吉田 4562	0555 (22) 4403
昭和大学病院	〒142-8666	東京都品川区旗の台 1-5-8	03 (3784) 8000
昭和大学病院附属東病院	〒142-0054	東京都品川区西中延 2-14-19	03 (3784) 8000
昭和大学藤ヶ丘病院	〒227-8501	神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30	045 (971) 1151
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	〒227-8518	神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1	045 (974) 2221
昭和大学横浜市北部病院	〒224-8503	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1	045 (949) 7000
昭和大学江東豊洲病院	〒135-0061	東京都江東区豊洲 5-1-38	03 (6204) 6000
昭和大学附属烏山病院	〒157-8577	東京都世田谷区北烏山 6-11-11	03 (3300) 5231
昭和大学歯科病院	〒145-8515	東京都大田区北千束 2-1-1	03 (3787) 1151
昭和大学医学部附属看護専門学校	〒142-0064	東京都品川区旗の台 1-2-26	03 (3784) 8097
長津田総合運動場	〒226-0025	神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865	045 (981) 1395
昭岳舎	〒403-0065	山梨県富士吉田市上吉田 4562	0555 (23) 8657
大岡山テニスコート	〒145-0062	東京都大田区北千束 1-38-1	
50 年記念館	〒142-0064	東京都品川区旗の台 2-2-15	03 (3784) 8067
自然教育園			

昭和大学学位規則

(目 的)

第1条 この規則は、昭和大学学則（昭和39年4月1日制定）および昭和大学大学院学則（昭和43年4月1日制定）に規定するもののほか、本学が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

(学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は、次のとおりとする。

1 学士

医学部 学士（医学）

歯学部 学士（歯学）

薬学部 学士（薬学）

保健医療学部

看護学科 学士（看護学）

理学療法学科 学士（理学療法学）

作業療法学科 学士（作業療法学）

2 修士

保健医療学研究科博士（前期）課程 保健医療学専攻 修士（保健医療学）

3 博士

医学研究科博士課程 医学専攻 博士（医学）

歯学研究科博士課程 歯学専攻 博士（歯学）

薬学研究科博士課程 薬学専攻 博士（薬学）

保健医療学研究科博士（後期）課程 保健医療学専攻 博士（保健医療学）

(学士学位の授与要件)

第3条 学士の学位は、昭和大学学則の定めるところにより、本学を卒業した者に授与する。

(修士学位の授与要件)

第4条 修士の学位は昭和大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）の定めるところにより、本学大学院の博士（前期）課程を修了した者に授与する。

(課程による博士学位の授与要件)

第5条 博士の学位は、大学院学則の定めるところにより、本学大学院の博士課程又は博士（後期）課程を修了した者に授与する。

(論文による博士学位の授与要件)

第6条 前条に定めるもののほかに、博士の学位は、本学大学院の行う学位論文の審査及び試験に合格し、かつ、本学大学院の博士課程又は博士（後期）課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与する。

(学位論文の提出)

第7条 本規則第4条又は第5条の規定により学位論文の審査を申請する者は、学位に付記する専攻分野の名称を指定し、学位論文に所定の書類を添えて、所属の研究科の長を経て学長に提出する。

2 第6条に規定する者は、当該学部専任教育職員あるいは特別研究生として在籍し、かつ所定の研究履歴がある場合には、学位に付記する専攻分野の名称を指定し、学位論文に所定の書類を添えて、学長に提出する。

3 前項の提出にあたっては、本学の教授又は研究科教授会（以下「教授会」という。）の構成員である准教授の推薦を必要とする。

4 提出する学位論文は自著とし、参考として他の論文を添付することができる。

5 いったん受理した学位論文（参考として添付された論文を含む。）は、返付しない。

（審査手数料）

第8条 学位を請求する者は、審査手数料を納付しなければならない。

2 前項の審査手数料の額は、別に定める。

3 既納の審査手数料は還付しない。

（学位論文の審査）

第9条 学長は、第7条第1項の規定により学位論文の審査の申請を受理したときは、研究科の長を経て教授会に審査を付託する。

2 学長は、第7条第2項の規定により学位請求の申請を受理したときは、学位に付記する専攻分野の名称に応じ、関係の教授会に学位論文の審査を付託する。

（審査委員会）

第10条 前条の規定により学位論文の審査を付託された教授会は、学位論文ごとに本学の専任教員3名以上により構成される審査委員会を設けて審査を行う。

2 前項の審査委員会の委員のうち、修士に係る審査については1名以上を、博士に係る審査については2名以上を教授としなければならない。

3 教授会は、学位論文の審査（最終試験及び試験を含む。）にあたって必要と認めるときは、第1項に定める者のほか、他の大学院、研究所又は高度の水準を有する病院の教員等を審査委員会の委員に委嘱することができる。

4 審査委員会は、審査上必要があるときは、学位論文（参考として添付された論文を含む。）の訳文又は標本等の提出を求めることができる。

（最終試験又は試験等）

第11条 審査委員会は、学位論文の審査が終わった後に、当該論文を中心として、これに関連のある科目について最終試験又は試験を行う。

2 前項の最終試験又は試験の方法は、口頭又は筆答とする。

3 審査委員会は、第6条の規定により学位を請求する者については、専攻学術に関し、本学大学院の博士課程又は博士（後期）課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認するため、口頭又は筆答による試問（外国語を含む。）を行う。

4 本学大学院の博士課程に4年以上在学し、大学院学則第23条第2項に規定する博士課程における所定の単位を修得して退学した者が、本学大学院博士課程入学後10年以内に、第7条第2

項の規定により学位を請求するときは、前項の試問を免除する。

5 本学大学院の博士（後期）課程に3年以上在学し、大学院学則第23条第2項に規定する博士（後期）課程における所定の単位を修得して退学した者が、本学大学院博士（後期）課程入学後8年以内に、第6条の規定により学位を請求するときは、第3項の試問を免除する。

（審査期間）

第12条 審査委員会は、その設置後、修士の学位にあつては3月以内、博士の学位にあつては1年以内に、学位論文の審査並びに最終試験又は試験及び試問を終了しなければならない。ただし、特別の事情があるときは、教授会の議決によりその期間を延長することができる。

（審査委員会の報告）

第13条 審査委員会は、学位論文の審査並びに最終試験又は試験及び試問を終了したときは、速やかにその結果を研究科教授会に報告しなければならない。

（教授会の審議）

第14条 教授会は、前条の報告に基づいて、学位授与の可否について審議する。

2 前項の審議を行うには、教授会構成員の3分の2以上の出席を必要とする。

3 論文の審査内容要旨は、委員の主査が説明する。

4 学位を授与できるものと議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

（学長への報告）

第15条 教授会が、学位を授与できるものと議決したとき（第7条第2項の規定により学位論文の審査を付託された者については、学位を授与できるものと議決されなかったときを含む。）は、研究科の長は、学位論文に学位論文の内容の要旨及び学位論文の審査の要旨並びに最終試験又は試験及び試問の成績を添えて、速やかに学長に報告しなければならない。

2 教授会が、第9条第1項の規定により、学位論文の審査を付託された者について、学位を授与できるものと議決したときは、研究科の長は、前項に定めるもののほか、論文目録及び履歴書を添えて学長に報告しなければならない。

（学位記の授与）

第16条 学長は、前条の報告に基づいて、修士又は博士の学位の授与の可否について認定のうえ、学位を授与すべき者には、当該学位の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨通知する。

2 学長は、第3条の規定により学士の学位を授与すべき者に学士の学位記を授与する。

（学位記の様式）

第17条 学位記の様式は、別紙様式第1から別紙様式第4までのおりとする。

（博士論文要旨等の公表）

第18条 大学は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3か月以内に、その学位論文の内容の要旨及び学位論文の審査の結果の要旨を公表するものとする。

（博士論文の公表）

第19条 博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から1年以内に、学位論文を公表するものとする。ただし、当該学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、

本学の承認を受けて、当該学位論文の全文に代えて、その内容を要約したものを公表することができる。この場合、本学は、その学位論文の全文を、求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 前2項の規定による公表は、本学が指定するインターネットの利用により行うものとする。
(学位の名称の使用)

第20条 学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、昭和大学名を付記するものとする。
(学位授与の取消)

第21条 学位を授与された者が次の各号の一に該当するときは、学長は教授会の議決を経て、学位の授与を取り消し、学位記を返還させ、かつその旨を公表するものとする。

(1) 不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき

(2) その名誉を汚す行為があったとき

2 教授会において前項の議決を行う場合は、研究科教授会構成員(海外渡航中及び休職中の者を除く。)の3分の2以上の出席を必要とし、かつ無記名投票により出席者の4分の3以上の賛成を必要とする。

(その他)

第22条 本規則に定めるもののほか、修士及び博士の学位論文の審査及び試験に関し必要な事項は、各研究科教授会が別に定める。

附 則

1. この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2. この規則の施行に伴い、同日付で「医学研究科学位規則」「歯学研究科学位規則」「薬学研究科学位規則」「保健医療学研究科学位規則」(平成19年1月1日施行)を廃止する。

3. この改正規則は、平成24年4月1日から施行する。

ただし平成23年度以前の薬学研究科入学生には、従前の規則を適用する。

4. 薬学研究科博士後期課程廃止に伴う、特例措置として、同課程における第6条は、同研究科博士課程の最初の学位が授与されるまで適用する。

5. この改正規則は、平成26年4月1日から施行する。

6. この改正規則は、平成27年4月1日から施行する。

7. この規則の改廃は、各学部教授会及び各研究科教授会の審議を経て学部長会の承認を要するものとする。

Graduate School of Showa University

Graduate School of Medicine

Entrance Examination Guidelines
2022・2023

2022 年度秋季 ・ 2023 年度春季

昭和大学大学院 医学研究科(博士課程)

入学試験要項

昭和大学大学院の理念

昭和大学大学院は、医学研究科、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科を擁する医系総合大学院であり、先端的研究を進め、高度な医療を担う人材を育成し、生命科学の進歩と文化の発展に貢献するために設立された。

社会がめまぐるしく変化する中で、医療の高度化や価値観の多様化に伴い、人類の健康・福祉の維持向上のために、より深く包括的な生命真理の探究が求められている。

本大学院は医系総合大学院の特長を活かし、疾病の解明と克服を目的とした先端的かつ独創的な研究を推進し、知の創造に向けて邁進する。さらに、優れた研究・教育・指導能力、高度の専門性、倫理観、温かな人間性を身につけ、高い知性と豊かな感性をもって未知の分野に挑戦する医療人を育成する。このような研究や教育を通じて、国際的視野に立つ、社会に開かれた大学院として、人類の幸福に寄与することを使命とする。

昭和大学大学院アドミッションポリシー

昭和大学大学院は「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成をめざしています。

入学選抜にあたり、私共は次のような多様な学生・社会人を広く求めます。

1. 医療・健康・生命科学の専門知識を深く追究する意欲のある人
2. 常に探究心を持ち、先進的な医療を担う意欲のある人
3. 自らの活動領域を拓げ、医系総合科学を発展させる意欲のある人
4. さまざまな分野の専門家と共に、先端的・独創的な研究を志す人
5. 社会での実践から得た知識と経験を体系化し還元する意欲のある人
6. 国際的視野を持ち、国内外へ向けて広く成果を発信する意欲のある人
7. 真摯に学び、高い倫理性と豊かな人間性を持つ指導者を志す人

入学試験日程一覧

医学研究科

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
秋季 (2022年10月入学)	7月22日(金)～	8月20日(土)	9月8日(木)16時	9月9日(金)～
春季Ⅰ期 (2023年4月入学)	8月5日(金)13時			9月16日(金)13時
春季Ⅱ期 (2023年4月入学)	1月27日(金)～ 2月10日(金)13時	2月25日(土)	3月9日(木)16時	3月10日(金)～ 3月17日(金)13時

個人情報の取り扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は、入学試験に関する業務、統計資料の作成、その他本学の教育・研究、修学支援に必要な場合のみ利用します。

受験上の配慮について

疾病・負傷や身体障害の理由により、受験・修学に際して特別な配慮を希望する者は、出願期間の前までに、下記問合せ先まで必ずご相談ください。

配慮の内容に対して、可能な範囲に限り、当該者の受験上の配慮を行います。

入学試験問合せ先について

平日 8:30～17:00

（土・日・祝日、本学創立記念日11月15日、年末年始12月29日～翌年1月3日を除く）

○医学研究科・歯学研究科・薬学研究科

学事部大学院課（旗の台キャンパス）

〒142-8777 東京都品川区旗の台1-9-14

TEL：03-3784-8793 E-mail：daigakuin@ofc.showa-u.ac.jp

○保健医療学研究科

学事部長津田校舎事務課（横浜キャンパス）

〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865

TEL：045-985-6503 E-mail：nrkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp

医学研究科

Graduate School of Medicine

1 アドミッションポリシー

1. 国内外で活躍する先端的・独創的な生命科学・医学研究者を目指す人
2. 高度な専門知識と技術を持った臨床医を目指す人
3. 病院、公的機関、企業等に在籍しながら研究を行い、博士号取得を目指す人
4. 医学部以外出身者で出身学部の特性を生かした医学研究者を目指す人

2 研究科目(分野)と募集人員

修業年限 4年

募集人員

志願区分	秋季	春季Ⅰ期	春季Ⅱ期
社会人特別選抜(生理系、病理系、社会医学系のみ募集)	若干名	30名	若干名
一般選抜	若干名	30名	若干名

研究科目(分野) ※指導教員及び主な研究内容は別添「指導教員及び研究内容一覧」参照

生理系	解剖学(顕微解剖学分野)、解剖学(肉眼解剖学分野)、 生理学(生体制御学分野)、生理学(生体調節機能学分野)、生化学
病理系	臨床病理診断学、薬理学(医科薬理学分野)、薬理学(臨床薬理学分野)、微生物学免疫学
社会医学系	衛生学公衆衛生学、法医学、医学教育学
内科系	内科学(呼吸器アレルギー内科学分野)、内科学(リウマチ・膠原病内科学分野)、 内科学(糖尿病・代謝・内分泌内科学分野)、内科学(消化器内科学分野)、 内科学(循環器内科学分野)、内科学(腎臓内科学分野)、内科学(血液内科学分野)、 内科学(脳神経内科学分野)、内科学(腫瘍内科学分野)、内科学(緩和医療科学分野)、 内科学(臨床感染症学分野)、リハビリテーション医学、皮膚科学、 小児科学(小児内科学分野)、小児科学(小児循環器内科学分野)、 精神医学、放射線医学(放射線科学分野)、放射線医学(放射線治療学分野)、 総合診療医学
外科系	外科学(心臓血管外科学分野)、外科学(小児心臓血管外科学分野)、 外科学(呼吸器外科学分野)、外科学(消化器一般外科学分野)、外科学(小児外科学分野)、 外科学(乳腺外科学分野)、脳神経外科学、整形外科、形成外科学、産婦人科学、 眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科頭頸部外科学、麻酔科学、集中治療医学、救急・災害医学

※研究科目(分野)の主指導教員と相談し、大学病院以外に附属病院でも研究指導を受けることができます。

次の各号のいずれかに該当する者（抜粋）

- (1) 大学の医学、歯学、薬学(6年制)または獣医学部の課程を卒業した者および卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、薬学（6年制）又は獣医学）を修了した者および修了見込みの者【要下記出願資格認定】
- (3) 文部科学大臣が指定した者で、本学において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者【要下記出願資格認定】
- ① 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者および修了見込みの者
- ② 前期および後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者
- ③ (1)以外の大学の学部の課程を卒業、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、上記（1）と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに24歳に達する者【要下記出願資格認定】

※出願資格の詳細につきましては、別紙（10ページ）をご確認ください。

【社会人特別選抜の出願資格】（研究科目のうち生理系、病理系、社会医学系のみ募集）

- 医療・教育・研究機関、企業等に常勤として勤務している者、または入学時に勤務予定の者
- 原則本学の臨床研修医、または入学時に本学臨床研修医となる予定の者
- 本学の助教、または入学時に本学の助教となる予定の者は出願不可

【一般選抜の出願資格】

- 医療・教育・研究機関、企業等に常勤として勤務していない者、または入学時に退職予定の者
- 内科系、外科系科目は、医師免許取得後2年以上の臨床研修を修了している者
- 臨床研修医（予定者含む）は出願不可

【出願資格認定】

上記の出願資格(1)以外により出願する者は、次の手続きを行ってください

※医学、歯学、薬学部(6年制)または獣医学部の課程を卒業した者および卒業見込みの者は不要

書類受付期間	【秋季・春季Ⅰ期】2022年6月6日(月)～6月16日(木) 【春季Ⅱ期】2022年12月5日(月)～12月15日(木)
提出方法	学事部大学院課 窓口持参もしくは郵送(上記期間内に必着)
必要書類	①入学試験出願資格認定申請書（本学ホームページからダウンロード） ②研究業績目録（本学ホームページからダウンロード） ③研究に関するこれまでの実績と抱負（本学ホームページからダウンロード） ④成績証明書 出身大学(学部)長が発行したもの(本学出身者不要) ⑤卒業(修了)証明書 出身大学(学部・研究科)長が発行したもの(本学出身者不要)

※ 昭和大学ホームページのトップページから「教育」を選択し、
「大学院医学研究科」>「入試情報」をご覧ください。

※出願資格審査の結果は、6月27日(月)または12月26日(月)以降に書面で通知します。

4 出願手続

(1) 出願の事前相談 出願する研究科目の主指導教員と十分相談した上で出願してください。

(2) 入学検定料振込 ※書類提出前に振込を完了してください

入学検定料： 20,000 円

振込先： 三菱 UFJ 銀行 長原支店 (普)4444600

(口座名義) 学校法人昭和大学 理事長 ^{オグチカツジ} 小口 勝司

振込名： 「イーニューシー受験者名」 ※受験者名の前に「イーニュー」を入力

(3) 出願方法

出願期間： 【秋季・春季Ⅰ期】 2022 年 7 月 22 日(金)～8 月 5 日(金) 13 時まで

【春季Ⅱ期】 2023 年 1 月 27 日(金)～2 月 10 日(金) 13 時まで

○持参する場合

受付時間 月曜～金曜 8 時 30 分～17 時 ※土日祝日の窓口受付は行っていません。

○郵送する場合

上記期間内に必着 必ず簡易書留郵便とし、「医学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

◎出願書類提出先

〒142-8777 東京都品川区旗の台 1-9-14 昭和大学学事部大学院課

旗の台キャンパス教育研修棟 1 階 TEL：03-3784-8793

(4) 必要書類

①	入学願書	本学所定のもの (写真 1 枚貼付) ※本学ホームページからダウンロード
②	履歴書	本学所定のもの ※本学ホームページからダウンロード
③	受験票	本学所定のもの (写真 2 枚貼付) ※本学ホームページからダウンロード
④	写真	3 枚 (上記①③に貼付、3 枚とも同じ写真) ※正面上半身、無帽、背景無地、大きさ縦 4.5 cm×横 3.5 cm、 直近 3 ヶ月以内に撮影したもの
⑤	勤務状況確認書	本学所定のもの ※本学ホームページからダウンロード
⑥	卒業 (見込) 証明書	出身大学 (学部) 長が発行したもの ※本学出身者および出願資格認定で提出した者は不要
⑦	成績証明書	出身大学 (学部) 長が発行したもの ※本学出身者および出願資格認定で提出した者は不要
⑧	入学検定料 振込控え	必ず「医学研究科入学検定料・受験者名」を明記 ※ネットバンクの場合はスクリーンショットを印刷
⑨	【臨床研修修了(見込)者のみ】 臨床研修修了(見込)証明書	平成 16 年以降の医師国家試験合格者で、初期臨床研修を修了(見込)している者は提出する (コピーでも可) ※本学附属病院で研修している者は不要

⑩	【郵送の場合のみ】 受験票返信用封筒	84 円切手を貼付し、宛先を明記した封筒(長型 3 号)を同封
---	-----------------------	---------------------------------

(5) 外国語(英語)試験免除について

以下のいずれかの資格を有する者は、入学試験の外国語(英語)試験を免除します。該当者は、出願時にスコア(級)の証明書(コピー不可)を提出してください。

資格 TOEIC*: 800 点以上、TOEFL-iBT: 100 点以上、
IELTS: アカデミックモジュール 7.0 点以上、実用英語技能検定: 1 級
※TOEIC-IP テスト(団体受験)は認める。オンライン受験は認めない。

※出願手続終了後の書類の訂正、変更、検定料の払い戻し、提出書類の返却などには一切応じません。

5 試験

(1) 科目

- ①外国語(英語) ※(電子)辞書持込可。通信機能のあるもの(スマートフォン等)は不可
- ②志望専門科目(口頭試問)

(2) 試験日程・場所

【秋季・春季Ⅰ期】2022年8月20日(土) 集合時間 8時40分

【春季Ⅱ期】 2023年2月25日(土) 集合時間 8時40分

試験科目	試験時間	試験場
外国語(英語)	9時~12時	昭和大学旗の台キャンパス4号館
志望専門科目	13時~※	主指導教員の指定場所※

※各自事前に志望専攻科目の主指導教員と連絡を取り、時間・場所等を確認してください。

(3) 注意事項

- 受験の際は受験票を携帯してください。
- 受験日までに受験票が未着の場合は、学事部大学院課にお問合せください。
- 外国語試験開始後1時間以上遅刻した場合は原則受験を許可しません。

6 合格者発表

【秋季・春季Ⅰ期】2022年9月8日(木) 16時

【春季Ⅱ期】 2023年3月9日(木) 16時

昭和大学ホームページに掲載します。

7 入学手続

- 合格者には、合格証および入学手続書類を郵送(特定記録郵便)します。
- 合格証および入学手続書類が9月13日(火)または、3月14日(火)までに届かない場合は連絡してください。

(1) 手続期間

【秋季・春季Ⅰ期】2022年9月9日(金)～9月16日(金)13時まで

【春季Ⅱ期】2023年3月10日(金)～3月17日(金)13時まで

上記の手続期間内に入学時学費を全納のうえ、書類手続きを完了してください。

期日までに手続きが完了しない者は、入学の意思がないものとみなします。

○窓口での書類手続き 月曜～金曜 8時30分～17時

※土・日・祝日の窓口受付は行っておりません。

○郵送での書類手続き 上記期間内に必着。必ず簡易書留郵便とし、「医学研究科入学手続書類在中」と朱書きしてください。

(2) 手続書類

①誓約書 ②在学保証書 ③コンピュータ登録カード ④学費振込控え(コピー可)

⑤写真1枚 縦4.5cm×横3.5cm(コンピュータ登録カードに貼付) ⑥学生調査票

(3) 入学辞退

入学を辞退する場合は、下記の期日までに学事部大学院課へ連絡してください。期日までに連絡があった場合、入学金を除く入学時学費を返金いたします。

【秋季】2022年9月30日(金)17時まで

【春季Ⅰ期・Ⅱ期】2023年3月31日(金)17時まで

8 学費

(単位：円)

		入学金	施設費	授業料		実習費		合計 (年間)	うち入学時
				前期	後期	前期	後期		
1年次学費	本学出身者	100,000	—	200,000	200,000	50,000	50,000	600,000	350,000
	他学出身者	100,000	300,000	200,000	200,000	50,000	50,000	900,000	650,000
2～4年次学費		—	—	200,000	200,000	50,000	50,000	500,000	—

※入学時に入学金、施設費および授業料、実習費の半期分の学費を請求します。

※半期毎(4月、9月)に授業料、実習費の半期分(授業料20万円、実習費5万円)の学費を請求します。

※原則として、所定の期日までに休学の承認を受けた休学者については、授業料および実習費を徴収せず、休学在籍料として半期毎に6万円請求します。ただし、本学が認める専門臨床研修プログラムに専念する際の休学時の休学在籍料については、全額免除します。

※原則として、入学と同時に休学する場合は、納付された入学手続時学費の返金は一切行いません。

※学費の請求方法については変更になる場合があります。

※修了延期者の学費は2年を限度として免除します。

9 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

(2) 学校法人昭和大学奨学金

(3) 昭和大学大学院奨学金

●医学研究科に在籍する外国籍の学生のうち、他の奨学金給付を受けておらず、日本に生活基盤を有し

ない者は、学費相当額を給付します。

- 本学特別奨学金の給付を受け、その要件に従い、医学研究科に進学した者は、授業料相当額を給付します。
- 授業料を一旦全納していただいたあと、指定口座に振り込みます。

※詳細は学事部学生課にお問い合わせください。TEL 03-3784-8024

10 修了要件・学位授与

4年次終了までに所定の単位（注1）を修得し、学位を取得した者を修了とします。

学位は、学内で論文発表後に学位論文を提出し、その審査、最終試験に合格した者に授与されます。

なお、所定の単位を修得できなかった者、学位を取得できなかった者は修了延期となります。

注1：合計30単位以上

- 共通科目 7単位 : 1～2年次で履修（原則）

※共通科目は、研究の為の基本的な知識、手技を修得することを目的としています。

- 専攻科目 23単位以上 : 1～4年次で履修

- APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN） 所定の単位

※修了要件単位は変更になる場合があります。

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学の医学、歯学、薬学(6年制)または獣医学部の課程を卒業した者および卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程(最終課程は医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学)を修了した者および修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終課程は医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学)を修了した者および修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校^{*1}において、修業年限が5年以上である課程を修了すること^{*2}により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2023年3月31日までに授与される見込みの者
 - *1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
 - *2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (6) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部において医学および歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - ② 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者
 - ③ 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者(修了見込みの者を含む)および修士の学位の授与を受けることのできる者で、本大学院において、大学の医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ④ 前期および後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本大学院において、大学の医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ⑤ (1)以外の大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学、薬学(6年制)又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学までに24歳に達する者

昭和大学大学院医学研究科学位申請要項

＜資格＞

甲：本学大学院医学研究科において所定の単位を修得し、かつ、研究倫理教育 APRIN e ラーニングの所定の単元を全て修了した者。

乙：医学研究科が実施する外国語試験(英語)に合格し、研究倫理教育 APRIN e ラーニングの所定の単元を全て修了した者で、本学専任教育職員又は医学研究科特別研究生として2年以上在籍し、かつ、次の各号の何れかに該当する者。研究歴は所定の算定基準によって算定し、研究科教授会が認定します。

- (1) 6年制大学を卒業して、本学の特別研究生または教育職員となり、医学部、歯学部、薬学部基礎系及び保健医療学部で5年以上、医学部、歯学部、薬学部臨床系で6年以上研究に従事した者。ただし、研究履歴については別表(1)により加算することができる。
- (2) 6年制大学以外を卒業して、本学の特別研究生または教育職員となり、医学部、歯学部、薬学部基礎系及び保健医療学部で7年以上、医学部、歯学部、薬学部臨床系で8年以上研究に従事した者。ただし、研究履歴については別表(1)により加算することができる。
- (3) 上記(1)(2)に限らず当該研究科長が推薦し、当該研究科教授会の審査を経て学長が認める者。

別表(1) 研究履歴加算基準

	身 分	加算率	備 考
本 学	大学院修了者	100%	途中退学した場合についても、その在学していた期間を認める
	技術職・医療職員	50%	
	臨床研修医	0%	ただし、平成 15 年度以前に採用された医師臨床研修医、平成 25 年度～平成 29 年度に採用された内科研修医および平成 17 年度以前に採用された歯科医師臨床研修医は 100%認める
	当該研究科以外の特別研究生	100%	
他 ・ 大 研 学 機 関	教育職員	50%	学位を申請しようとする研究分野の教育職員の在職期間のみ認める
	大学院修了者	50%	医学・歯学・薬学及び医学・歯学・薬学以外の健康科学分野のみ認める
	研究生・研究職員	50%	学位を申請しようとする研究分野の在籍期間のみ認める
	臨床研修医	0%	ただし、平成 15 年度以前に採用された医師臨床研修医および平成 17 年度以前に採用された歯科医師臨床研修医の在職期間は 50%認める

※ 研究機関とは、大学または大学附属の研究機関、国公立研究所とする。これ以外の機関については、その都度当該研究科教授会の審議を経て学長の承認を得るものとする。

注意：乙号の研究歴について、平成 29 年 3 月 31 日以前に採用された研究生は、「医学研究科論文による学位申請者の資格に関する申合せ」を適用する。

(1)-1 医学研究科における学位論文（主論文）の審査を申請するための論文の基準

1. 学位論文（主論文）は、原則として原著論文（Original article）であることとし、学術雑誌に掲載済または掲載予定であること。なお、システマティックレビュー・メタ解析の論文を学位論文（主論文）として審査を申請する場合、当該論文が直近のインパクトファクターが5以上の学術雑誌に掲載済または掲載予定であること。
2. 学位申請者は、学位論文（主論文）の筆頭著者であること。なお、学位申請者が筆頭著者でない論文を学位論文（主論文）として審査を申請する場合の基準については、別に定める。
3. 当該論文は、他の共著者の学位論文（主論文）でなく、学位論文（主論文）の審査の申請中でもないこと。
4. 学位論文（主論文）の研究は、昭和大学で実施された研究、もしくは昭和大学と共同・協力して実施された研究であること。
5. 学位論文（主論文）の学位申請者の所属に、昭和大学が記載されていること。
6. 学位論文（主論文）の共著者に、昭和大学の教育職員である研究指導教員が含まれていること。
7. 上記のいずれかの条件を満たさない場合は、当該論文を学位論文（主論文）として審査を申請することの妥当性を医学研究科運営委員会で検討する。

(1)-2 筆頭著者でない論文を学位論文（主論文）として審査を申請する場合の基準

1. 学位論文（主論文）は原著論文（Original article）であり、直近のインパクトファクターが3以上の学術雑誌に掲載済または掲載予定であること。
2. 当該論文の論文別刷り（reprint）または校正刷り（preprint、galley proof）において、学位申請者が筆頭著者と同等の貢献をしたことが「These authors contributed equally to this article.」等の表現で明記されていること。
3. 当該論文は、他の共著者の学位論文（主論文）でなく、学位論文（主論文）の審査の申請中でもないこと。
4. 学位論文（主論文）の研究は、昭和大学で実施された研究、もしくは昭和大学と共同・協力して実施された研究であること。
5. 学位論文（主論文）の学位申請者の所属に、昭和大学が記載されていること。
6. 学位論文（主論文）の共著者に、昭和大学の教育職員である研究指導教員が含まれていること。

(2) 参考として添付される論文（参考論文）の基準

1. 参考として添付される論文（参考論文）は、原則として原著論文であること。なお、総説、システマティックレビュー・メタ解析、テクニカルノート、レタートゥエディター、症例報告の各論文は、参考として添付される論文（参考論文）に含めることができる。いずれであっても、参考として添付される論文（参考論文）は、学術雑誌に掲載済または掲載予定であること。
2. 学位申請者は、参考として添付される論文（参考論文）の筆頭著者、もしくは共著者であること。

<論文の公開について>

学位申請者は、学位申請（論文受付）時まで、昭和大学学士会学術集会で論文発表し公開してください。開催時期等の詳細については、昭和大学学士会にお問い合わせください。

（昭和大学学士会：03-3784-8074）

<学位授与までの流れ>



1. 甲:単位修得・研究倫理教育(eラーニング)修了、乙:外国語試験合格・研究倫理教育(eラーニング)修了

甲は単位を全て修得し、かつ、研究倫理教育 APRIN eラーニングの所定の単元を全て修了した者、乙は医学研究科教授会が実施する外国語試験に合格し、かつ、研究倫理教育 APRIN eラーニングの所定の単元（2021年度以前は6単元、2022年度以降は7単元）を全て修了した者が学位を申請することができます。

外国語試験は、原則として毎年度2月および8月に英語について行います（医学研究科入学試験と同時実施）。ただし、下記のいずれかの資格を有する者は、外国語試験（英語）を免除します。

TOEIC：800点以上（TOEIC-IPテスト（団体試験）は認める。オンライン受験は認めない。）

TOEFL-iBT：100点以上

IELTS（アカデミックモジュール）：7.0点以上

実用英語技能検定：1級

※該当者は学位申請時にスコア（級）のコピーを提出すること。

2. 履歴書・論文目録・論文の内容の要旨・論文要約の下書き提出

履歴書と論文目録、論文の内容の要旨、論文要約は不備が多いので、申請前に下書きを学事部大学院課に提出してください。

（メール可：daigakuin@ofc.showa-u.ac.jp）

※確認、返信に時間がかかる場合がありますので、余裕をもってご提出ください。

3. 学位論文審査料納入

学位論文審査料については、以下の方法により納入してください。学位論文審査料の入金が確認できない場合は、申請書類の受付ができませんのでご注意ください。

1) 銀行振込

振込は申請書類を提出する1週間前～申請当日の間にお振り込みください。

なお、ネットでのお振り込みの場合は、申請日前日までに下記口座に入金されるようにお振り込みください。

金額：甲—100,000円 乙—300,000円

振込先：三菱UFJ銀行 わかたけ支店 普通預金 口座番号2497261

（学）昭和大学 理事長 小口勝司（オグチ カツジ）

振込名：「イーガクイシンサー申請者氏名」

※申請書類提出時に、審査料納入書及び振込領収書をご提出ください。

2) 現金

旗の台キャンパス1号館1階財務部法人経理課で納入してください。

納入の際は審査料納入書・領収書に氏名、金額を記入し、財務部経理課で領収印を受けてください。

財務部経理課取扱時間：平日8:30～17:00

※申請書類提出時に、審査料納入書<学事部大学院課控え>を提出してください。

3. 申請(論文受付)

必要書類を全て揃えて学事部大学院課(教育研修棟1階事務室)へ提出してください。

4. 資格審査(乙のみ)

主査・副査によって、大学院課程修了者と同等以上の学識を有することを確認します。
終了後、必要書類を学事部大学院課へ提出してください。(論文審査と同時でも可)

5. 論文審査

論文受付が医学研究科教授会承認を得た後、主査・副査によって、学位論文の試験・審査を行います。

終了後、必要書類・データを学事部大学院課へ提出してください。

6. 学位授与

甲：春季または秋季修了式

乙：論文審査が承認された次の研究科教授会

※詳細な日時・集合場所については、学事部大学院課から連絡をします

<書類・データの提出について>

1. 提出先：学事部大学院課（旗の台キャンパス教育研修棟1階事務室）
2. 提出期限：研究科教授会（原則として、毎月第4木曜日※8月休会）の前週金曜日
3. 提出書類・データ一覧（書類は全てA4サイズ、普通紙で片面印刷）

時期	提出書類	書類形式	部数		チェック欄
			甲	乙	
申請 (論文受付)	①学位申請書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	②履歴書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	③論文目録	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	④主論文 *1	別刷り	4	4	<input type="checkbox"/>
	⑤参考論文 *1	別刷り	4	4	<input type="checkbox"/>
	⑥論文の内容の要旨	所定様式	4	4	<input type="checkbox"/>
	⑦論文要約	所定様式	4	4	<input type="checkbox"/>
	⑧掲載予定証明書（未刊行の場合のみ）	様式指定なし	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑨昭和大学 学位論文(博士)同意書*2	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑩学位授与報告書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑪外国語試験合格証のコピー(乙のみ)	医学研究科発行	-	1	<input type="checkbox"/>
	⑫審査料納入書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑬学位論文演題発表証明書 *3	学士会発行	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑭学位申請論文名について (論文名に変更があった場合のみ)	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑮研究倫理教育 APRIN eラーニング修了証	システムからダウンロードすること	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑯学位論文におけるオーサーシップ報告書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
論文審査終了後 資格審査	⑰資格審査結果報告書(乙のみ)	所定様式	-	1	<input type="checkbox"/>
	⑱学位論文審査報告書	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑲論文審査の結果の要旨(主査が記載)	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	⑳最終試験の結果の要旨(主査が記載)	所定様式	1	1	<input type="checkbox"/>
	㉑昭和大学大学院 学位論文(博士)審査評価票（主査、副査が記載）*4	所定様式	3	3	<input type="checkbox"/>
	㉒論文の内容の要旨、論文要約 (上記⑥、⑦) Wordデータ	CD-R*5	1	1	<input type="checkbox"/>
	㉓論文審査の結果の要旨 (上記⑲) Wordデータ		1	1	<input type="checkbox"/>
㉔論文全文PDFデータ	1		1	<input type="checkbox"/>	

- *1 主論文・参考論文は両面印刷可とします。
- *2 論文共著同意書と論文全文公表許諾同意書を兼ねています。
- *3 学位申請（論文受付）時までには発表してください。
- *4 申請者は、学位審査を受ける際必ず持参すること。
- *5 各データは、1枚のCD-Rに保存してください。その際、最新版のデータを保存してください。

4. 提出方法

申請（論文受付）で提出する書類は、以下の4種類に分け、下記のように標記した角2封筒(A4サイズの普通紙が折らずに入る大きさ)に入れ、糊付けせずに提出してください。

封筒①【主査】

甲	乙		学
主	申	○	位
査	請	○	申
	者	○	請
○	氏	○	論
○	名	○	文
教			
授			

封筒②【副査】

甲	乙		学
副	申	○	位
査	請	○	申
	者	○	請
○	氏	○	論
○	名	○	文
教			
授			

封筒③【副査】

甲	乙		学
副	申	○	位
査	請	○	申
	者	○	請
○	氏	○	論
○	名	○	文
教			
授			

封筒④【文科省】

甲	乙		学
	申	○	位
	請	○	申
文	者	○	請
部	氏	○	論
科	名	○	文
学			
省			

論文の内容の要旨 1
論文要約 1
主論文 1
参考論文 2
オーサーシップ報告書(コピー) 1

論文の内容の要旨 1
論文要約 1
主論文 1
参考論文 2
オーサーシップ報告書(コピー) 1

論文の内容の要旨 1
論文要約 1
主論文 1
参考論文 2
オーサーシップ報告書(コピー) 1

その他論文受付時
提出書類すべて

主論文・参考論文は、それぞれの論文毎にホチキス留めすること。

5. 申請書類の入手方法

所定様式については本学ホームページからダウンロードできます。

- 1) 昭和大学ホームページ (<https://www.showa-u.ac.jp/>) にアクセス
- 2) 「教育」 → 「医学研究科」 → 「学位申請について」をクリック
- 3) 「手続書類」で『データ一括ダウンロード(甲または乙)』をクリック
※該当フォーマットを個別でダウンロードすることもできます。

<書類作成の注意点> ※番号は「提出書類・データ一覧」に対応しています。

① 学位申請書

専攻名は下記のいずれかで記入してください。 例：〇〇系〇〇学（〇〇学分野）専攻
乙で申請する方で、所属が附属病院の場合は、（）付きで後ろに病院名も記入してください。
例：〇〇系〇〇学（〇〇分野）専攻（〇〇病院）

生理系	解剖学（顕微解剖学分野）・解剖学（肉眼解剖学分野）・生理学（生体制御学分野）・生理学（生体調節機能学分野）・生化学
病理系	臨床病理診断学・薬理学（医科薬理学分野）・薬理学（臨床薬理学分野）・微生物学免疫学
社会医学系	衛生学公衆衛生学・法医学・医学教育学
内科系	内科学（呼吸器アレルギー内科学分野）・内科学（リウマチ・膠原病内科学分野）・内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）・内科学（消化器内科学分野）・内科学（循環器内科学分野）・内科学（腎臓内科学分野）・内科学（血液内科学分野）・内科学（脳神経内科学分野）・内科学（腫瘍内科学分野）・内科学（緩和医療学分野）・内科学（臨床感染症学分野）・精神医学・小児科学（小児内科学分野）・小児科学（小児循環器内科学分野）・放射線医学（放射線科学分野）・放射線医学（放射線治療学分野）・皮膚科学・リハビリテーション医学・総合診療医学
外科系	外科学（心臓血管外科学分野）・外科学（小児心臓血管外科学分野）・外科学（呼吸器外科学分野）・外科学（消化器・一般外科学分野）・外科学（小児外科学分野）・外科学（乳腺外科学分野）・脳神経外科学・整形外科学・形成外科学・泌尿器科学・耳鼻咽喉科頭頸部外科学・眼科学・産婦人科学・麻酔科学・集中治療医学・救急・災害医学

② 履歴書（見本1参照） ※下書きを作成し、申請前に学事部大学院課にご提出ください

大学卒業以降を記入してください。

- ・ 研究歴： 昭和大学における履歴を記入。
- ・ 職歴： 昭和大学以外の職歴を記入。

※甲は研究歴に大学院入学、科目変更、修了見込を記入し、在学中の職歴は記入しない。

※平成16年度以降の臨床研修医歴は記入しない。

※学外臨床研修歴は職歴に記入しない。

※氏名は学位記に記載するため、略字等使用せず正確に記入してください。（外字、旧字等に注意）。

③ 論文目録（見本2参照） ※下書きを作成し、申請前に学事部大学院係にご提出ください

- ・ 主論文： 題名、著者名、掲載雑誌名、〇巻、〇号、〇頁、掲載年、掲載 or 掲載予定
- ・ 参考論文： 題名、著者名、掲載雑誌名、〇巻、〇号、〇頁、掲載年、掲載 or 掲載予定

※論文題名が英文の場合には、題名と著者名(共著者含む)に和訳を付してください。

※未刊行論文の場合は、掲載予定として下さい（※掲載予定証明書が必要）。

※掲載予定で、ページが不明な場合は省略可能です。

④⑤ 主論文・参考論文

刊行済の場合：別刷りを主論文・参考論文ともに4部（主査・副査用各1部、文科省用1部）各封筒に入れて提出してください。

未刊行の場合：論文の原稿を主論文、参考論文ともに4部（主査・副査用各1部、学事部用1部）各封筒に入れて提出してください。

⑥ 論文の内容の要旨（見本3参照）

600字以内で、A4サイズで両面印刷してください。

用紙サイズ	A4	余白	上35mm、下30mm、左30mm、右30mm
フォント	MS明朝体	文字サイズ	13pt

⑦ 論文要約（見本4参照）

学位論文の全文がリポジトリに公表できない場合はこの要約が公表されます。

1600～1800字(参考文献を除く)以内で、A4サイズで両面印刷してください。

用紙サイズ	A4	余白	上35mm、下30mm、左30mm、右30mm
フォント	MS明朝体	文字サイズ	13pt

※著作権に抵触しないよう注意してください。

※倫理審査委員会、動物実験委員会の承認を得ている場合は必ず承認番号を記載してください。

⑨ 同意書

- ・主論文について記載してください。参考論文の共著者の同意は不要です。
- ・題名が英文の場合は和訳を付してください。
- ・共著の場合、必ず全員の署名が必要です。
- ・必要に応じて、複数枚になっても構いません。
- ・この同意書は、論文共著同意書と国立国会図書館および本学リポジトリに全文公表の許諾同意書を兼ねています。なお、文部科学省および本学の学位規則では、やむを得ない事由がある場合以外、学位授与後1年以内に博士論文の全文をインターネットで公表することになっていません。

⑩ 学位授与報告書

記入項目：氏名、ふりがな、性別、生年月日、現住所、学歴、博士論文名、
公表(予定)年月日(分かる範囲で記入)、公表内容、出版物の種類及び名称

⑪ 外国語試験合格証のコピーまたは外国語試験免除試験のスコア(級)のコピー(乙のみ)

外国語試験に合格した際に医学研究科が発行した合格証のコピーを提出してください。

紛失した場合は、学事部で「外国語試験合格証明書」の発行手続きをしてください。

下記のいずれかの資格を有する者は、外国語試験(英語)を免除しますので、スコア(級)のコピーを提出してください。

TOEIC：800点以上 (TOEIC-IPテスト(団体試験)は認める。オンライン受験は認めない。)

TOEFL-iBT : 100 点以上
IELTS (アカデミックモジュール) : 7.0 点以上
実用英語技能検定 : 1 級

⑫ 審査料納入書

- ・納入方法、金額にチェックしてください。
- ・財務部窓口で現金で納入する場合は、<本人控え>と<財務部控え>に氏名と金額を記載してください。
- ・銀行振込の場合は、振込領収書を添付してください。(ネットバンキングの場合は、振込み完了が確認できる画面等をプリントアウトしたもの)

⑬ 学位論文演題発表証明書

学士会が発行する証明書を提出してください。
※学士会での演題発表や証明書の発行については、学士会事務局にお問い合わせください。
TEL : 03-3784-8074

⑭ 学位申請論文名について

学士会での演題発表時と論文名に変更があった場合に提出してください。
日本語、英語表記の違いでも提出が必要です。

⑯ 学位論文におけるオーサーシップ報告書

- ・主論文の著者、共著者が貢献した項目全てに○をつけてください。(参考論文は不要)
- ・著者、共著者の署名は全て本人の直筆とします。
- ・必要に応じて複数枚になっても構いません。その場合は、全ての報告書に学位申請者および主指導教員が署名してください。
- ・原本は文科省用封筒に入れ、コピーを1部ずつ主査・副査の封筒に入れて提出してください。

⑰ 論文審査の結果の要旨 (申請者または、主指導教員が案を作成し、主査が加筆の上完成する)

論文審査の要旨を付して、500字以内にまとめ記述してください。

「本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。」
という末尾で締めくくってください。

※「目的」、「方法」、「結果」、「考察」といった、内容を分ける書き方はしないで下さい。

⑱ 最終試験の結果の要旨

(申請者または、主指導教員が案を作成し、主査が加筆の上完成する)

- ・(甲)「主論文の内容に関する質問にいずれも満足すべき回答が得られ、試験担当者一同合格と判定した」旨、質問内容を付して記述してください。
- ・(乙)「専門科目について試問し、大学院修了者と同等以上の学識を有するものと認めた。」、および「主論文の内容に対する質問にいずれも満足すべき回答が得られ、試験担当者一同合格と判定した。」旨、質問内容を付して記述してください。

㉑ 昭和大学大学院 学位論文(博士) 審査評価票(主査と副査がそれぞれ記載)

- ・申請者は、学位審査を受ける際に必ず持参し、主査、副査に渡してください。
 - ・主査・副査は、評価表の1～5の項目について「諾・否」に○をつけ、判定結果「合格・不合格」を記載し、その他審査書類と同様に学事部大学院課に提出してください。
- ※合格のためには、評価項目の全てが「諾」である必要があります。

㉒ 論文の内容の要旨、論文要約 Word データ

論文の内容の要旨(上記⑥)と論文要約(上記⑦)の Word データを CD-R に保存して提出してください。

㉓ 論文審査の結果の要旨 Word データ

主査教授が記載した論文審査の要旨(上記⑱)の Word データを CD-R に保存して提出してください。

㉔ 論文全文 PDF データ

論文全文の PDF データを CD-R に保存して提出してください。

著者版(頁や出版社のロゴが入っていないもの)を提出する場合、画像や表があれば必ず添えてください。その場合、本文・画像・表は一つの PDF データにして保存してください。上記㉒～㉔のデータを、1枚の CD-R に保存して提出してください。

CD-R には、油性マジックで申請者氏名、医学研究科、専攻名を記載してください。

<お問い合わせ>

学事部大学院課 (旗の台キャンパス教育研修棟 1階事務室) (平日 8:30～17:00)

TEL: 03-3784-8793 FAX: 03-3784-8254

MAIL: daigakuin@ofc.showa-u.ac.jp

学生の確保の見通し等を記載した書類 (医学研究科)

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

本学においては、医学部在籍時から、研究マインドの醸成のために、大学院の科目履修生(大学院マルチドクタープログラム医学研究科コース)として、大学院教育を早期から積極的に履修するよう指導しており、履修者数が増加している。また、学部からの大学院まで一貫した、奨学金制度の整備により、大学院進学希望者が増加しており、今後もこの制度が継続する計画である。

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

直近の志願数は2017年度78名、2018年度45名、2019年度57名、2020年度50名、2021年度57名、2022年度49名と定員60名のところ過去6年間の平均で志願者が56名、入学者が54.2名であり、今後同程度の定員は確保ができる見込みである。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

「①学生確保の見通し ア. 定員充足の見込み」に記載のとおり、本学においては、医学部在籍時から、大学院の科目履修を行うことができる制度(マルチドクタープログラム)がある。学部在籍の第4学年より履修可能であることを、学部の年度始まりのオリエンテーションや説明会を開催して説明している。また、本学は学部入学時より学費免除や給付型の奨学金制度が充実しており、大学院においても授業料相当分の奨学金が給付される制度がある。

学外を含む学部既卒者及び卒業予定者に対しては、大学院進学説明会を実施しており、大学院進学後のキャリア等交えながら、臨床研修や専門臨床研修と並行しての修学方法等説明している。

以上の取組を更に内容等充実しつつ今後も継続することから、現行程度の学生確保は十分可能と予想する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的

「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成を目的としている。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

昭和大学(以下、本学という。)は、昭和3(1928)年、学祖上條秀介博士が、学問・研究に偏重し、実際の医療と遊離していた当時の医学教育に疑問を抱き、人々の求めに本当に役立つ、人間性豊かで優れた臨床医を養成することを世に訴え、本学医学部の前身となる昭和医学専門学校を創立した。その際、上條博士は常に相手の立場にたって真心を尽くすという精神が、優れた臨床医に必要であるとの考えを示し、本学ではその考えを「至誠一貫」という建学の精神として現在に至るまで脈々と受け継いでいる。

価値観が多様化し、社会構造の変化が地球規模で進む現代では、人々の医療に対する要求は多様か

つ高度になり、医療のあり方もそれぞれの専門領域で深化するとともに分化してきた。その一方で、多種の医療専門職が互いに連携して克服すべき課題も生じ、専門領域の新たな統合も模索されてきている。

このような時代の要請に対して、本学は医系総合大学という特徴を活かして、専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造を目指すにふさわしく、またその達成が可能であると自ら信ずるものである。建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神をこれまでも増して体現し、真心を持って国民一人ひとりの健康を守るために孜孜として尽力することが本学の使命である。そのために、私学の本領を発揮しつつ、一般教育並びに医学、歯学、薬学、看護学、理学療法学、作業療法学に関する最高最新の学術を授け、併せてその奥義を極めることを本学の目的としている。

昭和大学大学院医学研究科においては、「至誠一貫」の精神をもとに、より高度な医療や研究に邁進し、人類の幸福に貢献する人材の育成を目的としている。

本学の大学院は医学研究科、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科の4研究科を有しており、各研究科が密に連携し、ライフサイエンスのさまざまな領域の研究に取り組んでいる。本大学院医学研究科は昭和34年4月開設から多くの博士（医学）を輩出し、国内・海外において多く活躍している。

資料 1

医学研究科直近の志願者・入学者数

	2022 年度		2021 年度		2020 年度		2019 年度		2018 年度		2017 年度	
	志願	入学	志願	入学	志願	入学	志願	入学	志願	入学	志願	入学
春季Ⅰ	14	14	50	49	39	39	52	52	37	36	54	50
春季Ⅱ	25	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋季	10	10	7	7	11	8	5	4	8	8	24	24
計	49	48	57	56	50	47	57	56	45	44	78	74

< 春季入試について >

※2021 年度までは春季Ⅰ期入試のみ実施(春季Ⅱ期末実施)

※2022 年度から春季Ⅰ期・春季Ⅱ期実施

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ヒサミ タカシ 久光 正 ＜令和元年7月＞		博士 (医学)		昭和大学学長 (令和元年7月～令和7年3月)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授 (学部長)	コカセ アカツキ 小風 暁 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 衛生学公衆衛生学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
2	専	教授 (研究科長)	イズミサキ マサヒコ 泉崎 雅彦 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※ 研究倫理・教育・AI 生体調節機能学	1.2通 1.2通 1~4通	1.6 0.1 23	8 1 1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
3	専	教授	ホンダ カズホ 本田 一穂 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の組織構造解析法 顕微解剖学※ 顕微解剖学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令2.08)	5日
4	専	教授	オオツカ ナルト 大塚 成人 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の組織構造解析法 肉眼解剖学※ 肉眼解剖学	1.2通 1~4通	3.2 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
5	専	教授	スナガワ マサタカ 砂川 正隆 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※ 生体制御学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
6	専	教授	ミヤサキ アキラ 宮崎 章 (令和5年4月)		博士(医学)		生体内の物質分析法 生化学※ 生化学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
7	専	教授	ヤモチ トシコ 矢持 淑子 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	1.2 23	6 1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
8	専	教授	ネモト テツオ 根本 哲生 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.02)	5日
9	専	教授	キウチ ユウジ 木内 祐二 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 研究倫理・教育・AI※ 4大学院がんチーム医療 医科薬理学	1.2通 1.2通 1.2通 1~4通	0.8 0.1 1 23	8 1 1 1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
10	専	教授	ウチダ ナオキ 内田 直樹 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※ 臨床薬理学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
11	専	教授	マツヤマ タカアキ 松山 高明 (令和5年4月)		博士(医学)		生体内の物質分析法 法医学※ 法医学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (平30.04)	5日
12	専	教授	イヨダ マサユキ 伊與田 雅之 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 微生物学免疫学※ 微生物学免疫学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
13	専	教授	オガタ ヒロアキ 緒方 浩顕 (令和5年4月)		博士(医学)		医学教育学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
14	専	教授	イズミ ミキ 泉 美貴 (令和5年4月)		博士(医学)		研究倫理・教育・AI 医学教育学	1.2通 1~4通	0.1 23	1 1	昭和大学 医学部 教授 (平30.10)	5日
15	専	教授	サガラ ヒロリ 相良 博典 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.04)	5日
16	専	教授	ナガサカ ショウイチロウ 長坂 昌一郎 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.07)	5日
17	専	教授	ヤマギシ ショウイチ 山岸 昌一 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.07)	5日
18	専	教授	ヨシダ ヒトシ 吉田 仁 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.07)	5日
19	専	教授	スズキ ヒロシ 鈴木 洋 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.09)	5日
20	専	教授	タンノ カオル 丹野 郁 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
21	専	教授	オチアイ マサヒコ 落合 正彦 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
22	専	教授	シンケトシロウ 新家 俊郎 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.03)	5日
23	専	教授	ホンダ ヒロカズ 本田 浩一 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.06)	5日
24	専	教授	コイワ フミヒコ 小岩 文彦 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.12)	5日
25	専	教授	サカシタ アキコ 坂下 暁子 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.12)	5日
26	専	教授	ハツリ リミチ 服部 憲路 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
27	専	教授	ムラガヒ デイトモ 村上 秀友 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
28	専	教授	ツノダ タクヤ 角田 卓也 (令和5年4月)		博士(医学)		4大学院がんチーム医療 腫瘍内科学	1.2通 1~4通	1 23	1 1	昭和大学 医学部 教授 (令3.05)	5日
29	専	教授	イチカワ ワタル 市川 度 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
30	専	教授	オキヤマ ヒロシ 奥山 浩 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.01)	5日
31	専	教授	ヤマグチ ヒロキ 山口 裕己 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
32	専	教授	アオキ アツシ 青木 淳 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.02)	5日
33	専	教授	キタミ アキヒコ 北見 明彦 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.02)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
34	専	教授	タケヒデフミ 武井 秀史 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
35	専	教授	アオキ タケシ 青木 武士 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
36	専	教授	イシダ フミオ 石田 文生 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.12)	5日
37	専	教授	タナカ ケンヤ 田中 邦哉 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
38	専	教授	ハヤシ ナオキ 林 直輝 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.10)	5日
39	専	教授	ヨシザワ ショウジ 吉澤 穰治 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.02)	5日
40	専	教授	ワタライ ユウ 渡井 有 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.06)	5日
41	専	教授	イケダ ヒサト 池田 尚人 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.03)	5日
42	専	教授	ミズノ トオル 水谷 徹 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
43	専	教授	カワサキ ケイイチ 川崎 恵吉 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.12)	5日
44	専	教授	カンザキ コウジ 神崎 浩二 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
45	専	教授	カワテ ノブユキ 川手 信行 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.07)	5日
46	専	教授	カドマツ コウイチ 門松 香一 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.08)	5日
47	専	教授	ナガツカ マサアキ 長塚 正晃 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.10)	5日
48	専	教授	オオツキ カツフミ 大槻 克文 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.05)	5日
49	専	教授	セキサワ アキヒロ 関沢 明彦 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.04)	5日
50	専	教授	イワブチ シゲヒロ 岩渕 成祐 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.12)	5日
51	専	教授	オンダ ヒデトシ 恩田 秀寿 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.04)	5日
52	専	教授	ナカタ トキオ 中田 土起丈 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
53	専	教授	ナガタ シゲキ 永田 茂樹 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.12)	5日
54	専	教授	イノマタ ナオコ 猪又 直子 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.10)	5日
55	専	教授	フカガイ タカシ 深貝 隆志 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
56	専	教授	フジ コウゾウ 富士 幸藏 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.02)	5日
57	専	教授	ササキ ハルアキ 佐々木 春明 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.06)	5日
58	専	教授	イケダ ヒロカズ 池田 裕一 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
59	専	教授	ミズノ カツミ 水野 克己 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.03)	5日
60	専	教授	イワナミ アキラ 岩波 明 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.07)	5日
61	専	教授	イノモト アツコ 稲本 淳子 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.12)	5日
62	専	教授	オオキヤ ヨシミツ 扇谷 芳光 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
63	専	教授	イトウ ヨシノリ 伊藤 芳紀 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
64	専	教授	シダ ケンジ 信太 賢治 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.06)	5日
65	専	教授	オオエ カツリ 大江 克憲 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
66	専	教授	コタニ トオル 小谷 透 (令和5年4月)		博士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.10)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
67	専	教授	トヒケンジ 土肥 謙二 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.08)	5日
68	専	教授	ハヤシムネタカ 林 宗貴 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
69	専	教授	マツクラサトシ 松倉 聡 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.12)	5日
70	専	教授	イノウタカヨシ 伊藤 敬義 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.11)	5日
71	専	教授	ハバトシユキ 馬場 俊之 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
72	専	教授	ナガハママツツグ 長濱 正亞 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
73	専	教授	イカワヒロオ 市川 博雄 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.12)	5日
74	専	教授	シマダケン 嶋田 顕 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.10)	5日
75	専	教授	トキマツイッセイ 時松 一成 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床感染症学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.02)	5日
76	専	教授	ミヤハラヨシノリ 宮原 義典 (令和5年4月)		博士(医学)		小児心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.01)	5日
77	専	教授	ヨコヤマノボル 横山 登 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.08)	5日
78	専	教授	オオツカコウジ 大塚 耕司 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.01)	5日
79	専	教授	ツモトモユキ 津本 智幸 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.04)	5日
80	専	教授	カサイフミト 笠井 史人 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.02)	5日
81	専	教授	ヨダミツマサ 依田 光正 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
82	専	教授	マツモトコウジ 松本 光司 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平29.10)	5日
83	専	教授	イチヅカキヨタケ 市塚 清健 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.12)	5日
84	専	教授	ニシムラエイイチ 西村 栄一 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
85	専	教授	フジサワクニミ 藤澤 邦見 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
86	専	教授	ワタナベヒデアキ 渡辺 秀晃 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
87	専	教授	イマイタカリ 今井 孝成 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令1.08)	5日
88	専	教授	カウミツヒロ 加藤 光広 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平31.04)	5日
89	専	教授	フジイタカハ 藤井 隆成 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令3.01)	5日
90	専	教授	フジサワヒデアキ 藤澤 英文 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令4.04)	5日
91	専	教授	イマイアツシ 今井 敦 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (令2.04)	5日
92	専	教授	カウリエ 加藤 里絵 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 教授 (平30.07)	5日
93	専	准教授	エゾレヒロミツ 江連 博光 (令和5年4月)		博士(歯学)		生体の組織構造解析法 肉眼解剖学※ 肉眼解剖学	1.2通 1~4通	3.2 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.09)	5日
94	専	准教授	マサオカ(ヤマグチ)ユリ 政岡(山口) ゆり (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※ 生体調節機能学	1.2通 1~4通	3.2 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.08)	5日
95	専	准教授	イヅツカマキ 飯塚 眞喜人 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※ 生体調節機能学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.03)	5日
96	専	准教授	カナヤマシユリ 金山 朱里 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体内の物質分析法 生化学※ 生化学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.11)	5日
97	専	准教授	ミヤザキタクウ 宮崎 拓郎 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体内の物質分析法 生化学※ 生化学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令1.06)	5日
98	専	准教授	シオサワエイスケ 塩沢 英輔 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学 ※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	1.2 23	6 1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.12)	5日
99	専	准教授	オカワタカハ 小川 高史 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.08)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
100	専	准教授	サンベ タケヒコ 三邊 武彦 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※ 研究倫理・教育・AI 臨床薬理学	1.2通 1.2通 1~4通	1.6 1 23	8 1 1	昭和大学 医学部 准教授 (平31.01)	5日
101	専	准教授	ヤマウチ タケリ 山内 武紀 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 衛生学公衆衛生学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (平31.04)	5日
102	専	准教授	ヨシモト タカヒコ 吉本 隆彦 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 衛生学公衆衛生学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
103	専	准教授	イシカワ ヒロキ 石川 裕樹 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 微生物学免疫学※ 微生物学免疫学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.10)	5日
104	専	准教授	コウダ チカフ 幸田 力 (令和5年4月)		博士(農学)		分子生命科学的解析法 微生物学免疫学※ 微生物学免疫学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
105	専	准教授	ツチヤ シズマ 土屋 静馬 (令和5年4月)		博士(医学)		4大学院がんチーム医療 医学教育学	1.2通 1~4通	1 23	1 1	昭和大学 医学部 准教授 (平31.01)	5日
106	専	准教授	カハラ チカコ 川原 千香子 (令和5年4月)		博士(医学)		医学教育学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
107	専	准教授	ヨコエ タカヤ 横江 琢也 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
108	専	准教授	タナカ アキヒコ 田中 明彦 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
109	専	准教授	スズキ シンタロウ 鈴木 慎太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
110	専	准教授	オカタ タケリ 岡田 壮令 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平31.03)	5日
111	専	准教授	イノウエ ヨシヒコ 井上 嘉彦 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.07)	5日
112	専	准教授	ミヨ ユウスケ 三輪 裕介 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
113	専	准教授	ヤシマ ノブユキ 矢嶋 宣幸 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
114	専	准教授	フクイ トモヤス 福井 智康 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.07)	5日
115	専	准教授	モリ ユウサク 森 雄作 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
116	専	准教授	クニイ ヨウ 國井 葉 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
117	専	准教授	オオツカ フミコ 大塚 史子 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
118	専	准教授	エグチ ジュンイチ 江口 潤一 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
119	専	准教授	ワカムラ ケニヒコ 若村 邦彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
120	専	准教授	ウラガミ ナオユキ 浦上 尚之 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令1.06)	5日
121	専	准教授	ヤマムラ フユヒコ 山村 冬彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.04)	5日
122	専	准教授	カキリ アツシ 片桐 敦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.02)	5日
123	専	准教授	ミヤチ ヒデアキ 宮地 英行 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令1.10)	5日
124	専	准教授	ヤマモト ヨリマサ 山本 頼正 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
125	専	准教授	アサノ タク 浅野 拓 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.12)	5日
126	専	准教授	アダチ タロウ 安達 太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.07)	5日
127	専	准教授	イノ ヨシタカ 磯 良崇 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.10)	5日
128	専	准教授	ワカバヤシ コウヘイ 若林 公平 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
129	専	准教授	イノムラ ナオエイ 磯村 直栄 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
130	専	准教授	ミノヅチ マサヒデ 溝渕 正英 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
131	専	准教授	マツモト ケイ 松本 啓 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
132	専	准教授	イトウ ヒデトシ 伊藤 英利 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
133	専	准教授	サカイ ヒロカ 酒井 広隆 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
134	専	准教授	クリキ アヤコ 栗城 綾子 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
135	専	准教授	キンノ リョウタ 金野 竜太 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
136	専	准教授	ヒエダ ソウタロウ 稗田 宗太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.10)	5日
137	専	准教授	ヤノ サトシ 矢野 怜 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.06)	5日
138	専	准教授	ハバ ヤスヒコ 馬場 康彦 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
139	専	准教授	セキガワ タカシ 関川 高志 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.10)	5日
140	専	准教授	ホリイ アツシ 堀池 篤 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令1.07)	5日
141	専	准教授	イシタ ヒロオ 石田 博雄 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
142	専	准教授	ヨコヤマ カズヒコ 横山 和彦 (令和5年4月)		博士(医学)		緩和医療科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
143	専	准教授	ニシキト オサム 西木戸 修 (令和5年4月)		博士(医学)		緩和医療科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
144	専	准教授	オモト タダシ 尾本 正 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.09)	5日
145	専	准教授	ナカムラ ヒロサ 中村 裕昌 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
146	専	准教授	ヤマモト シゲル 山本 滋 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
147	専	准教授	ヨシタ トム 口田 勤 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
148	専	准教授	デグチ ヨシオ 出口 義雄 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
149	専	准教授	イトウ ヒロアキ 伊藤 寛晃 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.10)	5日
150	専	准教授	サワダ ナルヒコ 澤田 成彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
151	専	准教授	フクシマ ミツヒロ 福島 光浩 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.03)	5日
152	専	准教授	エナミ コウタ 榎並 延大 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
153	専	准教授	ワタナベ マコト 渡辺 誠 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.09)	5日
154	専	准教授	ゴトウ サトル 五藤 哲 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.01)	5日
155	専	准教授	ヨシタケ オサム 吉武 理 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
156	専	准教授	マツオ ケンイチ 松尾 憲一 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
157	専	准教授	クヤマ タカシ 桑山 隆志 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
158	専	准教授	エノキト カツシ 榎戸 克年 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
159	専	准教授	スキヤマ アキヒデ 杉山 彰英 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.07)	5日
160	専	准教授	サトウ ヒデアキ 佐藤 英章 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.05)	5日
161	専	准教授	カワノ シンヤ 川野 晋也 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
162	専	准教授	マツモト ヒロアキ 松本 浩明 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
163	専	准教授	タニオカ タイスケ 谷岡 大輔 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.08)	5日
164	専	准教授	ワダ アキラ 和田 晃 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
165	専	准教授	スキヤマ タツヤ 杉山 達也 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.06)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
166	専	准教授	マエダ アキヒコ 前田 昭彦 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
167	専	准教授	シラハタ シュキ 白旗 敏之 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
168	専	准教授	フジマキ ヨシマサ 藤巻 良昌 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
169	専	准教授	ヤスタ トモヒロ 安田 知弘 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
170	専	准教授	クウ ヨシフミ 工藤 理史 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.09)	5日
171	専	准教授	マノ ヒデトシ 眞野 英寿 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.07)	5日
172	専	准教授	ハシモト ケイジ 橋本 圭司 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
173	専	准教授	ナガイ タカシ 永井 隆士 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.05)	5日
174	専	准教授	サトウ ノブヒロ 佐藤 伸弘 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.01)	5日
175	専	准教授	モリオカ ミキ 森岡 幹 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
176	専	准教授	イシカワ テツヤ 石川 哲也 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
177	専	准教授	シラト ナホコ 白土 なほ子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
178	専	准教授	コンドウ テツウ 近藤 哲郎 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
179	専	准教授	マツオカ リュウ 松岡 隆 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令1.06)	5日
180	専	准教授	コスケ ショウタロウ 小菅 正太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.05)	5日
181	専	准教授	アサノ ヤスヒコ 浅野 泰彦 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
182	専	准教授	ウスイ タカヒロ 薄井 隆宏 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
183	専	准教授	ソウダ ミツタカ 早田 光孝 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.04)	5日
184	専	准教授	サイノウ ユウタ 齋藤 雄太 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.11)	5日
185	専	准教授	ホサカ ヒロオミ 保坂 浩臣 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.08)	5日
186	専	准教授	シチジヨウ タケシ 七条 武志 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.02)	5日
187	専	准教授	モリタ ジュン 森田 順 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
188	専	准教授	モリタ マサシ 森田 将 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平30.08)	5日
189	専	准教授	コバヤシ セイ 小林 斉 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.09)	5日
190	専	准教授	ナカノ ユウヤ 中野 有也 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
191	専	准教授	ムラサキ マサヒコ 村瀬 正彦 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
192	専	准教授	アベ ヨシフサ 阿部 祥英 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
193	専	准教授	キセ ヒロアキ 喜瀬 広亮 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
194	専	准教授	タカシオ オサム 高塩 理 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
195	専	准教授	ヤマダ ヒロキ 山田 浩樹 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.10)	5日
196	専	准教授	トモカ ヒロイ 富岡 大 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.02)	5日
197	専	准教授	サナダ ケンジ 真田 建史 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.06)	5日
198	専	准教授	トダ シゲノブ 戸田 重誠 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
199	専	准教授	オウ タケン 音羽 健司 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.06)	5日
200	専	准教授	セイノ リツカ 清野 哲孝 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
201	専	准教授	タケヤマ ノブユキ 竹山 信之 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
202	専	准教授	ホリ ヨシロウ 堀 祐郎 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
203	専	准教授	シンジヨウ ヒデノリ 新城 秀典 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
204	専	准教授	ムラカミ コウゾウ 村上 幸三 (令和5年4月)		博士(医学)		研究倫理・教育・AI 放射線科学・放射線治療学	1.2通 1~4通	0.1 23	1 1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
205	専	准教授	モロタ マトカ 師田 まどか (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.11)	5日
206	専	准教授	ハンモト メグミ 橋本 徳 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.01)	5日
207	専	准教授	オカヤス タダシ 岡安 理司 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令2.04)	5日
208	専	准教授	オツカ ナオキ 大塚 直樹 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (平31.03)	5日
209	専	准教授	サウトク タダ 佐藤 督忠 (令和5年4月)		博士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.05)	5日
210	専	准教授	ササキ ジュン 佐々木 純 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.04)	5日
211	専	准教授	ヤキ マサル 八木 正晴 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
212	専	准教授	マエダ アツオ 前田 敦雄 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.08)	5日
213	専	准教授	ミヤモト カズユキ 宮本 和幸 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
214	専	准教授	タルミ ヨウコ 垂水 庸子 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令3.04)	5日
215	専	准教授	カウ アキヒト 加藤 晶人 (令和5年4月)		博士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 准教授 (令4.10)	5日
216	専	講師	サワ(サワタ) チカ 澤(澤田) 智華 (令和5年4月)		博士(工学)		生体の組織構造解析法 顕微解剖学※ 顕微解剖学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
217	専	講師	コウトウ 康 康 徳東 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の組織構造解析法 顕微解剖学※ 顕微解剖学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
218	専	講師	イノウエ コリコ 井上 由理子 (令和5年4月)		博士(理学)		生体の組織構造解析法 肉眼解剖学※ 肉眼解剖学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.01)	5日
219	専	講師	アダチ ナオキ 安達 直樹 (令和5年4月)		博士(理学)		生体の機能解析法 生体制御学※ 生体制御学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
220	専	講師	オカモ トカユキ 奥茂 敬恭 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※ 生体制御学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
221	専	講師	タカヤマ ヤスリ 高山 靖規 (令和5年4月)		博士(理学)		生体の機能解析法 生体制御学※ 生体制御学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
222	専	講師	ホンマ モトヤス 本間 元康 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※ 生体調節機能学	1.2通 1~4通	3.2 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
223	専	講師	モリ ダイスケ 森戸 大介 (令和5年4月)		博士(理学)		生体内の物質分析法 生化学※ 生化学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.06)	5日
224	専	講師	ハラグチ ショウゴ 原口 省吾 (令和5年4月)		博士(理学)		生体内の物質分析法 生化学※ 生化学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令2.05)	5日
225	専	講師	ホンマ マユミ 本間 まゆみ (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	1.2 23	6 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
226	専	講師	エハラ ヨシフミ 江原 佳史 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.09)	5日
227	専	講師	コイケ チヒロ 小池 千尋 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
228	専	講師	ヤモチ タダノリ 矢持 忠徳 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	0.6 23	6 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
229	専	講師	オグチ タツリ 小口 達敬 (令和5年4月)		博士(医学)		医科薬理学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.12)	5日
230	専	講師	ニシムラ ユキ 西村 有希 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 医科薬理学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
231	専	講師	ウダカ コウコ 宇高 結子 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 医科薬理学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.12)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
232	専	講師	ササキ アキコ 佐々木 晶子 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 医科薬理学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
233	専	講師	ミズガミ タカヤ 水上 拓也 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※ 臨床薬理学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令2.12)	5日
234	専	講師	モロホシ ホト 諸星 北人 (令和5年4月)		博士(医学)		衛生学公衆衛生学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
235	専	講師	コバヤシ ユキノ 小林 如乃 (令和5年4月)		博士(人間科学)		衛生学公衆衛生学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
236	専	講師	フジシロ マサヤ 藤城 雅也 (令和5年4月)		博士(医学)		生体内の物質分析法 法医学※ 法医学	1.2通 1~4通	3.2 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令4.03)	5日
237	専	講師	クサノ マイコ 草野 麻衣子 (令和5年4月)		博士(法化学)		生体内の物質分析法 法医学※ 法医学	1.2通 1~4通	2.4 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
238	専	講師	クハ(サトウ) ヨシヒロ 久野(佐藤) 芳裕 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 微生物学免疫学※ 微生物学免疫学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 講師 (令2.07)	5日
239	専	講師	フルタ アツコ 古田 厚子 (令和5年4月)		博士(医学)		医学教育学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
240	専	講師	アリマ マキコ 有馬 牧子 (令和5年4月)		博士(医学)		医学教育学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
241	専	講師	シーラトシバウオンク' クリス S. クリス (令和5年4月)		博士(医学)		医学教育学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.11)	5日
242	専	講師	ヤマモトムラモト' マユミ 山本(村元) 真弓 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
243	専	講師	ハヤシ マコト 林 誠 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
244	専	講師	タテノ ヒデツグ 楯野 英胤 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
245	専	講師	クズモト ソウジロウ 楠本 壮二郎 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
246	専	講師	ワタナベ' ヨシオ 渡部 良雄 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
247	専	講師	ヤマグチ フミヒロ 山口 史博 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
248	専	講師	オオタ シン 大田 進 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
249	専	講師	ホンマ テツヤ 本間 哲也 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
250	専	講師	ヤマザキ ヨウヘイ 山崎 洋平 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
251	専	講師	ワカバヤシ クニノブ 若林 邦伸 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
252	専	講師	トクナガ' タカヒロ 徳永 剛広 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
253	専	講師	オオミヤ シンヤ 大宮 信哉 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.07)	5日
254	専	講師	イシイ ショウ 石井 翔 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
255	専	講師	エンドウ ケイ 遠藤 慶 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
256	専	講師	ヒロムラ ムネリ 広村 宗範 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
257	専	講師	ヤマモト タケシ 山本 剛史 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.02)	5日
258	専	講師	イイサトオル 飯坂 徹 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
259	専	講師	タカガ' ミチヤ 高田 道哉 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
260	専	講師	テラサキ ミチシゲ 寺崎 道重 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
261	専	講師	オハラ マコト 小原 信 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.07)	5日
262	専	講師	エハラ テツ 荏原 徹 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
263	専	講師	ウシオ ジュン 牛尾 純 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
264	専	講師	サカキ マサシ 坂木 理 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
265	専	講師	ハヤシ タケマサ 林 武雅 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.06)	5日
266	専	講師	ノムラ ノリヒロ 野村 憲弘 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
267	専	講師	ウチコン マナブ 打越 学 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
268	専	講師	コミ クニヨ 五味 邦代 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
269	専	講師	アノスマ クニオ 阿曾沼 邦央 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
270	専	講師	タカノ コウイチ 高野 祐一 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
271	専	講師	マツタラシ シンゴ 松平 真悟 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
272	専	講師	コシダ ケンイチ 紺田 健一 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.08)	5日
273	専	講師	トウジヨウ マサユキ 東條 正幸 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
274	専	講師	アライ シュン 荒井 潤 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
275	専	講師	イチマサ カツロウ 一政 克朗 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
276	専	講師	マエダ ヤスハル 前田 康晴 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
277	専	講師	イキ カズヤ 居軒 和也 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
278	専	講師	イチカワ ユキ 市川 雪 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
279	専	講師	ヒサユキ トモカズ 久行 友和 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
280	専	講師	シモヅマ ヨウ 下間 祐 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.02)	5日
281	専	講師	オガタ ノリユキ 小形 典之 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
282	専	講師	ミサワ マサシ 三澤 将史 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
283	専	講師	ウオズミ ショウジロウ 魚住 祥二郎 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
284	専	講師	イシイ ユウ 石井 優 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.01)	5日
285	専	講師	ナカムラ ヒロキ 中村 大樹 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
286	専	講師	トシダ ツトム 土至田 勉 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.07)	5日
287	専	講師	ミヨシ フミト 三好 史人 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
288	専	講師	オスキ タツヤ 小貫 龍也 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
289	専	講師	ヨコタ ユウヤ 横田 裕哉 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
290	専	講師	モリ ヒロヨシ 森 敬善 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
291	専	講師	ツカモト シゲト 塚本 茂人 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
292	専	講師	フクオカ ヒロト 福岡 裕人 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.08)	5日
293	専	講師	オオニシ ヨシミ 大西 克実 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
294	専	講師	オカベ トシタカ 岡部 俊孝 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
295	専	講師	キクチ ミチ 菊地 美和 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.03)	5日
296	専	講師	ニシクラ テンジン 西蔵 天人 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
297	専	講師	イケダ ナオコ 池田 尚子 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.07)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
298	専	講師	シヨウジ マコト 正司 真 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
299	専	講師	コトウセイタ 近藤 誠太 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
300	専	講師	ツシタ ヒロアキ 辻田 裕昭 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
301	専	講師	カネコ キョウイチ 金子 堯一 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
302	専	講師	モチヅキ ヤスヒデ 望月 泰秀 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
303	専	講師	マツモト ヒデアリ 松本 英成 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
304	専	講師	スミダ アリヒロ 住田 有弘 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.02)	5日
305	専	講師	ヒグチ サトシ 樋口 聡 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
306	専	講師	ニシワキ ヒロキ 西脇 宏樹 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
307	専	講師	タケシマ アキコ 竹島 亜希子 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
308	専	講師	サウ ヨシノリ 佐藤 芳憲 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.08)	5日
309	専	講師	スズキ タイヘイ 鈴木 泰平 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
310	専	講師	カワタダシ 加藤 憲 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
311	専	講師	ヤマモト マサヒロ 山本 真寛 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
312	専	講師	カワシマ エリ 河嶋 英里 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
313	専	講師	マツナリ マナブ 松縄 学 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
314	専	講師	クロダ タケシ 黒田 岳志 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
315	専	講師	カサイ ヒデオ 笠井 英世 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.05)	5日
316	専	講師	フタムラ アキラ 二村 明德 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
317	専	講師	ミズマ ケイタ 水間 啓太 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
318	専	講師	クボタ ユウタロウ 久保田 祐太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
319	専	講師	トシマ ヒロカズ 戸嶋 洋和 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
320	専	講師	ハマダ カズユキ 濱田 和幸 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.05)	5日
321	専	講師	アライズミ ヒロツグ 有泉 裕嗣 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
322	専	講師	タカハシ タケヒロ 高橋 威洋 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
323	専	講師	オオクマ リョウタロウ 大熊 遼太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.03)	5日
324	専	講師	マツイ シュン 松石 純 (令和5年4月)		博士(医学)		緩和医療科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
325	専	講師	タカハシ アヤコ 高橋 彩子 (令和5年4月)		博士(医学)		緩和医療科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.09)	5日
326	専	講師	タクマ タカヒロ 詫間 隆博 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床感染症学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
327	専	講師	マルタ カスト 丸田 一人 (令和5年4月)		博士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
328	専	講師	ウエマツ シュウゴ 植松 秀護 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
329	専	講師	スズキ コウスケ 鈴木 浩介 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.06)	5日
330	専	講師	エンドウ テツヤ 遠藤 哲哉 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.06)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
331	専	講師	ヒロ ナオヤ 氷室 直哉 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
332	専	講師	アイダ サダツグ 相田 貞継 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
333	専	講師	ヤマザキ キミヤス 山崎 公靖 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
334	専	講師	マツダ カズヒロ 松田 和広 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
335	専	講師	サカウエ サトシ 坂上 聡志 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
336	専	講師	ヤマシタ タケシ 山下 剛史 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
337	専	講師	イダ ヒロミ 伊達 博三 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
338	専	講師	ノガキ コウジ 野垣 航二 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
339	専	講師	イサキ マサユキ 磯崎 正典 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.08)	5日
340	専	講師	タケハラ コウスケ 竹原 雄介 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
341	専	講師	ムラカミ ナオキ 村上 尚来 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.11)	5日
342	専	講師	フジモリ アキラ 藤森 聡 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
343	専	講師	クサノ トモカズ 草野 智一 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.03)	5日
344	専	講師	アリヨン トモタケ 有吉 朋丈 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
345	専	講師	ナカノ マサヒデ 中野 賢英 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
346	専	講師	マツオ カイ 松尾 海 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
347	専	講師	ムカイ シュンペイ 向井 俊平 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.12)	5日
348	専	講師	オニマル マナブ 鬼丸 学 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.05)	5日
349	専	講師	タシロ ヨシヒコ 田代 良彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.03)	5日
350	専	講師	ワタナベ リョウヘイ 渡邊 良平 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
351	専	講師	カウ ヨウジロウ 加藤 容二郎 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
352	専	講師	オオクワ ケイコ 大桑 恵子 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
353	専	講師	マツミヤ アキヒコ 松宮 彰彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.02)	5日
354	専	講師	ウメト タカヒロ 梅本 岳宏 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.11)	5日
355	専	講師	ホボ タカヒロ 保母 貴宏 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
356	専	講師	キガワ ガク 木川 岳 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.09)	5日
357	専	講師	マサダ(サンガイ) ヒロコ 増田(三階) 紘子 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研 究所※ 乳腺外科学	1.2通 1~4通	0.4 23	4 1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
358	専	講師	タカマル トモコ 高丸 智子 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.11)	5日
359	専	講師	ヨシダ ミツ 吉田 美和 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.09)	5日
360	専	講師	タルノ カナエ 垂野 香苗 (令和5年4月)		博士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
361	専	講師	ナカヤマ リヨシ 中山 智理 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.07)	5日
362	専	講師	タヤマ アイ 田山 愛 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.02)	5日
363	専	講師	オオサワ シュンスケ 大澤 俊亮 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
364	専	講師	タナカ ヒロム 田中 拓 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
365	専	講師	フジシマ ヒロタケ 藤島 裕丈 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
366	専	講師	ナカヤマ サダヨシ 中山 禎理 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
367	専	講師	マツダ ヨシカズ 松田 芳和 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.11)	5日
368	専	講師	ナカシヨウ タカト 中條 敬人 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.07)	5日
369	専	講師	スミケンジ 鷺見 賢司 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
370	専	講師	サトウ ヨウスケ 佐藤 洋輔 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.02)	5日
371	専	講師	フジタ マサヨリ 藤田 昌頼 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
372	専	講師	ヨシカワ ヤスシ 吉川 泰司 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
373	専	講師	ワタナベ ミノル 渡辺 実 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
374	専	講師	ヤマグチ マサヤ 山口 正哉 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
375	専	講師	イトウ リョウタ 伊藤 亮太 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
376	専	講師	カン ヤスタカ 梶 泰隆 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
377	専	講師	サトウ アツシ 佐藤 敦 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
378	専	講師	サカイ タケシ 酒井 健 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
379	専	講師	マルヤマ ヒロシ 丸山 博史 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
380	専	講師	ニイツマ ガク 新妻 学 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
381	専	講師	ツツイ サダアキ 筒井 完明 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
382	専	講師	サイノウ ヒロユキ 齊藤 洋幸 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
383	専	講師	エモリ ハルカ 江守 永 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
384	専	講師	ヤマムラ リョウ 山村 亮 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
385	専	講師	ニシカワ ヒロキ 西川 洋生 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
386	専	講師	セイノ タケシ 清野 毅俊 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
387	専	講師	クロダ タクマ 黒田 拓馬 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
388	専	講師	サイノウ ユウキ 齊藤 佑樹 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
389	専	講師	タナベ サトエ 田邊 智絵 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
390	専	講師	カワシマ フミヨシ 川島 史義 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
391	専	講師	ヤナギ カヨ 柳 佳代 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.07)	5日
392	専	講師	オオシタ ユウスケ 大下 優介 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
393	専	講師	トシマ ヨウイチ 豊島 洋一 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.06)	5日
394	専	講師	クボ カズトシ 久保 和俊 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
395	専	講師	コヤ タカユキ 古屋 貴之 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
396	専	講師	ムラカミ ユウト 村上 悠人 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
397	専	講師	イサキ ユウイチ 磯崎 雄一 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
398	専	講師	イリエ ユウコ 入江 悠子 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
399	専	講師	イシカワ コウジ 石川 紘司 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.10)	5日
400	専	講師	ウスイ ユウキ 臼井 勇樹 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
401	専	講師	ヤギ トシオ 八木 敏雄 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.07)	5日
402	専	講師	ハヤカワ チカラ 早川 周良 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.07)	5日
403	専	講師	オノ イチロウ 岡野 市郎 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
404	専	講師	マサオカ トモカズ 正岡 智和 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
405	専	講師	タケシマ シンイチ 竹島 慎一 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
406	専	講師	タカギ シンスケ 高木 信介 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
407	専	講師	トヅカ ヨウスケ 富塚 陽介 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
408	専	講師	ツツタ サヨ 辰田 紗世 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.11)	5日
409	専	講師	クロダ マサヨシ 黒田 正義 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
410	専	講師	オオサワ サチヨ 大澤 幸代 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
411	専	講師	ササキ ヤスシ 佐々木 康 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.12)	5日
412	専	講師	ナカヤマ ケン 中山 健 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.07)	5日
413	専	講師	ナカムラ マサミツ 仲村 将光 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
414	専	講師	ミヤモト シンゴウ 宮本 真豪 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
415	専	講師	サカモト ミツ 坂本 美和 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
416	専	講師	ミヤガミ サトシ 宮上 哲 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
417	専	講師	タキタ ヒロコ 瀧田 寛子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
418	専	講師	セオ コウヘイ 瀬尾 晃平 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.07)	5日
419	専	講師	アキノ リョウスケ 秋野 亮介 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
420	専	講師	アラカキ タツヤ 新垣 達也 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
421	専	講師	カワシマ アキヒロ 川嶋 章弘 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
422	専	講師	オスキ マミコ 小貫 麻美子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.07)	5日
423	専	講師	ノムラ ユキコ 野村 由紀子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.05)	5日
424	専	講師	コイケ ケイコ 小出 馨子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
425	専	講師	マツウラレイ 松浦 玲 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
426	専	講師	ミムラ タカシ 三村 貴志 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
427	専	講師	トクナカ マユミ 徳中 真由美 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
428	専	講師	トビ サトシ 土肥 聡 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.03)	5日
429	専	講師	ナガシマ ミノル 長島 稔 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
430	専	講師	オオバ トモヒロ 大場 智洋 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
431	専	講師	ハマダ ショウコ 濱田 尚子 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
432	専	講師	セノ マコト 禅野 誠 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
433	専	講師	エントウ キミ 遠藤 貴美 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
434	専	講師	ワダ ヨシヒロ 和田 悦洋 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
435	専	講師	コバヤシ カエ 小林 香映 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
436	専	講師	イウ ユウタ 伊藤 雄太 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.08)	5日
437	専	講師	マツハラ エイジ 松原 英司 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
438	専	講師	オシノ カズヒロ 押野見 和彦 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
439	専	講師	マエタ ヨシコ 前田 佳子 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
440	専	講師	サイウ カツユキ 齋藤 克幸 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
441	専	講師	ナカサト タケヒロ 中里 武彦 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
442	専	講師	オガワ ユウ 小川 祐 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
443	専	講師	ナカガミ ヨシヒロ 中神 義弘 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.06)	5日
444	専	講師	オオタ ミチヤ 太田 道也 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
445	専	講師	ノガキ タケシ 野垣 岳稔 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
446	専	講師	ハマサキ タイスケ 浜崎 泰佑 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
447	専	講師	イケノヤ ヨウイチ 池谷 洋一 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
448	専	講師	ヒラノ コウジロウ 平野 康次郎 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
449	専	講師	エガワ シュンヤ 江川 峻哉 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
450	専	講師	ユイ タケフミ 油井 健史 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
451	専	講師	クシハシ ユキオミ 櫛橋 幸民 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
452	専	講師	フジイ ナオカズ 藤居 直和 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日
453	専	講師	トクドメ タカシ 徳留 卓俊 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.08)	5日
454	専	講師	カワムラ ヨウジロウ 河村 陽二郎 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
455	専	講師	スザキ イサオ 洲崎 勲夫 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
456	専	講師	コマツサキ トシミツ 小松崎 敏光 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
457	専	講師	シムラ トモカ 志村 智隆 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.09)	5日
458	専	講師	ナガハラ(ホンマ) ケイコ 永原(本間) 敬子 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
459	専	講師	ミカワ タケシ 三川 武志 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.05)	5日
460	専	講師	マツハン カズヒロ 松橋 一彦 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.10)	5日
461	専	講師	カミヤ タロウ 神谷 太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
462	専	講師	ミヤザワ トクオ 宮沢 篤生 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.10)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
463	専	講師	イワミオ 井川 三緒 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.06)	5日
464	専	講師	コバヤシ コズエ 小林 梢 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.07)	5日
465	専	講師	オカダ ユウキ 岡田 祐樹 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.05)	5日
466	専	講師	フヤマ マサキ 布山 正貴 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.06)	5日
467	専	講師	オオヤマ ノブオ 大山 伸雄 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
468	専	講師	ナガイ(タテイ) トモコ 長井(建石) 友子 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令1.10)	5日
469	専	講師	シズミ ハヤト 清水 勇人 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
470	専	講師	ササモリ ヒロキ 笹森 大貴 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.05)	5日
471	専	講師	ナカムラ タン 中村 暖 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
472	専	講師	イケ ダイスケ 幾瀬 大介 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
473	専	講師	ツネオカ トシアキ 常岡 俊昭 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
474	専	講師	ヨコイ タケヒト 横井 健人 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.04)	5日
475	専	講師	ムネチカ ジロウ 宗近 次朗 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令2.09)	5日
476	専	講師	カウ(ヨシタ) マサコ 加藤(吉田) 正子 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
477	専	講師	ハラダ ケン 原田 堅 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
478	専	講師	ヤマムラ アヤ 山村 彩 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.01)	5日
479	専	講師	コバヤシ レオン 小林 玲音 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
480	専	講師	サカモト アツリ 坂本 篤紀 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
481	専	講師	ホソカワ ユキ 細川 幸希 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.04)	5日
482	専	講師	コウヅカ ユウヤ 幸塚 裕也 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.04)	5日
483	専	講師	マスタグ リクオ 増田 陸雄 (令和5年4月)		博士(歯学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (平31.04)	5日
484	専	講師	ヒトウ キヨコ 尾頭 希代子 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.01)	5日
485	専	講師	タナカ リコ 田中 典子 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.11)	5日
486	専	講師	シヤクオ トモハル 釋尾 知春 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令4.11)	5日
487	専	講師	モリ マイコ 森 麻衣子 (令和5年4月)		博士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 講師 (令3.05)	5日
488	専	助教	イケモト ヒデアシ 池本 英志 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※ 生体制御学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
489	専	助教	ウチダ ユキ 内田 有希 (令和5年4月)		博士(人間科学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※ 生体調節機能学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
490	専	助教	ミヤウチ アヤ 宮内 彩 (令和5年4月)		修士(薬学)		生化学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
491	専	助教	ニホンヤナギ ヤスヒロ 二本柳 康博 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
492	専	助教	ワダ アカネ 和田 あかね (令和5年4月)		博士(歯学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
493	専	助教	オオタ ヒロカ 太田 裕崇 (令和5年4月)		博士(歯学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
494	専	助教	ムライソウ 村井 聡 (令和5年4月)		学士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	0.6 23	6 1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
495	専	助教	オハラ ジュン 小原 淳 (令和5年4月)		学士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	0.6 23	6 1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
496	専	助教	オオヒラ ヤスキ 大平 泰之 (令和5年4月)		学士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学 ※ 臨床病理診断学	1.2通 1~4通	0.6 23	6 1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
497	専	助教	ウエダ ヤスオ 上田 康雄 (令和5年4月)		学士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
498	専	助教	ササキ ヨウスケ 佐々木 陽介 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床病理診断学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
499	専	助教	イワセ マリコ 岩瀬 万里子 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 医科薬理学	1.2通 1~4通	0.8 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令2.06)	5日
500	専	助教	ミウラ アキラ 箕浦 明 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 衛生学公衆衛生学	1.2通 1~4通	0.1 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令2.06)	5日
501	専	助教	デン ヒロキ 田 啓樹 (令和5年4月)		修士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 衛生学公衆衛生学	1.2通 1~4通	0.3 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
502	専	助教	タグチ トモコ 田口 智子 (令和5年4月)		博士(薬学)		法医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (平6.08)	5日
503	専	助教	ナガシマ リウイチ 長島 隆一 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 微生物学免疫学※ 微生物学免疫学	1.2通 1~4通	1.6 23	8 1	昭和大学 医学部 助教 (令3.01)	5日
504	専	助教	キノ ヤスナリ 岸野 康成 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
505	専	助教	フクダ ヨウスケ 福田 陽佑 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
506	専	助教	ミヤタ ヨシト 宮田 祐人 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
507	専	助教	サトウ ヒロキ 佐藤 裕基 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
508	専	助教	オカムラ カホ 岡村 佳穂 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
509	専	助教	ウチダ ヨシタカ 内田 嘉隆 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
510	専	助教	ウノ トモキ 宇野 知輝 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
511	専	助教	クラハラ ナオタ 桑原 直太 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
512	専	助教	マナベ リョウ 真鍋 亮 (令和5年4月)		博士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
513	専	助教	クロダ ヨウスケ 黒田 佑介 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
514	専	助教	カキウチ ヨウスケ 柿内 佑介 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
515	専	助教	フジシマ アキラ 藤嶋 彬 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
516	専	助教	カシマ アヤカ 賀嶋 詢佳 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
517	専	助教	エバト タカヤ 江波戸 貴哉 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
518	専	助教	オノサキ ショウタ 小野崎 翔太 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
519	専	助教	キタノ ハルカ 北野 はるか (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
520	専	助教	ハヤシ ミナ 林 三奈 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
521	専	助教	シラトリ ヨウ 白取 陽 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
522	専	助教	サイショウゴ 酒井 翔吾 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
523	専	助教	シンノ ヲグミ 神野 恵美 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.01)	5日
524	専	助教	キムラ トモキ 木村 友之 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
525	専	助教	オサカベ ヨウキ 刑部 優希 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
526	専	助教	ミクニ ハツコ 三國 肇子 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
527	専	助教	オカサキ トモコ 岡崎 朋子 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
528	専	助教	シミズ ショウヘイ 清水 翔平 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
529	専	助教	タカハシ アキコ 高橋 明子 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.02)	5日
530	専	助教	チヨウヒデカズ 張 秀一 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
531	専	助教	マツナガ トモヒロ 松永 智宏 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
532	専	助教	タカノ ケンジ 高野 賢治 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
533	専	助教	カワムラ サオリ 川村 さおり (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
534	専	助教	アタラシ ケンジ 新 健史 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
535	専	助教	ナカモト マリ 中本 真理 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
536	専	助教	タキシマ ヒロヤス 瀧島 弘康 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器アレルギー内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
537	専	助教	ミヅ(クリタ) ヨウコ 三浦(栗田) 瑤子 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
538	専	助教	ニシミ シンイチロウ 西見 慎一郎 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
539	専	助教	ヨネサワ ナオ 米澤 奈緒 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
540	専	助教	ニシミ アイリ 西見 愛里 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (平30.12)	5日
541	専	助教	イカリ ユウゾウ 猪狩 雄蔵 (令和5年4月)		博士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
542	専	助教	タカハシ リョウ 高橋 良 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
543	専	助教	イソジマ サキコ 磯島 咲子 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
544	専	助教	ハヤシ トモキ 林 智樹 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
545	専	助教	ハタノ ミカ 羽多野 美香 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
546	専	助教	カワモリ カズタカ 河森 一毅 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
547	専	助教	コニシ リコ 小西 典子 (令和5年4月)		学士(医学)		リウマチ・膠原病内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
548	専	助教	ノギ ユキノリ 野木 孝准 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
549	専	助教	コウハタ ヨウ 高畑 洋 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
550	専	助教	イマイ ヒデアキ 今井 秀之 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
551	専	助教	スキタ ヒロエ 杉田 弘江 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
552	専	助教	オハラ アヤコ 小原 詢子 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
553	専	助教	オオサカ ナオヤ 大坂 直也 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
554	専	助教	フジカワ トモキ 藤川 大輝 (令和5年4月)		博士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
555	専	助教	タドコロ エ 田所 梨枝 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
556	専	助教	コダマ エリコ 児玉 恵理子 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
557	専	助教	サトウ フコ 佐藤 展子 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
558	専	助教	イタダ ツツヤ 飯田 達也 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
559	専	助教	ミクラ ケンタロウ 三倉 健太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.11)	5日
560	専	助教	タケハナ ノブアキ 竹鼻 伸晃 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
561	専	助教	スズキ アサミ 鈴木 麻未 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
562	専	助教	タカハシ ヤスヨシ 高橋 育克 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.03)	5日
563	専	助教	ハシヅメ マイ 橋詰 真衣 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
564	専	助教	イイダ チホ 飯田 千穂 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
565	専	助教	ヤマ ヒロリ 八島 広典 (令和5年4月)		学士(医学)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
566	専	助教	カシワラ アツシ 梶原 敦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
567	専	助教	ハナムラ ショウタロウ 花村 祥太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.11)	5日
568	専	助教	ゴチヨウ トシヒコ 牛腸 俊彦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
569	専	助教	ミツイ ユウタ 三井 佑太 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
570	専	助教	エンドウ トシユキ 遠藤 利行 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
571	専	助教	タシロ トモエ 田代 知映 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.05)	5日
572	専	助教	ナカシマ ヨウコ 中島 陽子 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
573	専	助教	カウカズキ 加藤 一樹 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
574	専	助教	オカワ ユウシ 小川 悠史 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
575	専	助教	イケダ ハルオ 池田 晴夫 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.03)	5日
576	専	助教	タナカ ケンタ 田中 健太 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
577	専	助教	ミヤケ ミサコ 三宅 美幸子 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
578	専	助教	サトウ ユウタ 佐藤 雄太 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
579	専	助教	クニタ コウスケ 國田 康輔 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令1.12)	5日
580	専	助教	シバタ ユウキ 柴田 悠樹 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
581	専	助教	アベ マサヒロ 阿部 正洋 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
582	専	助教	オクラ ヨウヘイ 小倉 庸平 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
583	専	助教	スエナガ アキコ 末永 明子 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
584	専	助教	ノグチ トシヒロ 野口 敏宏 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
585	専	助教	カワニシ チェ 河西 千恵 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
586	専	助教	フクダ マイ 福田 舞 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
587	専	助教	フジヨシ ユウスケ 藤吉 祐輔 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
588	専	助教	イシヤマ ミサキ 石山 美咲 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
589	専	助教	フジワラ タカヒサ 藤原 敬久 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
590	専	助教	コヤマ ユウタ 神山 勇太 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
591	専	助教	サクライ タツヤ 桜井 達也 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
592	専	助教	スキウラ イクキ 杉浦 育也 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
593	専	助教	ヨシダ エリカ 吉田 詠里加 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
594	専	助教	ニイハ フミカ 新谷 文崇 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.05)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
595	専	助教	スミカズヤ 角 一弥 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.12)	5日
596	専	助教	ウサミトモノ 宇佐美 智乃 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
597	専	助教	スズキ ノヒロ 鈴木 統大 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
598	専	助教	アサミ テツシ 浅見 哲史 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
599	専	助教	モチヅキ ケンイチ 望月 健一 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
600	専	助教	ニシカワ ヨウヘイ 西川 洋平 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
601	専	助教	タカシナ ユウキ 高階 祐輝 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
602	専	助教	カウヒサキ 加藤 久貴 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
603	専	助教	タナベ マヨ 田邊 万葉 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
604	専	助教	ミネキシ ヨウスケ 峯岸 洋介 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
605	専	助教	オムラ タイシ 奥村 大志 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
606	専	助教	シマムラ ヨウト 島村 勇人 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
607	専	助教	ナカニ ケイ 中谷 溪 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
608	専	助教	シミズ ヒロシ 清水 寛 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
609	専	助教	ウシノボ ケイ 牛久保 慧 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
610	専	助教	キシ ユミ 岸 優美 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
611	専	助教	シオミ タシロウ 汐見 大二郎 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
612	専	助教	タムラ エリ 田村 恵理 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
613	専	助教	キクチ カズオ 菊池 一生 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
614	専	助教	ナカニ シンヤ 中谷 真也 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
615	専	助教	オヤマ ユミ 音山 裕美 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
616	専	助教	ヤマワキ マサカ 山脇 将貴 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.02)	5日
617	専	助教	マツバラ ダイ 松原 大 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
618	専	助教	ノダ ジュン 野田 淳 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
619	専	助教	チバ ユウタ 千葉 雄太 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.11)	5日
620	専	助教	サカイ コウシロウ 酒井 孝志郎 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
621	専	助教	ナカムラ ヨウヤ 中村 友哉 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
622	専	助教	オオishi ヨウスケ 大石 庸介 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
623	専	助教	ゴカン トシヒコ 後関 俊彦 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
624	専	助教	アライケン 荒井 研 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.02)	5日
625	専	助教	サウ ナホト 佐藤 千聡 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
626	専	助教	ササムラ サクラ 笹村 さくら (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
627	専	助教	イノチ コウイチロウ 猪口 孝一郎 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.11)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
628	専	助教	セキモト テルオ 関本 輝雄 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
629	専	助教	クラタ マサアキ 倉田 征昭 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
630	専	助教	スズキ ミキ 鈴木 美希 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
631	専	助教	コサキ リョウタ 小崎 遼太 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
632	専	助教	タニサワ ヒロキ 谷澤 宏樹 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.02)	5日
633	専	助教	オオヤマ ユウジ 大山 口司 (令和5年4月)		博士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令1.11)	5日
634	専	助教	イガラ ワタル 井川 渉 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
635	専	助教	オノ モリオ 小野 盛夫 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
636	専	助教	キド タケヒコ 木戸 岳彦 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
637	専	助教	タケイ ヨウスケ 武井 洋介 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.01)	5日
638	専	助教	ハチャル ミ 蜂矢 るみ (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
639	専	助教	フルヤ タカヒロ 古屋 貴宏 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
640	専	助教	カマガ シュンゴ 亀田 俊吾 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
641	専	助教	クボタ マグミ 久保田 芽生 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
642	専	助教	タニサキ ユカ 谷崎 友香 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
643	専	助教	エハラ セイタロウ 荻原 誠太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
644	専	助教	タシロ カスマ 田代 一口 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
645	専	助教	マセヒロシ 間瀬 浩 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
646	専	助教	ワタダ イスケ 和田 大輔 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
647	専	助教	キムラ タロウ 木村 太朗 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
648	専	助教	サイトウ ジュンペイ 齋藤 惇平 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
649	専	助教	シマヅ スグル 嶋津 英 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
650	専	助教	シバタ ケイタ 柴田 恵多 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
651	専	助教	オガラ クニヒロ 小倉 邦弘 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
652	専	助教	オムラ アユミ 大村 歩 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
653	専	助教	スズキ トシアキ 鈴木 敏晃 (令和5年4月)		学士(医学)		循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
654	専	助教	ミヤザキ トモアキ 宮崎 友晃 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
655	専	助教	タチバナ ショウヘイ 橋 翔平 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.11)	5日
656	専	助教	イナバ タロウ 稲葉 大朗 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
657	専	助教	モリカワ トモキ 森川 友喜 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.01)	5日
658	専	助教	カワタ ナオト 川田 尚人 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
659	専	助教	スキヤマ モトリ 杉山 元紀 (令和5年4月)		博士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
660	専	助教	カウ マサリ 加藤 雅典 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
661	専	助教	サイトモヒロ 齋藤 友広 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
662	専	助教	サシマ リサ 鮫島 里沙 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
663	専	助教	オオサワ モイ 大澤 基 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
664	専	助教	フジタ カフミ 藤田 崇史 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
665	専	助教	ミムラ ユキ 三村 優樹 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
666	専	助教	サイ フミコ 笹井 文彦 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
667	専	助教	ミヅカ アヤ 水上 礼 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
668	専	助教	サイウ ヨシノ 齋藤 佳範 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
669	専	助教	サウ ノゾミ 佐藤 望 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
670	専	助教	カシタニ ヒデト 梶谷 英人 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
671	専	助教	ハヤシ ジュンイチ 林 純一 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
672	専	助教	ミマ ユキ 美馬 友紀 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
673	専	助教	オイカワ メグミ 及川 愛 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
674	専	助教	タカミ レイジ 高見 礼示 (令和5年4月)		学士(医学)		腎臓内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
675	専	助教	アライ(オク) ナナ 荒井(奥) 奈々 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
676	専	助教	カワグチ(フジワラ) ユキコ 川口(藤原) 有紀子 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
677	専	助教	フジワラ シュン 藤原 峻 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
678	専	助教	カハサワ ノブユキ 蒲澤 宣幸 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
679	専	助教	アベ マアサ 阿部 真麻 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
680	専	助教	ササキ ヨウヘイ 佐々木 陽平 (令和5年4月)		博士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
681	専	助教	ワタスキ メグミ 綿貫 めぐみ (令和5年4月)		学士(医学)		血液内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
682	専	助教	ワタナベ ケイコ 渡辺 慶子 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
683	専	助教	ワタナベ ダイシ 渡辺 大士 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
684	専	助教	クボタ サトミ 久保田 怜美 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
685	専	助教	ヤスモト タロウ 安本 太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
686	専	助教	タカハシ セイヤ 高橋 聖也 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
687	専	助教	ノモト ショウヘイ 野元 祥平 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
688	専	助教	モリ ユキコ 森 友紀子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
689	専	助教	アオヤギ ミキ 青柳 未希 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
690	専	助教	フジイ タカシ 藤井 隆史 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
691	専	助教	キンジョウ ナツコ 金城 奈都子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
692	専	助教	カネコ ユミカ 金子 優美香 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
693	専	助教	シラト アヤコ 白土 綾子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
694	専	助教	オサカベ ユエコ 刑部 祐友子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.11)	5日
695	専	助教	コムロ ヒロヤス 小室 浩康 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
696	専	助教	ナベシマ ヨウコ 鍋島 陽子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
697	専	助教	オサナイ アヤコ 小山内 綾子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
698	専	助教	フジサキ ミズキ 藤崎 みずき (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
699	専	助教	カウ コウタ 加藤 悠太 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
700	専	助教	フクダ サオリ 福田 早織 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
701	専	助教	コバヤシ コウジ 小林 功治 (令和5年4月)		学士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.12)	5日
702	専	助教	ヒサマツ アツシ 久松 篤 (令和5年4月)		学士(医学)		腫瘍内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.03)	5日
703	専	助教	オン リンタロウ 温 麟太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		臨床感染症学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
704	専	助教	マスタ トモアキ 益田 智章 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
705	専	助教	ナカガワ ヒロフミ 中川 博文 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
706	専	助教	テラタ ヒロヒト 寺田 拓仁 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
707	専	助教	ウエノ ヨウスケ 上野 洋資 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
708	専	助教	カドワキ タスク 門脇 輔 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
709	専	助教	ウチガ タカキ 内田 考紀 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
710	専	助教	ヤマサキ ヒロキ 山崎 裕起 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
711	専	助教	ナカムラ ケイスケ 中村 圭佑 (令和5年4月)		学士(医学)		心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
712	専	助教	サノ トシカズ 佐野 俊和 (令和5年4月)		博士(医学)		小児心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
713	専	助教	ホリオ ナオヒロ 堀尾 直裕 (令和5年4月)		学士(医学)		小児心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
714	専	助教	ホリカワ ユイ 堀川 優衣 (令和5年4月)		学士(医学)		小児心臓血管外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.08)	5日
715	専	助教	ミナカタ タカオ 南方 孝夫 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
716	専	助教	ニイハ ユミコ 新谷 裕美子 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
717	専	助教	オオハシ シンイチ 大橋 慎一 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.02)	5日
718	専	助教	タナカ ヨウコ 田中 洋子 (令和5年4月)		学士(医学)		呼吸器外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
719	専	助教	モテギ ケンタロウ 茂木 健太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
720	専	助教	ワダ ユウスケ 和田 友祐 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
721	専	助教	ハラダ ヨシキ 原田 芳邦 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
722	専	助教	シバタ ヒデキ 柴田 英貴 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
723	専	助教	サイノウ アキラ 斎藤 祥 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
724	専	助教	トモカ コウダイ 富岡 幸大 (令和5年4月)		博士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
725	専	助教	ミチハタ コウザブロウ 道端 浩三郎 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
726	専	助教	オサワ ヨシアキ 小沢 慶彰 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
727	専	助教	キシマ カズヒロ 喜島 一博 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
728	専	助教	ナカハラ ケンタ 中原 健太 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
729	専	助教	フジマサ コウイチロウ 藤政 浩一朗 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
730	専	助教	シオサワ トシツ 塩澤 敏光 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
731	専	助教	ウチダ ツネキ 内田 恒之 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
732	専	助教	シマダ ショウジ 島田 翔士 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
733	専	助教	イシダ サチコ 石田 幸子 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
734	専	助教	ウチダ マリエ 内田 茉莉依 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.11)	5日
735	専	助教	シバタ シオリ 柴田 菜里 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
736	専	助教	コバヤシ ヒロアキ 小林 弘明 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
737	専	助教	オオワダ カオリ 大和田 薫里 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
738	専	助教	コウモト マサヒロ 廣本 昌裕 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
739	専	助教	ヒライ タカト 平井 隆仁 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
740	専	助教	オギハラ スケル 小城原 傑 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
741	専	助教	セキネ リョウイチ 関根 隆一 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
742	専	助教	サイノウ カズヒロ 齊藤 和彦 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
743	専	助教	ヤマザキ タツヤ 山崎 達哉 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
744	専	助教	オヤマ ヒデユキ 小山 英之 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
745	専	助教	タカハシ ユウキ 高橋 裕季 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
746	専	助教	シノハラ ユカリ 篠原 由加里 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
747	専	助教	ミネギ シュウゾウ 峯岸 裕蔵 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
748	専	助教	タナベ タロウ 田邊 太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
749	専	助教	ナガシ ショウダイ 長石 将大 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
750	専	助教	モチヅキ キョウカ 望月 清孝 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
751	専	助教	サノウ ヨシト 佐藤 義仁 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
752	専	助教	タカノ ヨウジロウ 高野 洋次郎 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
753	専	助教	カキサコ ケンスケ 垣迫 健介 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
754	専	助教	セキ ジュンイチ 関 純一 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
755	専	助教	イノウエ アキコ 井上 晶子 (令和5年4月)		学士(医学)		消化器一般外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
756	専	助教	サウ ヒロキ 佐藤 大樹 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令1.11)	5日
757	専	助教	カナダ ヨウコ 金田 陽子 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
758	専	助教	サウ ハルナ 佐藤 春奈 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
759	専	助教	ハンモトリ カコ 橋本 梨佳子 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
760	専	助教	コハヤシ ナナ 小林 奈々 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
761	専	助教	シロタ アリサ 城下 亜里沙 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
762	専	助教	フジノ ミサキ 藤野 美咲 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
763	専	助教	ヨシザワ アユハ 吉沢 あゆは (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
764	専	助教	ナルイリカ 成井 理加 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
765	専	助教	ナガタ アヤ 永田 彩 (令和5年4月)		学士(医学)		乳腺外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
766	専	助教	ナカガミ トモカズ 中神 智和 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
767	専	助教	アンドウ シンスケ 安藤 晋介 (令和5年4月)		博士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
768	専	助教	ヤギ ユウマ 八木 勇磨 (令和5年4月)		学士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
769	専	助教	イムラ ナツ 今村 奈津 (令和5年4月)		学士(医学)		小児外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
770	専	助教	コハヤシ ユウスケ 小林 裕介 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
771	専	助教	マツモト マサキ 松本 政輝 (令和5年4月)		博士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
772	専	助教	クボ ミナコ 久保 美奈子 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
773	専	助教	イリエ リョウ 入江 亮 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
774	専	助教	ヤマガ ヒロオ 山家 弘雄 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
775	専	助教	アライ シンタロウ 新井 晋太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
776	専	助教	ヨシヤマ トモミ 吉山 智美 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
777	専	助教	アイウラ リョウ 相浦 遼 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
778	専	助教	タカノ シュン 高野 駿 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
779	専	助教	ヒロセ エイスケ 廣瀬 瑛介 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
780	専	助教	カワウチ ユウタ 川内 雄太 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
781	専	助教	イヅカ カズキ 飯塚 一樹 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
782	専	助教	ウメギ アリサ 梅口 有砂 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
783	専	助教	ヤマグチ ヨシフミ 山口 巖史 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
784	専	助教	サカモト ユウ 阪本 有 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.05)	5日
785	専	助教	コン タカシ 近 貴志 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
786	専	助教	テツオ ヨシアキ 鐵尾 佳章 (令和5年4月)		学士(医学)		脳神経外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.05)	5日
787	専	助教	イシカワ ツバサ 石川 翼 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
788	専	助教	ミツハシ マナブ 三橋 学 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.01)	5日
789	専	助教	ヤスカワ タイチ 安川 泰樹 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
790	専	助教	ヤクハラ カズミチ 矢倉 一道 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
791	専	助教	オオクマ ナオキ 大熊 公樹 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
792	専	助教	オカモト ケイジ 岡本 圭司 (令和5年4月)		博士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
793	専	助教	セガミ カズユキ 瀬上 和之 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
794	専	助教	ホンダ タカユキ 本多 孝行 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
795	専	助教	ヒガシヤマ ユウスケ 東山 祐介 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
796	専	助教	モロホシ アキコ 諸星 明湖 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
797	専	助教	オオイケ ジュン 大池 潤 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
798	専	助教	ニシ マサノリ 西 正智 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
799	専	助教	サイノウ ソウゾウ 齋藤 創造 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
800	専	助教	ツチャ コウキ 土谷 弘樹 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
801	専	助教	フクタ ユウホ 福田 悠甫 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
802	専	助教	クボタ ユタカ 久保田 豊 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
803	専	助教	ナカムラ コウキ 中村 弘毅 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
804	専	助教	アサクラ トモヤ 朝倉 智也 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
805	専	助教	オオタ マサタカ 太田 真隆 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
806	専	助教	オギワラ ヨウ 荻原 陽 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
807	専	助教	アマノ タカシ 天野 貴司 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
808	専	助教	ミヤモト ヨウヘイ 宮本 庸平 (令和5年4月)		学士(医学)		整形外科	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
809	専	助教	ヨシトミ アキトシ 吉富 明利 (令和5年4月)		博士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
810	専	助教	ハバ トモコ 馬場 智子 (令和5年4月)		学士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.03)	5日
811	専	助教	イダ マモル 飯田 守 (令和5年4月)		学士(医学)		リハビリテーション医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
812	専	助教	シズミ タカフミ 清水 崇史 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
813	専	助教	マツノフ タケヒコ 松延 武彦 (令和5年4月)		博士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.11)	5日
814	専	助教	ミヤモト マサル 宮本 大 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
815	専	助教	オキノ タカヒデ 沖野 尚秀 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
816	専	助教	ニシムラ リョウ 西村 怜 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
817	専	助教	コジマ ナガトシ 小島 永稔 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
818	専	助教	カヅキ ケンスケ 香月 健亮 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
819	専	助教	シブヤ タケン 渋谷 健 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
820	専	助教	タナカ リョウタロウ 田中 隆太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
821	専	助教	オザサ トシヒコ 小笹 俊彦 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
822	専	助教	ナカハラ マリ 中原 真理 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
823	専	助教	ヤマダ ヒロユキ 山田 浩之 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
824	専	助教	フジハシ マサタカ 藤橋 政典 (令和5年4月)		学士(医学)		形成外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
825	専	助教	コタキ(キクチ) チヒロ 小瀧(菊池) 千尋 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
826	専	助教	コタニ(フナコ) ミホ 小谷(船古) 美帆子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.11)	5日
827	専	助教	ニシイ ショウゴ 西井 彰悟 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
828	専	助教	ナカハヤシ マコト 中林 誠 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
829	専	助教	セキヤ アンブ 関谷 文武 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
830	専	助教	オダワラ ケイ 小田原 圭 (令和5年4月)		博士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
831	専	助教	マツシタ トモミ 松下 友美 (令和5年4月)		修士(Public Health学) (米国)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
832	専	助教	ニシ タケシ 西 健 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.03)	5日
833	専	助教	ホシ カナエ 星 佳苗 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
834	専	助教	カワサキ マイコ 川崎 麻依子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.05)	5日
835	専	助教	コウモト タカユキ 河本 貴之 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
836	専	助教	セキネ アイコ 関根 愛子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
837	専	助教	イケモト マイ 池本 舞 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
838	専	助教	ミズタニ アカネ 水谷 あかね (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
839	専	助教	ナカガワ チェ 中川 智絵 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
840	専	助教	アオヤマ マリカ 青山 茉莉香 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
841	専	助教	オリサカ マサル 折坂 勝 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
842	専	助教	ミヤガミ ケイコ 宮上 景子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
843	専	助教	ヒロセ コウスケ 廣瀬 佑輔 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
844	専	助教	オクヤマ アユミ 奥山 亜由美 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
845	専	助教	マルヤマ ダイスケ 丸山 大介 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
846	専	助教	ゴトウ ミナコ 後藤 未奈子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
847	専	助教	ヤマシタ ユカ 山下 有加 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
848	専	助教	オカダ ヨシユキ 岡田 義之 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
849	専	助教	カワノ ハルカ 河野 春香 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
850	専	助教	マチ マヤ 町 麻耶 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
851	専	助教	タンナイ エリ 丹内 絵理 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
852	専	助教	ムカイ コウキ 向井 勇貴 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
853	専	助教	ワキサカ ユウキ 脇坂 友紀 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
854	専	助教	コマツ レイナ 小松 玲奈 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
855	専	助教	ヤスイ オサム 安井 理 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.03)	5日
856	専	助教	シバノ ヨシアキ 柴野 芳彰 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
857	専	助教	コジマ ナナセ 小島 七瀬 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
858	専	助教	ミサワ アスミ 三澤 亜純 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
859	専	助教	ゴウタ マユコ 合田 真優子 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
860	専	助教	タブチ アキヒコ 田淵 明彦 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
861	専	助教	コハヤシ ヒロキ 小林 弘樹 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
862	専	助教	ヒラノ ナオ 平野 奈央 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
863	専	助教	ムラタ ワタル 村田 亘 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
864	専	助教	タナカ アカネ 田中 あかね (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
865	専	助教	アキラ カズタカ 明樂 一隆 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
866	専	助教	ヒゲチ タイキ 樋口 大樹 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
867	専	助教	タカハヤシ アキノ 高林 綾乃 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
868	専	助教	ミズタニ サキ 水谷 咲紀 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
869	専	助教	カワミ ケイコ 川上 敬子 (令和5年4月)		修士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
870	専	助教	コイケ リョウ 小池 亮 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
871	専	助教	ナカムラ タケシ 中村 豪 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
872	専	助教	ナカオ サユミ 中尾 紗由美 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
873	専	助教	ナカシタ アンナ 中下 杏奈 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
874	専	助教	ナカハヤシ ヒロキ 中林 裕貴 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
875	専	助教	マキノ ヨシロウ 牧野 吉朗 (令和5年4月)		学士(医学)		産婦人科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
876	専	助教	トモヨリ エイジ 友寄 英士 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
877	専	助教	イシカワ ミホ 石川 美穂 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
878	専	助教	ヨコヤマ コウタ 横山 康太 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
879	専	助教	キサキ ジュンイチロウ 木崎 順一郎 (令和5年4月)		博士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
880	専	助教	ヨシダ ケンヤ 吉田 健也 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
881	専	助教	トモヨリ トモミ 友寄 友美 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
882	専	助教	クリオカ タカヒロ 栗岡 隆弘 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
883	専	助教	ヒラノ アヤ 平野 彩 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
884	専	助教	スキヤマ ナツコ 杉山 奈津子 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
885	専	助教	トクナガ ヨシロウ 徳永 義郎 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.12)	5日
886	専	助教	ヤスタ ケンサク 安田 健作 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
887	専	助教	オカダ ヨウスケ 岡田 洋介 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
888	専	助教	ヤスタ エイコ 安田 瑛子 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
889	専	助教	スナカワ タマキ 砂川 珠輝 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
890	専	助教	ミヤザキリエ 宮崎 理恵 (令和5年4月)		学士(医学)		眼科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
891	専	助教	タカハシ ナナコ 高橋 奈々子 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (平30.12)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
892	専	助教	タシロ ヤスヤ 田代 康哉 (令和5年4月)		博士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.02)	5日
893	専	助教	ヨシダ マリエ 吉田 茉莉恵 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
894	専	助教	シロウチ カズフミ 城内 和史 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
895	専	助教	イワハシ ユリコ 岩橋 ゆりこ (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
896	専	助教	ミヨ カナ 見代 佳奈 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
897	専	助教	ミワ タスク 三輪 祐 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
898	専	助教	ムラカミ ハルコ 村上 遥子 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
899	専	助教	ヤマウチ テルオ 山内 輝夫 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.02)	5日
900	専	助教	ハヤカワ カズコ 早川 和子 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令1.10)	5日
901	専	助教	キタジマ マリコ 北島 真理子 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令1.09)	5日
902	専	助教	ゴミ ユリカ 五味 由梨佳 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
903	専	助教	アオキ ユマ 青木 由真 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
904	専	助教	イシハシ サトシ 石橋 智 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
905	専	助教	ヨシダ ハルナ 吉田 春奈 (令和5年4月)		学士(医学)		皮膚科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
906	専	助教	ヤマキ シモトキ 山岸 元基 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
907	専	助教	マツイ コウキ 松井 祐輝 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
908	専	助教	ウキ ツトム 鵜木 勉 (令和5年4月)		博士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
909	専	助教	イマムラ ユウイチロウ 今村 雄一郎 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.07)	5日
910	専	助教	クロカワ イツベイ 黒川 一平 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
911	専	助教	スキシタ ヒロオ 杉下 裕勇 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
912	専	助教	シモヤマ ヒデアキ 下山 英明 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
913	専	助教	コイズミ シンタロウ 小泉 真太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
914	専	助教	ノグチ テツオ 野口 哲央 (令和5年4月)		学士(医学)		泌尿器科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
915	専	助教	ウチヤマ(タケウチ) ミオ 内山(竹内) 美緒 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
916	専	助教	フルカワ スグル 古川 傑 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
917	専	助教	ミヤザワ マサユキ 宮澤 昌行 (令和5年4月)		博士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
918	専	助教	ワタライ アヤ 渡井 彩 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
919	専	助教	イマズミ ナオミ 今泉 直美 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
920	専	助教	オヤケ コウイチロウ 小宅 功一郎 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
921	専	助教	マツウラ ショウヘイ 松浦 聖平 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
922	専	助教	イシハシ アツシ 石橋 淳 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
923	専	助教	アベ チカ 阿部 千佳 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
924	専	助教	カミムラサキ 上村 佐和 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日

教員の氏名等

(医学研究科 医学専攻)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大 学等の職務 に従事する週 当たり平均日 数
925	専	助教	キタジマ タツヤ 北嶋 達也 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
926	専	助教	スキタニ イヅミ 杉谷 いづみ (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
927	専	助教	イノウエ ユキコ 井上 由樹子 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
928	専	助教	ウルマ ショウヘイ 宇留間 周平 (令和5年4月)		学士(医学)		耳鼻咽喉科頭頸部外科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
929	専	助教	クニガミ(シマダ) チヒロ 國上(島田) 千紘 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
930	専	助教	テラダ トモサ 寺田 知正 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
931	専	助教	ワタナベ ヨシカ 渡邊 佳孝 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
932	専	助教	マツモト ミナコ 松本 皆子 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.11)	5日
933	専	助教	カコ ユウコ 加古 結子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
934	専	助教	キヨウカ タカヨシ 京田 学是 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
935	専	助教	フジモト ヨウコ 藤本 陽子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
936	専	助教	ミヨ ヨシユキ 三輪 善之 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
937	専	助教	キトコロ レイタ 城所 励太 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
938	専	助教	カガト リョウ 唐渡 諒 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
939	専	助教	アサイ ヒデアキ 浅井 秀幸 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
940	専	助教	イシカワ タクヤ 石川 琢也 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
941	専	助教	オオスキ ユウタ 大貫 裕太 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
942	専	助教	マエダ マユ 前田 麻由 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
943	専	助教	カナザワ タケル 金澤 建 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
944	専	助教	オヤケ チサト 小宅 千聖 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
945	専	助教	イワク タカシ 岩久 貴志 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
946	専	助教	ヒノカマ ハトカ 日限 のどか (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
947	専	助教	ノグチ ユウタロウ 野口 悠太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
948	専	助教	オオカワ メグミ 大川 恵 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
949	専	助教	オチ アヤコ 越智 彩子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
950	専	助教	ワタナベ スグル 渡邊 優 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
951	専	助教	ワタナベ ツネキ 渡邊 常樹 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
952	専	助教	ハセベ ヨシユキ 長谷部 義幸 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
953	専	助教	トミナガ マキコ 富永 牧子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.02)	5日
954	専	助教	オガワレイ 小川 玲 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.06)	5日
955	専	助教	ムラカワ テツロウ 村川 哲郎 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
956	専	助教	カワイ ノブヒロ 河合 延啓 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
957	専	助教	カシノヨウ カオリ 上條 香織 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
958	専	助教	ミスコシ ヨウコ 水越 曜子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
959	専	助教	モテキ サクラ 茂木 桜 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
960	専	助教	エハタ アキオ 江畑 晶夫 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
961	専	助教	アオキ マサミ 青木 真史 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
962	専	助教	ハツリ トウヤ 服部 透也 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
963	専	助教	トヨダ ジュンヤ 豊田 純也 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.09)	5日
964	専	助教	ヤギ ナオミ 八木 直美 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
965	専	助教	ウジエ ガク 氏家 岳斗 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.10)	5日
966	専	助教	サメジ マイ 鮫島 舞 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
967	専	助教	タカトウ ショウタロウ 高見堂 正太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
968	専	助教	ホンダ アイコ 本多 愛子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
969	専	助教	ヤマオカ タシロウ 山岡 大志郎 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
970	専	助教	キムラ タロウ 木村 太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
971	専	助教	ヤマモト カズヤ 山本 和也 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
972	専	助教	タカキ トシユキ 高木 俊敏 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
973	専	助教	オオツカ コウヘイ 大塚 康平 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
974	専	助教	オイカワ コウスケ 及川 洸輔 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
975	専	助教	タカセ マリコ 高瀬 真理子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
976	専	助教	シズ タケシ 清水 武 (令和5年4月)		博士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
977	専	助教	ナガオカ コウタ 長岡 孝太 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
978	専	助教	イシイ ヨウコ 石井 瑠子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.05)	5日
979	専	助教	カウ マリコ 加藤 真理子 (令和5年4月)		学士(医学)		小児内科学・小児循環器内科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
980	専	助教	オオタ(ハナタ) サホコ 太田(花田) 佐保子 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
981	専	助教	ハヤシ ワカホ 林 若穂 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
982	専	助教	オキノ カズマロ 沖野 和磨 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
983	専	助教	トクマス タカヒロ 徳増 卓宏 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
984	専	助教	ナカムラ ヨシフミ 中村 善文 (令和5年4月)		博士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.08)	5日
985	専	助教	シムラ カズキ 新村 一樹 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
986	専	助教	ホリウチ ケンタロウ 堀内 健太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日
987	専	助教	スズキ ヒロヒサ 鈴木 洋久 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
988	専	助教	ナカイ アヤカ 中井 文香 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
989	専	助教	トネダチ ヒデヒサ 刀口館 英久 (令和5年4月)		学士(医学)		精神医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.05)	5日
990	専	助教	ムラミ ダイキ 村上 大軌 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.10)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
991	専	助教	ワタナベ コウタ 渡邊 孝太 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.06)	5日
992	専	助教	ハセガワ ハナコ 長谷川 春菜子 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.11)	5日
993	専	助教	タケウチ アユミ 竹内 愛弓 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.11)	5日
994	専	助教	タシロ ユウキ 田代 祐基 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
995	専	助教	カチ マナ 可知 真南 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
996	専	助教	ミヨシ フキコ 三好 布季子 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
997	専	助教	ハシヅメ ノブヒロ 橋詰 典弘 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
998	専	助教	アベ リョウスケ 阿部 亮介 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
999	専	助教	サエキ ミホ 佐伯 美帆 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1000	専	助教	セトガワ タケヒト 瀬戸川 武仁 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1001	専	助教	カイ リョウゾウ 甲斐 亮三 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1002	専	助教	ササザワ シュンキチ 笹沢 俊吉 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1003	専	助教	オサワ ユキコ 小澤 由季子 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1004	専	助教	ニイヤ アキフミ 新谷 暁史 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1005	専	助教	サイレイ 崔 玲 (令和5年4月)		博士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
1006	専	助教	ニシムラ エミ 西村 恵美 (令和5年4月)		学士(医学)		放射線科学・放射線治療学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1007	専	助教	ヒグチ サトシ 樋口 慧 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
1008	専	助教	タカハシ ケンイチ 高橋 健一 (令和5年4月)		博士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
1009	専	助教	サノ ヒトミ 佐野 仁美 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1010	専	助教	ドウセイ タクヤ 道姓 拓也 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
1011	専	助教	オカサキ ハルコ 岡崎 晴子 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1012	専	助教	タケトミ アサエ 武富 麻恵 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
1013	専	助教	タカハシ ユリエ 高橋 有里恵 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
1014	専	助教	ツシマ ユキコ 津島 佑季子 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.10)	5日
1015	専	助教	ソウダ ヒロアキ 荘田 博朗 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1016	専	助教	カネダ ユウリ 金田 有理 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1017	専	助教	ハラ エイコ 原 詠子 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1018	専	助教	イシイ ミズエ 石井 瑞英 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
1019	専	助教	ヨシダ アイ 吉田 愛 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.06)	5日
1020	専	助教	ナガネ タケシ 長根 大樹 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.02)	5日
1021	専	助教	ナカムラ リョウスケ 中村 亮介 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
1022	専	助教	オオハシ ミドリ 大橋 みどり (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1023	専	助教	キノウチ マリコ 木ノ内 万里子 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1024	専	助教	カワグチ ユカ 川口 由佳 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1025	専	助教	オオスキ エリコ 大杉 枝里子 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1026	専	助教	サカサキ レイナ 坂崎 麗奈 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1027	専	助教	イシハラ タイガ 石原 大雅 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1028	専	助教	ササキ トモミ 佐々木 友美 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1029	専	助教	シマサキ サキ 島崎 咲 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1030	専	助教	クラサワ ユカ 倉澤 紫 (令和5年4月)		学士(医学)		麻酔科学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.06)	5日
1031	専	助教	ソメイ マサユキ 染井 将行 (令和5年4月)		博士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1032	専	助教	ワタナベ タロウ 渡邊 太郎 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.09)	5日
1033	専	助教	キクヤマ カズキ 喜久山 和貴 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
1034	専	助教	マルオ ヒロコ 丸尾 寛子 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.04)	5日
1035	専	助教	コウノ ナオ 河野 奈緒 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令3.04)	5日
1036	専	助教	イガラシ ユミ 五十嵐 友美 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1037	専	助教	テヅカ タカヒロ 手塚 隆弘 (令和5年4月)		学士(医学)		集中治療医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.07)	5日
1038	専	助教	カツキ シノ 香月 姿乃 (令和5年4月)		学士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1039	専	助教	ナカジマ ヤスヒロ 中島 靖浩 (令和5年4月)		学士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令2.07)	5日
1040	専	助教	サイウ ヒロミ 齋藤 弘美 (令和5年4月)		学士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.01)	5日
1041	専	助教	ススキ ケイスケ 鈴木 恵輔 (令和5年4月)		学士(医学)		救急・災害医学	1~4通	23	1	昭和大学 医学部 助教 (令4.04)	5日
1042	兼担	教授	ハセガワ タケシ 長谷川 毅 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※ 研究倫理・教育・AI	1.2通 1.2通	0.1 0.1	2 1	昭和大学 統括研究推進センター 教授 (令1.07)	
1043	兼担	教授	ワダ サトシ 和田 聡 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	0.1	1	昭和大学 臨床薬理研究所 教授 (令3.04)	
1044	兼担	教授	ヨシムラ キヨシ 吉村 清 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	0.1	1	昭和大学 臨床薬理研究所 教授 (令2.05)	
1045	兼担	教授	ワタナベ チェ 渡邊 知映 (令和5年4月)		博士(保健医療学)		4大学院がんチーム医療	1.2通	1	1	昭和大学 保健医療学部 教授 (令4.04)	
1046	兼担	教授	イノウエ エイスケ 井上 永介 (令和5年4月)		博士(臨床統計学)		研究倫理・教育・AI	1.2通	0.1	1	昭和大学 統括研究推進センター 教授 (令3.05)	
1047	兼担	教授	ツルタニ ジュンジ 鶴谷 純司 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※ 4大学院がんチーム医療	1.2通 1.2通	0.3 1	4 1	昭和大学 先端がん治療研究所 教授 (平30.08)	
1048	兼担	准教授	ヤマオカ トミツ 山岡 利光 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	1.2	4	昭和大学 先端がん治療研究所 准教授 (平30.08)	
1049	兼担	准教授	イマムラ チョ 今村 知世 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	1.2	4	昭和大学 先端がん治療研究所 准教授 (平31.03)	
1050	兼担	准教授	サイノブ ヒロ 坂井 信裕 (令和5年4月)		博士(歯学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 歯学部 准教授 (令4.04)	
1051	兼担	准教授	ヤスハラ ツム 安原 努 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※	1.2通	0.6	6	昭和大学 保健医療学部 准教授 (平30.10)	
1052	兼担	准教授	シバタ ケイタ 柴田 佳太 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 薬学部 准教授 (令1.11)	
1053	兼担	准教授	クリハラ タツヤ 栗原 竜也 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 薬学部 准教授 (令2.06)	
1054	兼担	准教授	ヒダ ノリコ 肥田 典子 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※	1.2通	0.8	8	昭和大学 薬学部 准教授 (令3.09)	

教員の氏名等												
(医学研究科 医学専攻)												
調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 (就任(予定)年月)	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任日)	申請に係る大学等の職務に 従事する週当たり平均日数
1055	兼任	講師	ツカダ(スナガワ) マナ 塚田(砂川) 愛 (令和5年4月)		博士(工学)		生体の機能解析法 生体制御学※	1.2通	0.8	8	昭和大学 統括研究推進センター 講師 (令4.06)	
1056	兼任	講師	サカイ ヒトミ 酒井 瞳 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	0.8	4	昭和大学 先端がん治療研究所 講師 (令3.04)	
1057	兼任	講師	リュウ カケイ 龍 家圭 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※	1.2通	0.8	8	昭和大学 臨床薬理研究所 講師 (令4.09)	
1058	兼任	講師	ヨシダ レイコ 吉田 玲子 (令和5年4月)		博士(医学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	0.8	4	昭和大学 臨床ゲノム研究所 講師 (令4.04)	
1059	兼任	講師	タカキ タカシ 高木 孝士 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の組織構造解析法 顕微解剖学※	1.2通	1.6	8	昭和大学 医学部 講師 (令4.05)	
1060	兼任	講師	オオクボ シゲコ 大久保 茂子 (令和5年4月)		博士(医学)		医学生物における統計学的解析法 衛生学公衆衛生学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 保健医療学部 講師 (令3.04)	
1061	兼任	講師	カシノウ ショウタロウ 上條 翔太郎 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※	1.2通	1.6	8	昭和大学 薬学部 講師 (令4.02)	
1062	兼任	講師	ヤマサキ タイキ 山崎 太義 (令和5年4月)		修士(薬学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※	1.2通	1.6	8	昭和大学 薬学部 講師 (令3.09)	
1063	兼任	特任教授	タキモ マサフミ 瀧本 雅文 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の病理病態学的解析法 病理診断学※	1.2通	0.6	6	昭和大学 特任教授 (令2.04)	
1064	兼任	特任教授	コバヤシ シンイチ 小林 真一 (令和5年4月)		博士(医学)		研究倫理・教育・AI	1.2通	0.1	1	昭和大学 特任教授 (令4.04)	
1065	兼任	客員教授	オオタキ ヒロカズ 大滝 博和 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の組織構造解析法 顕微解剖学※ 研究倫理・教育・AI	1.2通 1.2通	1.6 0.1	8 1	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1066	兼任	客員教授	ヤマモト タツタカ 山本 竜隆 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※	1.2通	0.3	3	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1067	兼任	客員教授	ヤマグチ コウジロウ 山口 孝二郎 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※	1.2通	0.8	8	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1068	兼任	客員教授	オニマル ヒロシ 鬼丸 洋 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体調節機能学※	1.2通	1.6	8	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1069	兼任	客員教授	クマイ トシオ 熊井 俊夫 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.1	1	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1070	兼任	客員教授	ニシカワ トオル 西川 徹 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1071	兼任	客員教授	イナガキ マサヒロ 稲垣 昌博 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1072	兼任	客員教授	ウチカワ トモシ 内川 友義 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1073	兼任	客員教授	ユラ アキヒロ 由良 明彦 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.1	1	昭和大学 医学部 客員教授 (令4.04)	
1074	兼任	客員教授	ツジ マユミ 辻 まゆみ (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※ 医科薬理学	1.2通	0.3	3	昭和大学 医学部 客員教授 (令2.04)	
1075	兼任	客員教授	タチ ユウイチロウ 城 祐一郎 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体内の物質分析法 法医学※	1.2通	0.1	3	昭和大学 医学部 客員教授 (平31.04)	
1076	兼任	客員教授	ナカウチ アキヒロ 中内 暁博 (令和5年4月)		博士(医学)		生体内の物質分析法 法医学※	1.2通	0.8	8	昭和大学 医学部 客員教授 (令3.04)	
1077	兼任	客員教授	タカミ ユウスケ 高宮 有介 (令和5年4月)		博士(医学)		研究倫理・教育・AI	1.2通	0.1	1	昭和大学 医学部 客員教授 (平30.04)	
1078	兼任	客員教授	ヤマダ ヤスヒロ 山田 泰弘 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.1	1	昭和大学 薬学部 客員教授 (平30.04)	
1079	兼任	兼任講師	マルヤマ ケンタ 丸山 健太 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 生体制御学※	1.2通	0.3	3	昭和大学 医学部 兼任講師 (令4.04)	
1080	兼任	兼任講師	フルヤ エイジ 古屋 英治 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 医学部 兼任講師 (令4.04)	
1081	兼任	兼任講師	ナカムラ ユウヤ 中村 裕也 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.0	1	昭和大学 医学部 兼任講師 (令4.04)	
1082	兼任	兼任講師	オヤマダ ヒデト 小山田 英人 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 医学部 兼任講師 (令2.04)	
1083	兼任	兼任講師	ツジカワ ケンジ 辻川 健治 (令和5年4月)		博士(薬学)		生体の機能解析法 医科薬理学※	1.2通	0.2	2	昭和大学 薬学部 兼任講師 (令3.04)	
1084	兼任	兼任講師	オクヤマ ヒロミ 奥山 裕美 (令和5年4月)		修士(医科学)		分子生命科学的解析法 先端がん治療研究所※	1.2通	0.1	1	昭和大学 先端がん治療研究所 兼任講師 (平31.04)	
1085	兼任	兼任講師	ヨシダ ヒロユキ 吉田 裕之 (令和5年4月)		博士(医学)		研究倫理・教育・AI	1.2通	0.1	1	昭和大学 医学研究科 兼任講師 (令4.02)	
1086	兼任	兼任講師	ワタナベ マコト 渡辺 誠 (令和5年4月)		博士(医学)		生体の機能解析法 臨床薬理学※	1.2通	1.6	8	昭和大学 医学部 兼任講師 (令4.04)	

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	7人	36人	15人	人	人	58人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	52人	58人	人	人	人	110人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	43人	199人	25人	人	人	人	267人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	89人	26人	6人	人	人	人	121人	
	修 士	人	2人	2人	人	人	人	人	4人	
	学 士	人	342人	78人	8人	人	人	人	428人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	132人	284人	125人	15人	人	人	556人	
	修 士	人	2人	2人	人	人	人	人	4人	
	学 士	人	342人	78人	8人	人	人	人	428人	
	短期大士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。